平成３０年度

学 生 募 集 要 項

◆ 一 般 入 試

出 願 期 間

平成３０年１月２２日（月）～１月３１日（水）【必着】

入試実施日

前期日程：平成３０年２月２５日（日）・２６日（月）

※２月２６日（月）は一部の専攻のみ実施

後期日程：平成３０年３月１２日（月）

平成３０年４月入学者用の学生募集要項です。

大阪教育大学

OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

目　　次

１　募集人員 …… 1

２　アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針） …… 2

３　ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針） …… 5

４　カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針） …… 8

５　出願資格 …… 12

６　他の国公立大学・学部との併願及び本学内での併願について …… 12

７　出願期間・出願手続 …… 13
（１）出願期間
（２）出願方法
（３）出願書類等
（４）英語能力測定試験の成績利用
（５）個人情報の取扱いについて
（６）入学検定料の返還請求について

８　入学者選抜方法等 …… 17
（１）入学者選抜方法
（２）入学者選抜の実施教科・科目等について
（３）大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等
（４）小論文
（５）面接（口述試験を含む。）
（６）実技検査
　（６）－１　実技検査の実施内容及び留意事項
　（６）－２　実技検査の採点・評価基準
（７）検査日程
（８）入学試験場
（９）受験上の注意
（10）合格者の発表

９　入学手続等 …… 57

10　ノートパソコンの必携について …… 58

11　欠員補充の方法 …… 58

12　入学試験成績の開示について …… 59

13　障がい等のある者の事前相談 …… 59

14　学生生活案内 …… 61

◎　麻しん（はしか）の予防について《お知らせ》 …… 63

◎　平成３０年度大学入試センター試験受験教科・科目の確認表 …… 64

◎　入学志願票等記入要領 …… 67

この募集要項には，次の出願書類等（所定用紙）を添付してあるので確認すること。

- ○　入学志願票・入学志願者電算処理票・写真票・写真用シール
- ○　入学検定料振込金証明書貼付用紙
- ○　入学検定料振込依頼書　（ライン入り:夜間５年コース志望者用）
- ○　受験票返送用封筒
- ○　英語能力測定試験等に関する提出用紙
- ○　音楽実技選択者提出用紙
- ○　出願用封筒

1　募集人員

学部	キャンパス	課程・学科・専攻・コース		入学定員（人）	募集人員（人）	募集人員内訳（人）				
						一般入試		特別入試		
						前期日程	後期日程	センター試験を課さない推薦	センター試験を課す推薦	私費外国人留学生
教育学部	天王寺（注2）	初等教育教員養成課程	幼児教育専攻	15	15	12	—	—	3	各専攻・コースとも若干人
			小学校教育専攻　昼間コース	45	45	20	15	—	10	
			小学校教育専攻　夜間5年コース	40	40	20	15	—	5	—
	柏原	学校教育教員養成課程	特別支援教育専攻	420	45	30	10	—	5	各専攻・コースとも若干人
			小中教育専攻　学校教育コース		25	20	—	—	5	
			小中教育専攻　国語教育コース		40	23	12	—	5	
			小中教育専攻　英語教育コース		15	11	—	—	4	
			小中教育専攻　社会科教育コース		35	30	—	—	5	
			小中教育専攻　数学教育コース		25	15	10	—	—	
			小中教育専攻　理科教育コース		35	27	8	—	—	
			小中教育専攻　家政教育コース		10	7	—	—	3	
			小中教育専攻　保健体育コース		30	20	10	—	—	
			小中教育専攻　音楽教育コース		10	7	—	—	3	
			小中教育専攻　美術・書道教育コース(注3)		15	10	5	—	—	
			中等教育専攻　国語教育コース		10	7	—	—	3	
			中等教育専攻　英語教育コース		15	11	—	—	4	
			中等教育専攻　社会科教育コース		10	7	—	—	3	
			中等教育専攻　数学教育コース		25	10	15	—	—	
			中等教育専攻　理科教育コース		25	18	7	—	—	
			中等教育専攻　技術教育コース		10	6	—	4	—	
			中等教育専攻　家政教育コース		10	7	—	—	3	
			中等教育専攻　保健体育コース		10	5	—	—	5	
			中等教育専攻　音楽教育コース		10	7	—	—	3	
			中等教育専攻　美術・書道教育コース(注3)		10	7	—	3	—	
		養護教諭養成課程		30	30	20	10	—	—	若干人
		教員養成課程　合計		550	550	357	117	7	69	若干人
		教育協働学科	教育心理科学専攻	350	40	25	10	—	—	5
			健康安全科学専攻		35	25	10	—	—	若干人
			理数情報専攻　数理情報コース		100 40	59 22	36 16	— —	— —	5
			理数情報専攻　自然科学コース		60	37	20	—	—	
			グローバル教育専攻　英語コミュニケーションコース		75 30	38 18	— —	— —	22 7	15
			グローバル教育専攻　多文化リテラシーコース		45	20	—	—	15	
			芸術表現専攻　音楽表現コース		50 40	30 25	11 6	9 9	— —	各専攻・コースとも若干人
			芸術表現専攻　美術表現コース		10	5	5	—	—	
			スポーツ科学専攻		50	20	10	20	—	
		教育協働学科　合計		350	350	197	77	29	22	25
教育学部　総計				900	900	554	194	36	91	25

※　私費外国人留学生は，教育協働学科における一部の専攻を除いて，入学定員の枠外で募集します。

（注1）特別入試（推薦入試，私費外国人留学生入試）の合格者（入学手続者）が募集人員に満たなかった場合は，一般入試の合格者で補充します。

（注2）初等教育教員養成課程の幼児教育専攻及び小学校教育専攻昼間コースは，1～2年次を柏原キャンパスで修学予定です。

（注3）実技検査の種別ごとの合格者の目安は，34・37頁を参照してください。

２　アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

「大阪教育大学アドミッション・ポリシー」

１．基本理念・目標

大阪教育大学は，我が国の先導的な教員養成大学として，教育の充実と文化の発展に貢献し，とりわけ教育界における有為な人材の育成をとおして，地域と世界の人々の福祉に寄与する大学であることを使命としています。この使命を達成するため，大阪教育大学では人と真摯に向き合う姿勢を基に，学生一人ひとりの個性を尊重した教育を推進していきます。

教育学部にあっては，グローバルな視野と豊かな教養を身に付け，専門的知識・技能及び優れた教育指導力を持った学校教員を養成するとともに，チーム学校を含む学校教育や地域教育活動を取り巻く分野（教育心理科学，健康安全科学，理数情報，グローバル教育，芸術表現，スポーツ科学）の専門性を有しつつ，教育的視点から学校，家庭，地域，社会と連携・協働することで，グローバル時代における多様な教育課題の解決を図ることができる人材の養成をめざします。

大学院教育学研究科にあっては，教育科学の最新知識や研究成果の探求，教科教育・教科内容に関する高度な知識や研究手法の修得をとおして，教育現場で主導的な役割を担える教員の育成をめざしています。また，現代社会の多様な課題に対応できる探求能力を養い，様々な職業分野で課題解決能力を持って主導的立場を担える人材の育成をめざしています。

大学院連合教職実践研究科にあっては，教育委員会や学校現場との密接な連携の下での教員養成や現職教員教育を通じて，教員志望学生や現職教員学生に学校現場での課題に即応できる実践的知識・技能を拡充させるための視点と方法を獲得させ，もって学校における高度の専門的な能力及び優れた資質を有する専門職としての人材の育成をめざしています。

なお，本学では教育学部及び大学院において外国人留学生の受入れを積極的に進めています。

２．求める学生像

（教育学部）

・子どもの未来への使命感と教職への意欲や強い関心を持つ人
・教員として教育現場を担える十分な基礎学力と旺盛な探求心を持つ人
・幅広く専門分野を学ぶことにより広い視野や柔軟な思考力の修得をめざす人
・現代社会への幅広い関心と自らの課題意識を持って積極的に社会参画をめざす人

（大学院教育学研究科）

・教職に関する高度な知識の修得と学校教育の今日的課題の探求に意欲を持つ人
・自らの教職経験をもとに専門的な教職能力の向上や開発に意欲を持つ現職教員
・高度な先端知識の修得と複雑かつ多様な課題の解決能力の修得に意欲のある人
・現職経験をもとに自らの職能向上や研究能力の修得に意欲のある社会人

（大学院連合教職実践研究科）

・学校や地域の指導的・中核的な教員として高度で優れた実践力の獲得をめざす現職教員
・新しい学校づくりの担い手として自ら学び続けることで実践的指導力の獲得をめざす人

（外国人留学生）

上記の学部若しくは大学院の求める学生像に加えて，次のような人を求めています。

・一定の日本語能力と大学教育を受けるに必要な基礎学力を持つ人
・日本の文化や社会についての理解や経験を活かして国際的に活躍することをめざす人

３．入学者選抜の基本方針

本学では，各募集区分の基本理念・目標等にふさわしい学生を受け入れるために，次の入学者選抜を実施します。

教育学部においては，一般入学試験（前期日程・後期日程），学部推薦入学試験，学部私費外国人留学生入学試験，第二部第３年次編入学試験の多様な入学者選抜を実施します。

大学院においては，大学院入学試験を実施します。

特別支援教育特別専攻科においては，特別支援教育特別専攻科入学試験を実施します。

「初等教育教員養成課程アドミッション・ポリシー」

１．基本理念・目標

初等教育教員養成課程では，グローバルな視野と豊かな教養を身に付け，幼稚園と小学校との連携をふまえた専門的知識・技能及び優れた実践力・応用力を有する教員を養成します。そのために，教養科目及び基礎的科目を修得しながら，教職に関わる科目を幅広く学ぶとともに，一人ひとりの子どもの人権や安全を守る教育についての知識や能力を養い，幼児教育と小学校教育の双方の専門分野について学修を深めます。

本課程に置く「幼児教育専攻」では，幼児を理解する力や豊かな表現力を身に付け，小学校教育との接続を踏まえた幼児教育について総合的な視点をもつ実践力のある幼稚園教員の養成を目的としています。

「小学校教育専攻」の昼間コースでは，児童を理解する力や基礎的な指導力を身に付け，幼児教育との接続を踏まえた小学校教育について総合的な視点をもつ実践力のある小学校教員の養成を目的としています。

「小学校教育専攻」の夜間コースでは，昼間の勤労経験や教育現場でのインターンシップ活動など豊富な経験をもとに，豊かな人間性と社会性を備え，かつ，幼小連携に関心を持ち，優れた実践的能力を備えた小学校教員の養成を目的としています。なお，夜間コースの編入生に対しては，学生一人ひとりの学歴や専門性を活かして優れた実践的能力を備えた小学校教員の養成を目的としています。また，現職教員についても，個性や経歴を尊重した教育を行います。

２．求める学生像

・教職に就くことを強く希望し，その意志を持ち続けることのできる人
・教育や子どもの発達について，強い興味･関心と問題意識を持っている人
・明朗で協調性に富み，多様な人とのコミュニケーションが図れる人
・学校現場での豊富な体験や子どもとのふれあいなどを通して，確かな教育実践力を身に付けようとする人
・高等学校等で履修した教科・科目全般にわたる基礎学力を十分に身に付け，ＩＣＴの活用に積極性のある人

「学校教育教員養成課程アドミッション・ポリシー」

１．基本理念・目標

学校教育教員養成課程では，広い視野と豊かな教養を身に付け，専門的知識・技能及び優れた教育指導力を持った学校教員を養成します。そのために，教養科目及び基礎的科目を修得した上で，教職に関わる科目を学ぶとともに，学校安全や危機対応についての知識や能力を養い，さらに，自らが所属する「専攻」において，専門分野の学修を深めます。本課程に置く「特別支援教育専攻」では，特別支援教育に関する知識や優れた技能を持ち，特別支援学校及び通常の学校で特別支援教育に携わる教員の養成を目的としています。「小中教育専攻」では，小・中学校の教育に関する知識や技能を持ち，専門の教科などに優れ，小・中学校の連携を踏まえた指導ができる小学校教員の養成を主目的としています。「中等教育専攻」では，専門の教科を中心にした優れた教育指導力を持ち，中学校と高等学校の接続や一貫教育を踏まえた指導ができる中学校教員・高等学校教員の養成を目的としています。

２．求める学生像

・高等学校で履修した教科・科目の基礎学力を十分に身に付けた人
・教職に就くことを強く希望し，その意志を持ち続けることのできる人
・子どもたちの成長に関わることにやりがいと使命を感じることができる人
・多様な年齢の人々とコミュニケーションを図る能力を身に付けようとしている人
・学校生活の経験をとおして，学校や教育への親しみや関心を抱いている人
・特別支援教育専攻では，特別支援学校及び通常の学校で特別支援教育に携わる教員をめざすために十分な教育実践力を身に付けようとする意欲あふれる人
・小中教育専攻では，得意分野を中心に，小学校教員や中学校教員をめざすために十分な教育実践力を身に付けようとする意欲あふれる人
・中等教育専攻では，得意分野があり，その分野に関し中学校教員や高等学校教員としての十分な教育実践力を身に付けようとする意欲あふれる人

「養護教諭養成課程アドミッション・ポリシー」

１．基本理念・目標

養護教諭養成課程では，教育学の基礎の上に，医学・看護学・養護学など，幅広い専門分野の基礎知識と実践能力を備え，健康を保持増進する能力を子どもたちが獲得できるように，様々な機会を捉え支援する資質を備えた養護教諭を養成します。そのため，幅広い教養教育の基礎の上に立って，各専門分野の学修を深めるとともに，臨床（病院）実習，養護実習などをとおして実践能力の向上をめざします。さらに，学校安全や危機対応についての知識や能力を養います。

２．求める学生像

・養護教諭をめざすために必要な基礎学力があり，十分な教育実践力を身に付けようとする意欲にあふれた人
・養護教諭になることを強く希望し，その意志を持ち続けることのできる人
・子どもたちの健康な学校生活を支援することにやりがいと使命を感じる人
・人と明るく温かなコミュニケーションが図れる能力や個性を備えている人
※生物，化学を入学までに学修していることを前提として講義を行う

「教育協働学科アドミッション・ポリシー」

１．基本理念・目標

多様化し，複雑化する現代社会においては，学校の教師だけで子どもの教育を支え，学校の教育だけで社会の教育を支えることは不可能になってきています。教育協働学科は，学校現場や社会で絶え間なく発生する教育課題を解決するために，チーム学校を含む学校教育や地域教育活動を取り巻く分野（教育心理科学，健康安全科学，理数情報，グローバル教育，芸術表現，スポーツ科学）の専門性を有しつつ，教育的視点から学校，家庭，地域，社会と連携・協働することで，グローバル時代における多様な教育課題の解決を図ることができる人材の養成を目的とします。

そのため，学校と連携・協働して学校や地域における諸課題に対して教育的視点から解決を図ろうとする意欲を有する人材，また，学校教育のみならず家庭教育や社会教育においても，他者と協働しつつ高度な指導や支援，マネジメントができる人材，さらに，グローバル時代の多様な教育課題の解決を図ることが出来る人材を養成します。

２．求める学生像

・自ら専門性を有しつつ教育理解をもって多様な専門家や市民と協働し，生涯教育社会における学校と地域社会と共に多様な教育課題の解決を図ることができる人
・自らの専門分野で高度な知識や高い技能を修得し，それらを活用して学校，家庭，地域，社会において教育理解を持って連携・協働することに意欲のある人
・確かな学力と旺盛な知的好奇心，人間への深い愛情を持って，教育協働に資する分野で活躍したいと考えている人

３　ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

「教育学部ディプロマ・ポリシー」

所定の単位を修得することによって，豊かな教養と知性とともに，優れた教職能力をもって教育現場を担える人材と認められる者，又は教育的視点から学校・家庭・地域・社会と連携・協働することによって，グローバル時代における多様な課題の解決を図る人材と認められる者に学士（教育学）の学位を授与する。

「初等教育教員養成課程ディプロマ・ポリシー」

豊かな教養と知性とともに，優れた教職能力をもって教育現場を担える教諭と認められる者として共通に必要とされる資質・能力について，次のとおり設定する。

（1）豊かな教養と広い視野
・人文，社会，自然，芸術，スポーツ等の学術的・実践的な基本知識・理解に加え，キャリア形成に向けた，ＩＣＴスキル，言語運用能力，コミュニケーション力，および論理的・批判的思考力からなる汎用基礎力を身に付けている。
・世界の多様性を理解し，異文化・多文化を受容できる寛容な態度を身に付けている。

（2）学校教育の基礎的理解
・教育の理念や教育に関する歴史及び思想，並びに教職の意義，教員の職務内容についての基礎的な理解ができている。
・子どもの心身の発達と学習の過程（特別な支援を必要とする子どもの心身の発達と学習の過程を含む。）についての基礎的な理解ができている。
・学校教育に関する制度や経営的事項，並びに学校安全，特別なニーズのある子どもの教育に関する基礎的な知識や技能を身に付けている。
・教育課程の意義や編成，教育の方法や技術（情報機器の活用を含む。）についての理解をしている。

（3）指導内容の理解と実践力
・保育の各領域や小学校の各教科を指導するために必要な内容の理解を深め，それらについての指導方法の基本を身に付けている。
・保育環境や学習環境の整備，アクティブ・ラーニングを取り入れた指導計画の立案や授業づくりを行うことができる。
・保育や授業を分析する基本を身に付け，教材研究を行いながら，保育や授業を構想することができる。

（4）子どもへの対応の理解
・子ども理解に基づいて，幼児・児童の指導と教育相談の理論及び実践的な方法について修得している。
・特別なニーズや，いじめ，不登校などの指導上の課題への対応方法を理解している。
・道徳教育の理論及び指導法や特別活動の指導法について理解している。

（5）教職力量を自らひらく力
・実践的な教育活動に参画し，幼児・児童と積極的にコミュニケーションをとることができる。
・自らの学修を記録などに基づいて分析・省察し，将来への見通しや計画を立てることができる。
・チーム学校の構成員として，他者と協働して課題の解決に取り組むことができる。

「学校教育教員養成課程ディプロマ・ポリシー」

豊かな教養と知性とともに，優れた教職能力をもって教育現場を担える教諭と認められる者として共通に必要とされる資質・能力について，次のとおり設定する。

（1）豊かな教養と広い視野
・人文，社会，自然，芸術，スポーツ等の学術的・実践的な基本知識・理解に加え，キャリア形成に向けた，

ＩＣＴスキル，言語運用能力，コミュニケーション力，および論理的・批判的思考力からなる汎用基礎力を身に付けている。
・世界の多様性を理解し，異文化・多文化を受容できる寛容な態度を身に付けている。

（２）学校教育の基礎的理解
・教育の理念や教育に関する歴史及び思想，並びに教職の意義，教員の職務内容についての基礎的な理解ができている。
・子どもの心身の発達と学習の過程（特別な支援を必要とする子どもの心身の発達と学習の過程を含む。）についての基礎的な理解ができている。
・学校教育に関する制度や経営的事項，並びに学校安全，特別なニーズのある子どもの教育及び英語教育に関する基礎的な知識や技能を身に付けている。
・教育課程の意義や編成，教育の方法や技術（情報機器の活用を含む。）についての理解をしている。

（３）指導内容の理解と実践力
・小学校・中学校・高等学校の各教科，特別支援教育の各領域を指導するために必要な内容についての理解を深め，学習指導方法の基本を身に付けている。
・学習環境の整備やアクティブ・ラーニングを取り入れた指導計画の立案や授業づくりを行うことができる。
・授業分析の基本を身に付け，教材研究を行いながら，学習指導や授業を構想することができる。

（４）子どもへの対応の理解
・子ども理解に基づいて，児童・生徒の指導と教育相談の理論及び実践的な方法について修得している。
・特別なニーズや，いじめ，不登校などの生徒指導上の課題への対応方法を理解している。
・道徳教育の理論及び指導法や特別活動の指導法について理解している。

（５）教職力量を自らひらく力
・実践的な教育活動に参画し，児童・生徒と積極的にコミュニケーションをとることができる。
・自らの学修を記録などに基づいて分析・省察し，将来への見通しや計画を立てることができる。
・チーム学校の構成員として，他者と協働して課題の解決に取り組むことができる。

「養護教諭養成課程ディプロマ・ポリシー」

豊かな教養と知性とともに，優れた教職能力をもって教育現場を担える養護教諭と認められる者として共通に必要とされる資質・能力について，次のとおり設定する。

（１）豊かな教養と広い視野
・人文，社会，自然，芸術，スポーツ等の学術的・実践的な基本知識・理解に加え，キャリア形成に向けた，ＩＣＴスキル，言語運用能力，コミュニケーション力，および論理的・批判的思考力からなる汎用基礎力を身に付けている。
・世界の多様性を理解し，異文化・多文化を受容できる寛容な態度を身に付けている。

（２）学校教育の基礎的理解
・教育の理念や教育に関する歴史及び思想，並びに教職の意義，教員の職務内容についての基礎的な理解ができている。
・子どもの心身の発達と学習の過程（特別な支援を必要とする子どもの心身の発達と学習の過程を含む。）についての基礎的な理解ができている。
・学校教育に関する制度や経営的事項，並びに学校安全，特別なニーズのある子どもの教育及び英語教育に関する基礎的な知識や技能を身に付けている。
・教育課程の意義や編成，教育の方法や技術（情報機器の活用を含む。）についての理解をしている。

（３）養護実践力
・養護の理念や思想，養護学，学校保健や学校安全に係る基礎理論・知識を学び，養護教諭の役割を明確に理解している。
・健康観察や健康診断の意義や方法，保健室の役割やその機能について理解している。
・子どもの心身の健康に関して，健康相談や救急処置に係る基礎的な知識・技能を身に付けている。

（4）子どもへの対応の理解
・子ども理解に基づいて，幼児・児童・生徒の指導と教育相談の理論及び実践的な方法について修得している。
・特別なニーズや，いじめ，不登校などの生徒指導上の課題への対応方法を理解している。
・道徳教育の理論及び指導法や特別活動の指導法について理解している。

（5）教職力量を自らひらく力
・実践的な教育活動に参画し，幼児・児童・生徒と積極的にコミュニケーションをとることができる。
・自らの学修を記録などに基づいて分析・省察し，将来への見通しや計画を立てることができる。
・チーム学校の構成員として，他者と協働して課題の解決に取り組むことができる。

「教育協働学科ディプロマ・ポリシー」

豊かな教養と知性とともに，教育的視点から学校・家庭・地域・社会と連携・協働することによって，グローバル時代における多様な課題の解決を図る人材と認められる者として共通に必要とされる資質･能力について，次のとおり設定する。

（1）豊かな教養と広い視野
・人文，社会，自然，芸術，スポーツ等の学術的・実践的な基本知識・理解に加え，キャリア形成に向けた，ＩＣＴスキル，言語運用能力，コミュニケーション力，および論理的・批判的思考力からなる汎用基礎力を身に付けている。
・世界の多様性を理解し，異文化・多文化を受容できる寛容な態度を身に付けている。

（2）教育理解
・社会や教育現場のグローバル化に対応し，学校や地域等と連携・協働しながら課題解決にあたる教育協働人材としての意欲や態度を身に付けている。
・教育の理念や歴史及び思想，子どもの発達と心理の理解，教育制度全般や学校の組織と役割の理解等の教育の基礎理論，及び学校安全に関する理解を含む教育についての基礎的知識を身に付けている。

（3）協働力
・他者と協働して問題を分析し，その課題を整理することができる。
・他者と協働して課題解決に向けてのプランを策定することができる。
・課題解決プランを他者と協働して実行するための実践力を身に付けている。

（4）専門的知識・技能
・所属する専攻・コースの分野に係る専門的知識・技能を備えている。
・専門的知識・技能を用いて，専門分野に関わる内容やその意義を社会に向けて的確に伝達，表現することができる。
・専門的知識・技能を主体的に活用し，行動することができる。

（5）教育協働実践力
教育的視点から学校・家庭・地域・社会と連携・協働することで，グローバル時代における多様な課題を解決するために実践的に行動できる。

４　カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

「教育学部カリキュラム・ポリシー」

教育学部のカリキュラムは，卒業認定・学位授与の方針を踏まえ，教育学部各課程・学科において定める卒業時に必要とされる資質・能力を育成することを目的として，体系的に編成し，実施するものとする。

「初等教育教員養成課程カリキュラム・ポリシー」

豊かな教養と知性とともに，優れた教職能力をもって教育現場を担える教諭と認められる者として共通に必要とされる資質・能力を育成することを目的として，カリキュラムは以下のとおり編成し，実施するものとする。

（１）豊かな教養と広い視野

教養教育では，人文，社会，自然，芸術，スポーツ等の学術的・実践的な基本知識・理解や，キャリア形成に向けた，ＩＣＴスキル，言語運用能力，コミュニケーション力，および論理的・批判的思考力からなる汎用基礎力を育成するとともに，世界の多様性を理解し，異文化・多文化を受容できる寛容な態度を身に付けることを目的として「基盤教養科目」と「多様性理解科目」から構成する総合科目と７つの領域にわたる分野別科目とともに外国語科目，体育科目，ＩＣＴ科目を体系的に編成する。

（２）学校教育の基礎的理解

教育の理念や歴史，思想および学校教育を取り巻く文化や社会と歴史，学校安全並びに人権尊重，地域との連携を含む学校教育の制度や経営について理解するとともに，教職の意義や教員の職務，学級担任の役割や子どもについて基礎的な理解（幼児，児童及び生徒の発達や特別な支援の必要を含む。）及び教育課程の意義や編成，教育の方法や技術（情報機器の活用を含む。）についての理解を深めることができるよう，「教育総論」や「発達と学習の心理学」，「学校の役割と経営」や「教育課程・方法論」などの教職専門科目を体系的に編成する。

（３）指導内容の理解と実践力

保育における各領域や小学校の各教科を指導するために必要なそれらの内容についての理解を深め，それらについての指導方法の基本を修得し，保育環境や学習環境の整備，アクティブ・ラーニングを取り入れた指導計画の立案や授業づくりができる能力や，保育や授業を分析する基本を身に付け，教材研究を行いながら，保育や授業を構想することができる能力を育成するため，保育内容指導法科目，小学校の各教科に係る教科専門科目及び指導法科目，専門教育としての幼稚園教育専門科目，教職や教育実践，教科教育からなる系列専門科目などの科目を体系的に編成する。

（４）子どもへの対応の理解

子ども理解に基づく幼児・児童の指導と教育相談の理論及び実践的な方法を修得し，特別なニーズや，いじめ，不登校などの指導上の課題への対応方法や，道徳教育の理論及び指導法や特別活動の指導法について理解することができるよう，「教育相談の心理学」や「幼児理解と教育相談」，「特別活動論」や「道徳教育論」などの教職専門科目，「インクルーシブ教育システム論」などの教職基礎科目を体系的に編成する。

（５）教職力量を自らひらく力

実践的な教育活動に参加し，幼児・児童と積極的にコミュニケーションをとることができる能力や，自らの学修を記録などに基づいて分析・省察し，将来への見通しや計画を立てることができる能力，チーム学校の構成員の視点から他者と協働して課題の解決に取り組むことができる能力を育成するため，学校インターンシップ科目や「教育実習」などの教職関連科目，「教職実践演習」などの教職専門科目を体系的に編成する。

（６）その他

・各授業は，講義・演習・実験・実習などの方法により展開する。
・成績評価は，プレゼンテーション，レポート，試験など，多様な方法により行うものとするとともに，どのように成績に反映されるか，シラバスに明記するものとする。
・指導技術を向上させるための研修や教員同士での授業参観などを定期的に開催し，授業改善に取り組むもの

とする。

「学校教育教員養成課程カリキュラム・ポリシー」

豊かな教養と知性とともに，優れた教職能力をもって教育現場を担える教諭と認められる者として共通に必要とされる資質・能力を育成することを目的として，カリキュラムは以下のとおり編成し，実施するものとする。

（1）豊かな教養と広い視野

教養教育では，人文，社会，自然，芸術，スポーツ等の学術的・実践的な基本知識・理解や，キャリア形成に向けた，ＩＣＴスキル，言語運用能力，コミュニケーション力，および論理的・批判的思考力からなる汎用基礎力を育成するとともに，世界の多様性を理解し，異文化・多文化を受容できる寛容な態度を身に付けることを目的として，「基盤教養科目」と「多様性理解科目」から構成する総合科目と７つの領域にわたる分野別科目とともに外国語科目，体育科目，ＩＣＴ科目を体系的に編成する。

（2）学校教育の基礎的理解

教育の理念や歴史，思想および学校教育を取り巻く文化や社会と歴史，学校安全並びに人権尊重，地域との連携を含む学校教育の制度や経営について理解するとともに，教職の意義や教員の職務，学級担任の役割や子どもについて基礎的な理解（幼児，児童及び生徒の発達や特別な支援の必要を含む。）及び教育課程の意義や編成，教育の方法や技術（情報機器の活用を含む。）についての理解を深めることができるよう，「教育総論」や「発達と学習の心理学」，「学校の役割と経営」や「教育課程・方法論」などの教職専門科目を体系的に編成する。

（3）指導内容の理解と実践力

小学校・中学校・高等学校の各教科及び特別支援教育の各領域を指導するために必要なそれらの内容についての理解を深め，学習指導方法の基本を修得し，学習環境の整備，アクティブ・ラーニングを取り入れた指導計画の立案や授業づくりができる能力や，授業分析の基本を身に付け，教材研究を行いながら，学習指導や授業を構想することができる能力を育成するため，小学校の各教科に係る教科専門科目及び指導法科目，専門教育としての教育科学（教育学・心理学・道徳教育学）や，中・高等学校の各教科内容に係る高度な理解に資するコース専門科目，特別支援教育専門科目を体系的に編成する。

（4）子どもへの対応の理解

子ども理解に基づく児童・生徒の指導と教育相談の理論及び実践的な方法を修得し，特別なニーズや，いじめ，不登校などの生徒指導上の課題への対応方法や，道徳教育の理論及び指導法や特別活動の指導法について理解することができるよう，「生徒指導・進路指導論」や「教育相談の心理学」，「特別活動論」や「道徳教育論」などの教職専門科目，「インクルーシブ教育システム論」などの教職基礎科目を体系的に編成する。

（5）教職力量を自らひらく力

実践的な教育活動に参加し，児童・生徒と積極的にコミュニケーションをとることができる能力や，自らの学修を記録などに基づいて分析・省察し，将来への見通しや計画を立てることができる能力，チーム学校の構成員の視点から他者と協働して課題の解決に取り組むことができる能力を育成するため，学校インターンシップ科目や「教育実習」などの教職関連科目，「教職実践演習」などの教職専門科目を体系的に編成する。

（6）その他

・各授業は，講義・演習・実験・実習などの方法により展開する。
・成績評価は，プレゼンテーション，レポート，試験など，多様な方法により行うものとするとともに，どのように成績に反映されるか，シラバスに明記するものとする。
・指導技術を向上させるための研修や教員同士での授業参観などを定期的に開催し，授業改善に取り組むものとする。

「養護教諭養成課程カリキュラム・ポリシー」

豊かな教養と知性とともに，優れた教職能力をもって教育現場を担える養護教諭と認められる者として共通

に必要とされる資質・能力を育成することを目的として，カリキュラムは以下のとおり編成し，実施するものとする。

（1）豊かな教養と広い視野
教養教育では，人文，社会，自然，芸術，スポーツ等の学術的・実践的な基本知識・理解や，キャリア形成に向けた，ＩＣＴスキル，言語運用能力，コミュニケーション力，および論理的・批判的思考力からなる汎用基礎力を育成するとともに，世界の多様性を理解し，異文化・多文化を受容できる寛容な態度を身に付けることを目的として，「基盤教養科目」と「多様性理解科目」から構成する総合科目と７つの領域にわたる分野別科目とともに外国語科目，体育科目，ＩＣＴ科目を体系的に編成する。

（2）学校教育の基礎的理解
教育の理念や歴史，思想および学校教育を取り巻く文化や社会と歴史，学校安全並びに人権尊重，地域との連携を含む学校教育の制度や経営について理解するとともに，教職の意義や教員の職務，学級担任の役割や子どもについて基礎的な理解（幼児，児童及び生徒の発達や特別な支援の必要を含む。）及び教育課程の意義や編成，教育の方法や技術（情報機器の活用を含む。）についての理解を深めることができるよう，「教育総論」や「発達と学習の心理学」，「学校の役割と経営」や「教育課程・方法論」などの教職専門科目を体系的に編成する。

（3）養護実践力
養護の理念や思想，養護学，学校保健や学校安全，子どもの心身の健康に関する健康相談や救急処置に係る基礎理論・知識を学び，養護教諭の役割を明確に理解するとともに，健康観察や健康診断の意義や方法，保健室の役割やその機能について理解することができるよう，専門教育としての養護教育専門科目を体系的に編成する。

（4）子どもへの対応の理解
子ども理解に基づく幼児･児童･生徒の指導と教育相談の理論及び実践的な方法を修得し，特別なニーズや，いじめ，不登校などの生徒指導上の課題への対応方法や，道徳教育の理論及び指導法や特別活動の指導法について理解することができるよう，「生徒指導論」や「教育相談の心理学」，「特別活動論」や「道徳教育論」などの教職専門科目，「インクルーシブ教育システム論」などの教職基礎科目を体系的に編成する。

（5）教職力量を自らひらく力
実践的な教育活動に参加し，幼児・児童・生徒と積極的にコミュニケーションをとることができる能力や，自らの学修を記録などに基づいて分析・省察し，将来への見通しや計画を立てることができる能力，チーム学校の構成員の視点から他者と協働して課題の解決に取り組むことができる能力を育成するため，学校インターンシップ科目や「養護実習」などの教職関連科目，「教職実践演習」などの教職専門科目を体系的に編成する。

（6）その他
・各授業は，講義・演習・実験・実習などの方法により展開する。
・成績評価は，プレゼンテーション，レポート，試験など，多様な方法により行うものとするとともに，どのように成績に反映されるか，シラバスに明記するものとする。
・指導技術を向上させるための研修や教員同士での授業参観などを定期的に開催し，授業改善に取り組むものとする。

「教育協働学科カリキュラム・ポリシー」

豊かな教養と知性とともに，教育的視点から学校・家庭・地域・社会と連携・協働することによって，グローバル時代における多様な課題の解決を図る人材と認められる者として共通に必要とされる資質･能力を育成することを目的として，カリキュラムは以下のとおり編成し，実施するものとする。

（1）豊かな教養と広い視野
教養教育では，人文，社会，自然，芸術，スポーツ等の学術的・実践的な基本知識・理解や，キャリア形成に向けた，ＩＣＴスキル，言語運用能力，コミュニケーション力，および論理的・批判的思考力からなる汎用基礎力を育成するとともに，世界の多様性を理解し，異文化・多文化を受容できる寛容な態度を身に付けることを目的として，「基盤教養科目」と「多様性理解科目」から構成する総合科目と７つの領域にわたる分野別

科目とともに外国語科目，体育科目，ＩＣＴ科目を体系的に編成する。

（2）教育理解

社会のグローバル化に対応し，学校や地域等と連携の上，協働して課題解決にあたる教育協働人材としての基礎である教育の理念や教育の歴史及び思想，子どもの発達と心理の理解，教育制度全般や学校の組織と役割の理解などの教育の基礎理論や，学校安全の学修を通して，学校や地域における諸課題に対して教育的視点から解決を図ろうとする意欲や態度を醸成するため，教育基礎科目における「教育基礎セミナー」や「教育総論」，「学校の役割と経営」や「学校安全」などにより体系的に編成する。

（3）協働力

他者と協働して問題を分析のうえ整理し，課題解決に向けてのプランを策定することができる能力や課題解決プランを他者と協働して実行するための実践力を育成するため，専門教育科目に教育協働科目を開設し，「教育協働概論」，「教育協働デザイン演習」などの協働共通科目，各自が所属する専攻に対応する専攻共通科目を体系的に編成する。

（4）専門的知識・技能

所属する専攻・コースの分野に係る専門的知識・技能を備え，専門分野に関する内容やその意義を社会に向けて的確に伝達，表現することができる能力や，主体的に物事を考え，行動することに専門的知識・技能を活用できる能力を育成するため，専門教育科目において各自が所属する専攻に対応する専攻分野科目を体系的に編成する。

（5）教育協働実践力

教育的視点から学校・家庭・地域・社会と連携・協働することで，グローバル時代における多様な課題を解決するために実践的に行動できる能力を育成するため，専門教育科目における教育協働科目「教育コラボレーション演習」，「外国語実践演習」，課題解決型学習（ＰＢＬ）科目であるプロジェクト演習科目などにより体系的に編成する。

（6）その他

・各授業は，講義・演習・実験・実習などの方法により展開する。
・成績評価は，プレゼンテーション，レポート，試験など，多様な方法により行うものとするとともに，どのように成績に反映されるか，シラバスに明記するものとする。
・指導技術を向上させるための研修や教員同士での授業参観などを定期的に開催し，授業改善に取り組むものとする。

５　出　願　資　格

次のいずれかに該当する者で，平成３０年度大学入試センター試験において，本学が各募集区分で指定した教科・科目（１８～２２頁「入学者選抜の実施教科・科目等について」を参照）を受験した者。

なお，大学入試センター試験の外国語で英語を受験している場合は，必ずリスニングテストを受験していること。（リスニングテスト免除者は除く。なお，外国語の配点については２６頁参照）

(1)　高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）を卒業した者及び平成３０年３月卒業見込みの者

(2)　通常の課程による１２年の学校教育を修了した者及び平成３０年３月修了見込みの者

(3)　学校教育法施行規則（昭和２２年文部省令第１１号）第１５０条の規定により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成３０年３月３１日までにこれに該当する見込みの者（次のア～カのいずれかに該当する者）

ア　外国において学校教育における１２年の課程を修了した者及び平成３０年３月３１日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

イ　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成３０年３月３１日までに修了見込みの者

ウ　専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

エ　文部科学大臣の指定した者

オ　高等学校卒業程度認定試験規則（平成１７年文部科学省令第１号）により文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び平成３０年３月３１日までに合格見込みの者（大学入学資格検定に合格した者を含む）

カ　本学において，個別の入学資格審査により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，平成３０年３月３１日までに１８歳に達するもの

注　上記出願資格（3）カにより出願を希望する者は，事前に個別の入学資格審査を行いますので，必ず入試課（０７２－９７８－３３２４）へ問い合わせの上，次の期間内に個別の入学資格審査申請を行ってください。

・第１回目　平成２９年８月　１日（火）～平成２９年８月３１日（木）［受付終了］

・第２回目　平成３０年１月１５日（月）～平成３０年１月１７日（水）

なお，審査結果は第１回目については，平成２９年９月１日（金），第２回目については，平成３０年１月２２日（月）頃に本人宛に通知します。

６　他の国公立大学・学部との併願及び本学内での併願について

ア　本学は，分離分割方式「前期日程，後期日程」で個別学力検査等を行います。

イ　本学の「前期日程」に出願する者は，本学の「後期日程」若しくは他の国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）の「後期日程」に併願することができます。また，本学の「後期日程」に出願する者は，本学の「前期日程」若しくは他の国公立大学・学部の「前期日程」に併願することができます。

※公立大学協会ホームページ（http://www.kodaikyo.org/）参照

ウ　本学の「前期日程」に出願する者は，他の国公立大学・学部の「前期日程」に出願することはできません。また，本学の「後期日程」に出願する者は，他の国公立大学・学部の「後期日程」に出願することはできません。

エ　「前期日程」の入学手続完了者は，本学の「後期日程」の個別学力検査等を受験していても，合格者とはなりません。

オ　国公立大学の推薦入試合格者は，当該大学・学部の定める推薦入学辞退手続により入学の辞退を許可された場合を除いて，本学の個別学力検査等を受験していても，入学許可は得られません。

7　出願期間・出願手続

（1）　出　願　期　間

平成３０年１月２２日（月）～平成３０年１月３１日（水）必着

（2）　出　願　方　法

入学志願者は，出願に必要な書類等を取りそろえ，募集要項に添付している所定の封筒（**「前期日程」は桃色，「後期日程」は空色**）を用いて**書留速達郵便**で，**１月３１日（水）必着**で入試課宛へ郵送してください。
ただし，期間後に到着した場合でも，１月２９日（月）までの発信局消印のある書留速達郵便に限り有効とします。（郵便事情を十分考慮して，早めに送付してください。）

（注）１　出願書類は直接持参しても受理しません。
２　出願書類受理後は，記載事項の変更は認めません。また，記載事項が事実と相違していることが判明した場合は，合格又は入学許可を取り消すことがあります。
３　受理した出願書類は，いかなる理由があっても一切返還できません。
４　出願書類の件で連絡する場合があるので，出願期間中は連絡がとれるようにしておいてください。
５　出願書類の受領確認は電話でお答えできません。日本郵便ホームページ（http://www.post.japanpost.jp/index.html）の追跡サービスでご確認ください。
６　本学が各募集区分で指定した平成３０年度大学入試センター試験の教科・科目を受験していることを確認してください。（１８～２２頁，６４～６６頁参照）

出願状況の情報提供

平成３０年１月２４日（水）から本学ウェブページで出願状況をお知らせします。
大阪教育大学ウェブページ　https://osaka-kyoiku.ac.jp/admission/nyushi/gakubu_ippan.html

（3）　出　願　書　類　等

書類等		摘要
①	入学志願票 入学志願者電算処理票 写真票 写真用シール	①　募集要項に添付している所定の用紙に必要事項を記入してください。 ②　入学志願者電算処理票の所定欄に，「平成３０センター試験成績請求票」を貼付してください。 「前期日程」に出願する場合は，「前　国公立前期日程用」を，「後期日程」に出願する場合は，「後　国公立後期日程用」を貼付してください。 【注】成績請求票を提出していない場合，又は指定のものと異なる成績請求票を提出した場合は，出願が無効となる場合があるので，注意してください。 ③　写真票（２枚）に同一の「写真」を貼付してください。 （正面，上半身，脱帽，縦４cm×横３cm，３か月以内に撮影したもの。写真の裏面に氏名及び志望課程・専攻・コースを記入してください。） ④　写真票に貼付した写真の上から，本学所定の写真用シールを貼付してください。

書類等		摘要
②	調査書	① 出身学校長が作成し，厳封したもの（**前期・後期日程ごとに一部必要**） ② 高等学校卒業程度認定試験合格者（大学入学資格検定合格者含む。）は，合格成績証明書をもって調査書に代えます。なお，高等学校等で修得したことにより受験科目を一部免除された場合は，高等学校等の調査書も提出してください。（調査書を提出できない場合は，成績証明書を提出してください。） ③ １２頁の出願資格の(2)及び(3)のイに該当する者は，高等学校が作成する調査書に準じて作成したものを提出してください。 ④ １２頁の出願資格の(3)のア，ウ，エに該当する者は，成績証明書等を提出してください。 ⑤ 卒業後の経過年数，廃校又は被災等の事情により，出身学校長の調査書を提出できない場合は，調査書に代わるもの（成績通知書，出身学校が作成した「調査書を発行できない旨の文書」，卒業証明書など）を提出してください。 ⑥ 証明書等が日本語以外で記載されている場合は，日本語訳を添付してください。
③	入学資格（出願資格）認定書	１２頁の出願資格の(3)のカに該当する者は，大阪教育大学の入学資格（出願資格）認定書（コピー）を提出してください。
④	入学検定料振込金証明書	本学所定の用紙に必要事項を記入の上，入学検定料振込金証明書（大学提出用）を貼付してください。（**１７，０００円** ただし，初等教育教員養成課程小学校教育専攻夜間５年コースは**１０，０００円**）
⑤	受験票返送用封筒	募集要項に添付している所定の封筒を用いて，送り先を明記の上，切手３７２円分（速達郵便料を含む。）を貼付してください。 受験票は２月１３日（火）発送予定です。
⑥	英語能力測定試験等に関する提出用紙	小中教育専攻・中等教育専攻英語教育コース志望者及びグローバル教育専攻英語コミュニケーションコース志望者で英語能力測定試験や英語活動による得点加算を希望する者は１５～１６頁を参照のうえ提出してください。 該当する者は，⑦⑧もよく読んで提出すること。
⑦	英語能力測定試験に関する証明書（小中教育専攻・中等教育専攻　英語教育コース志望者及び英語コミュニケーションコース志望者で得点加算を希望する者）	実用英語技能検定，TOEFL iBT などの英語能力測定試験で所定の等級又はスコア取得により，所定の点数加算を希望する場合は，該当する試験の成績証明書など（コピー可）を提出してください。提出していただいた成績証明書などは一切返却しません。 【注】出願受付期間後に提出することはできません。 **コピーの場合は，学校が原本証明したものを必ず提出**してください。 ※平成27年10月1日以降に受験した試験のみ有効とします。
⑧	英語活動に関する証明書（小中教育専攻・中等教育専攻　英語教育コース志望者で得点加算を希望する者）	スピーチコンテストやディベートコンテストあるいはそれに類する英語での活動における受賞歴や優れた業績を収めている者で，点数加算を希望する場合は，英語での活動内容が客観的に証明できる書類（表彰状などコピー可）を提出してください。提出していただいた表彰状などは一切返却しません。 【注】出願受付期間後に提出することはできません。 **コピーの場合は，学校が原本証明したものを必ず提出**してください。 ※高等学校入学以降のものに限ります。
⑨	伴奏用楽譜 音楽実技選択者提出用紙	音楽実技選択者のうち，該当する者は提出してください。 音楽実技実施科目の歌曲及び声楽に必要な伴奏用楽譜は，１ページの大きさをＢ５（縦257㎜×横182㎜）判とし志願者氏名を明記してください。 選択した作曲者名と曲名等は，**本学所定の用紙**に記入してください。

※　入学検定料納付方法

本学所定の振込用紙に必要事項を記入し，金融機関の窓口（電信扱い）から振り込んでください。
（ＡＴＭ・ゆうちょ銀行・郵便局は利用しないでください。）
（金融機関の受付印を押印した入学検定料振込金証明書（大学提出用）を本学所定の用紙に貼付し，

出願書類として提出してください。）
なお，初等教育教員養成課程小学校教育専攻夜間５年コースの志願者はライン入りの用紙を使用してください。

・ 入学検定料　　**１７，０００円**（ただし**夜間５年コースは１０，０００円**）
・ 振込手数料は出願者が負担してください。
・ 東日本大震災（平成２３年3月１１日）及び熊本地震（平成２８年４月１４日）により被災した志願者を対象に入学検定料の免除を行う場合があります。詳細は以下の本学ウェブページを参照してください。
https://osaka-kyoiku.ac.jp/admission/nyushi/kenteiryou_menjyo.html
・出願後，一旦受理した入学検定料は，１７頁（６）の場合を除き，返還できません。

（４） 英語能力測定試験の成績利用

（４）－１　小中教育専攻・中等教育専攻　英語教育コース

小中教育専攻 英語教育コースと中等教育専攻 英語教育コースでは，実用英語技能検定，TOEFL iBT などの英語能力測定試験で本学が指定する等級又はスコアを取得している場合，若しくは英語での活動における受賞歴等がある場合は，大学入試センター試験の得点の合計点が満点に達するまで所定の点数を加算することができます。ただし，（ア）と（イ）の合計点は 50 点を超えないものとします。

(ア) 本学が定める大学入試センター試験の得点の合計点に加算できる英語能力測定試験の等級又はスコアは次のとおりです。なお，利用できる英語能力測定試験は平成 27 年 10 月 1 日以降に受験した試験を対象とし，利用できる英語能力測定試験は１つのみとします。

センター試験への得点加算	実用英語技能検定（英検）	TOEFL iBT	IELTS ＊	TOEIC (LR)	GTEC for STUDENTS＊＊
50 点	準 1 級以上	80 以上	6.0 以上	730 以上	800 以上
30 点		65 以上	5.0 以上	600 以上	680 以上

＊　IELTS はアカデミック・モジュールとジェネラル・トレーニング・モジュールの両方を対象とします。
＊＊GTEC for STUDENTS は検定受験だけではなく，通常受験も対象とします。

英語能力測定試験の提出書類（小中教育専攻 英語教育コースと中等教育専攻 英語教育コース）
英語能力測定試験で所定の等級又はスコアを取得しているため，大学入試センター試験の得点の合計点に加算することを希望する場合には，該当する試験の成績証明書など（コピー可）を１通用意して，入学願書送付用封筒に同封のうえ出願してください。なお，**コピーの場合は，高等学校が原本証明したものを必ず提出**してください。（英語能力測定試験の成績証明書などを出願受付期間後に提出することはできません。）

英語能力測定試験	提出書類（成績証明書など）
実用英語技能検定（英検）	実用英語技能検定　合格証明書
TOEFL iBT	TOEFL Internet-based Test Examinee Score Report
IELTS	IELTS Test Report Form（成績証明書）
TOEIC（LR）	TOEIC Official Score Certificate（公式認定証）
GTEC for STUDENTS	GTEC for STUDENTS Score Report

（注１）複数取得している場合には，最も得点加算が高いものを提出してください。
（注２）提出していただいた成績証明書などは一切返却しません。

(イ) スピーチコンテストやディベートコンテストあるいはそれに類する英語での活動における受賞歴や優れた業績を収めている場合は，50 点を上限として，大学入試センター試験の得点の合計点

が満点に達するまで加算します。ただし，高等学校入学以降のものに限ります。
加点を希望する場合は，英語での活動内容が客観的に証明できる書類（表彰状などコピー可）を用意して，入学願書送付用封筒に同封のうえ提出してください。
なお，**コピーの場合は学校が原本証明したものを必ず提出**してください。

上記（ア）（イ）の加点を希望する場合は，別紙様式**「英語能力測定試験に関する提出用紙」**を提出してください。

（4）－2　グローバル教育専攻　英語コミュニケーションコース

グローバル教育専攻 英語コミュニケーションコースでは，実用英語技能検定，TOEFL iBT などの英語能力測定試験で本学が指定する次の等級又はスコアを取得している場合は，大学入試センター試験と個別学力検査「外国語」の得点の合計点が満点に達するまで所定の点数を加算することができます。
なお，利用できる英語能力測定試験は平成 27 年 10 月 1 日以降に受験した試験を対象とし，利用できる英語能力測定試験は１つのみとします。

合計点への得点加算	実用英語技能検定（英検）	TOEFL iBT	IELTS ＊	TOEIC + TOEIC SW＊＊	GTEC CBT
180 点	準 1 級以上	80 以上	6.5 以上	1090 以上	1200 以上
60 点		65 以上	5.5 以上	890 以上	1050 以上
30 点		60 以上	4.5 以上	790 以上	1000 以上
10 点		55 以上	4.0 以上	770 以上	950 以上

＊IELTS はアカデミック・モジュールのみを対象とします。
＊＊「TOEIC テスト」及び「TOEIC SW テスト」両試験の受験及びスコアを必須とします。

英語能力測定試験の提出書類（グローバル教育専攻 英語コミュニケーションコース）
英語能力測定試験で所定の等級又はスコアを取得しているため，大学入試センター試験と個別学力検査「外国語」の得点の合計点に加算を希望する場合には，該当する試験の成績証明書など（コピー可）を１通用意して，入学願書送付用封筒に同封のうえ出願してください。**コピーの場合は，高等学校が原本証明したものを必ず提出**してください。（英語能力測定試験の成績証明書などを出願受付期間後に提出することはできません。）

英語能力測定試験	提出書類（成績証明書など）
実用英語技能検定（英検）	実用英語技能検定　合格証明書
TOEFL iBT	TOEFL Internet-based Test Examinee Score Report
IELTS	IELTS Test Report Form（成績証明書）
TOEIC + TOEIC SW	TOEIC Official Score Certificate（公式認定証） 及び TOEIC Speaking and Writing Test Official Score Certificate（公式認定証）
GTEC CBT	GTEC CBT Score Report

（注１）複数取得している場合には，最も得点加算が高いものを提出してください。
（注２）提出していただいた成績証明書などは一切返却しません。

なお，上記の加点を希望する場合は，別紙様式**「英語能力測定試験に関する提出用紙」**を提出してください。

（5） 個人情報の取扱いについて

出願書類から取得した個人情報及び入学試験の実施により取得した個人情報は，「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人大阪教育大学保有個人情報開示等取扱規程」に基づき，適切に管理し，以下の目的に利用します。

１．入学者の選抜，合格発表，入学手続業務等に利用します。
２．入学者の個人情報については，教務関係（学籍，修学指導等），学生支援関係（健康管理，就職支援，授業料免除，奨学金申請，図書館利用等），学生アカウント関係（学内メール，パソコン利用）及び授業料徴収に関する業務に利用します。
３．氏名及び大学入試センター試験の受験番号は，国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため，独立行政法人大学入試センター及び併願先国公立大学へ送達します。
４．入学者選抜に用いた試験成績は，今後の入学者選抜に資するための分析資料として利用します。

なお，以上の業務の一部またはすべてを外部に委託し，必要な個人情報を提供する場合は，委託先との間で適切な取扱に関する契約を締結します。

（6） 入学検定料の返還請求について

次の ア）～ ウ）の場合を除き，出願後，一旦受理した入学検定料は返還できません。

ア）入学検定料を払い込んだが，出願しなかった場合，又は出願資格を有していないため出願書類が受理されなかった場合
イ）入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合
ウ）出願受付後に大学入試センター試験受験科目の不足等により出願無資格者であることが判明した場合
（返還金額　１３，０００円　ただし，小学校教育専攻夜間５年コースは７，８００円）

上記 ア）～ ウ）に該当する場合は，入学検定料の全部又は一部の返還請求ができますので，大阪教育大学学務部入試課まで問い合わせてください。ただし，ア），イ）については，返還に係る振込手数料は，請求者の負担とします。また，返還には入学検定料振込金証明書（大学提出用）が必要となります。
ＴＥＬ　０７２－９７８－３３２４　　受付時間：平日９：００～１７：００
ＦＡＸ　０７２－９７８－３３２７

８ 入学者選抜方法等

（1） 入学者選抜方法

入学者選抜は，大学入試センター試験の成績，本学の行う個別学力検査等の成績及び出身学校から提出される調査書の内容を総合して行います。
合否判定は，大学入試センター試験の成績と個別学力検査等の総合得点及び調査書の内容を総合して行います。
ただし，総合得点が著しく低い者については，募集人員に満たない場合でも，不合格とすることがあります。

（２）　入学者選抜の実施教科・科目等について

一般入試で，大阪教育大学が課す平成30年度大学入試センター試験の利用教科・科目及び本学の実施する個別学力検査等は次のとおりです。（配点については23～26頁を参照してください。）

なお，平成30年度大学入試センター試験において，本学が課す教科・科目を1科目でも受験しなかった場合は，一般入試においては個別学力検査等の受験を認めません。また，個別学力検査等を1科目でも受験しなかった場合は，選抜の対象としません。

学部	課程・専攻・コース名	大学入試センター試験の利用教科・科目名			日程	個別学力検査等	
		教科	科目名等			教科等	科目名等
教育学部	初等教育教員養成課程 幼児教育専攻	国	国	必須	前期	その他	面接
		外	英(リ)，独，仏，中，韓	から1			
		地歴	世A，世B，日A，日B，地理A，地理B	から1又は2			
		公民	現社，倫，政経，倫・政経				
		数	数Ⅰ，数Ⅰ・数A	から1			
			数Ⅱ，数Ⅱ・数B，簿，情報	から1			
		理	地歴公民から2科目選択した場合：A 物基，化基，生基，地基から2 / B 物，化，生，地から1	⇒A又はB			
			地歴公民から1科目選択した場合：C 物基，化基，生基，地基から2 並びに 物，化，生，地から1（注6） / D 物，化，生，地から2	⇒C又はD			
			〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕				
	初等教育教員養成課程 小学校教育専攻 昼間コース	国	国	必須	前期	その他	小論文
		外	英(リ)，独，仏，中，韓	から1			
		地歴	世A，世B，日A，日B，地理A，地理B	から1又は2			
		公民	現社，倫，政経，倫・政経				
		数	数Ⅰ，数Ⅰ・数A	から1			
			数Ⅱ，数Ⅱ・数B，簿，情報	から1			
		理	地歴公民から2科目選択した場合：A 物基，化基，生基，地基から2 / B 物，化，生，地から1	⇒A又はB	後期	その他	面接
			地歴公民から1科目選択した場合：C 物基，化基，生基，地基から2 並びに 物，化，生，地から1（注6） / D 物，化，生，地から2	⇒C又はD			
			〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕				
	初等教育教員養成課程 小学校教育専攻 夜間5年コース	国	国	必須	前期	その他	小論文
		外	英(リ)，独，仏，中，韓	から1			
		地歴	世A，世B，日A，日B，地理A，地理B	から1又は2			
		公民	現社，倫，政経，倫・政経				
		数	数Ⅰ，数Ⅰ・数A	から1			
			数Ⅱ，数Ⅱ・数B，簿，情報	から1			
		理	地歴公民から2科目選択した場合：A 物基，化基，生基，地基から2 / B 物，化，生，地から1	⇒A又はB	後期	その他	面接
			地歴公民から1科目選択した場合：C 物基，化基，生基，地基から2 並びに 物，化，生，地から1（注6） / D 物，化，生，地から2	⇒C又はD			
			〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕				
	学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻	国	国	必須	前期	その他	小論文
		外	英(リ)，独，仏，中，韓	から1			
		地歴	世A，世B，日A，日B，地理A，地理B	から2			
		公民	現社，倫，政経，倫・政経				
		数	数Ⅰ，数Ⅰ・数A	から1	後期	その他	小論文
			数Ⅱ，数Ⅱ・数B，簿，情報	から1			
		理	A 物基，化基，生基，地基から2 / B 物，化，生，地から1	A又はB			
			〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕				
	学校教育教員養成課程 小中教育専攻 学校教育コース	国	国	必須	前期	その他	小論文
		外	英(リ)，独，仏，中，韓	から1			
		地歴	世A，世B，日A，日B，地理A，地理B	から2			
		公民	現社，倫，政経，倫・政経				
		数	数Ⅰ，数Ⅰ・数A	から1			
			数Ⅱ，数Ⅱ・数B，簿，情報	から1			
		理	A 物基，化基，生基，地基から2 / B 物，化，生，地から1	A又はB			
			〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕				
	学校教育教員養成課程 小中教育専攻 国語教育コース	国	国	必須	前期	その他	小論文 面接
		外	英(リ)，独，仏，中，韓	から1			
		地歴	世A，世B，日A，日B，地理A，地理B	から2			
		公民	現社，倫，政経，倫・政経				
		数	数Ⅰ，数Ⅰ・数A	から1			
			数Ⅱ，数Ⅱ・数B，簿，情報	から1	後期	その他	面接
		理	A 物基，化基，生基，地基から2 / B 物，化，生，地から1	A又はB			
			〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕				
	学校教育教員養成課程 小中教育専攻 英語教育コース	国	国	必須	前期	外	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ（聴き取り試験を含まない。）
		外	英(リ)，独，仏，中，韓	から1			
		地歴	世A，世B，日A，日B，地理A，地理B	から1又は2			
		公民	現社，倫，政経，倫・政経				
		数	数Ⅰ，数Ⅰ・数A	から1			
			数Ⅱ，数Ⅱ・数B，簿，情報	から1			
		理	地歴公民から2科目選択した場合：A 物基，化基，生基，地基から2 / B 物，化，生，地から1	⇒A又はB			
			地歴公民から1科目選択した場合：C 物基，化基，生基，地基から2 並びに 物，化，生，地から1（注6） / D 物，化，生，地から2	⇒C又はD			
			〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕				
		※英語能力測定試験等の成績により大学入試センター試験の得点の合計点に得点加算します。（注10）					

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】及び【個別学力検査等】については，２２頁も参照してください。

学部	課程・専攻・コース名			大学入試センター試験の利用教科・科目名				日程	個別学力検査等	
				教科	科目名等				教科等	科目名等
教育学部	学校教育教員養成課程	小中教育専攻	社会科教育コース	国		国	必須	前期	その他	小論文
				外		英(リ), 独, 仏, 中, 韓	から1			
				地歴		世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から2			
				公民		現社, 倫, 政経, 倫・政経				
				数		数Ⅰ, 数Ⅰ・数A	から1			
						数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報	から1			
				理		A 物基, 化基, 生基, 地基から2 B 物, 化, 生, 地から1	A又はB			
				〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕						
			数学教育コース	国		国	必須	前期	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(注8)
				外		英(リ), 独, 仏, 中, 韓	から1		理	物基・物, 化基・化, 生基・生, 地基・地 から1(注9) (試験開始後に選択)
				地歴		世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から1			
				公民		現社, 倫, 政経, 倫・政経				
				数		数Ⅰ, 数Ⅰ・数A	から1			
						数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報	から1			
				理		C 物基, 化基, 生基, 地基から2 並びに 物, 化, 生, 地から1(注6) D 物, 化, 生, 地から2	C又はD	後期	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(注8)
				〔5教科7～8科目〕						
			理科教育コース	国		国	必須	前期	理	物基・物, 化基・化, 生基・生, 地基・地 から1(注9) (試験開始後に選択)
				外		英(リ), 独, 仏, 中, 韓	から1			
				地歴		世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から1			
				公民		現社, 倫, 政経, 倫・政経				
				数		数Ⅰ, 数Ⅰ・数A	から1			
						数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報	から1			
				理		C 物基, 化基, 生基, 地基から2 並びに 物, 化, 生, 地から1(注6) D 物, 化, 生, 地から2	C又はD	後期	その他	小論文
				〔5教科7～8科目〕						
			家政教育コース	国		国	必須	前期	その他	小論文
				外		英(リ), 独, 仏, 中, 韓	から1			
				地歴		世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から1又は2			
				公民		現社, 倫, 政経, 倫・政経				
				数		数Ⅰ, 数Ⅰ・数A	から1			
						数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報	から1			
				理	地歴公民から2科目選択した場合	A 物基, 化基, 生基, 地基から2 B 物, 化, 生, 地から1	⇒A又はB			
					地歴公民から1科目選択した場合	C 物基, 化基, 生基, 地基から2 並びに 物, 化, 生, 地から1(注6) D 物, 化, 生, 地から2	⇒C又はD			
				〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕						
			保健体育コース	国		国	必須	前期	その他	実技検査
				外		英(リ), 独, 仏, 中, 韓	から1			
				地歴		世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から1			
				公民		現社, 倫, 政経, 倫・政経				
				数		数Ⅰ, 数Ⅰ・数A	から1	後期	その他	実技検査
						数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報				
				理		A 物基, 化基, 生基, 地基から2 B 物, 化, 生, 地から1	A又はB			
				〔5教科5～6科目〕						
			音楽教育コース	国		国	必須	前期	その他	実技検査
				外		英(リ), 独, 仏, 中, 韓	から1			
				地歴		世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から1			
				公民		現社, 倫, 政経, 倫・政経				
				数		数Ⅰ, 数Ⅰ・数A	から1			
						数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報				
				理		A 物基, 化基, 生基, 地基から2 B 物, 化, 生, 地から1	A又はB			
				〔5教科5～6科目〕						
			美術・書道教育コース	国		国	必須	前期	その他	実技検査 面接
				外		英(リ), 独, 仏, 中, 韓	から1			
				地歴		世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から1			
				公民		現社, 倫, 政経, 倫・政経				
				数		数Ⅰ, 数Ⅰ・数A	から1			
						数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報		後期	その他	実技検査
				理		A 物基, 化基, 生基, 地基から2 B 物, 化, 生, 地から1	A又はB			
				〔5教科5～6科目〕						
		中等教育専攻	国語教育コース	国		国	必須	前期	その他	小論文 面接
				外		英(リ), 独, 仏, 中, 韓	から1			
				地歴		世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から2			
				公民		現社, 倫, 政経, 倫・政経				
				数		数Ⅰ, 数Ⅰ・数A	から1			
						数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報	から1			
				理		A 物基, 化基, 生基, 地基から2 B 物, 化, 生, 地から1	A又はB			
				〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕						

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】及び【個別学力検査等】については，２２頁も参照してください。

学部	課程・専攻・コース名			大学入試センター試験の利用教科・科目名				日程	個別学力検査等	
				教科	科目名等				教科等	科目名等
教育学部	学校教育教員養成課程	中等教育専攻	英語教育コース	国		国	必須	前期	外	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ（聴き取り試験を含まない。）
				外		英(リ), 独, 仏, 中, 韓	から1			
				地歴		世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から1又は2			
				公民		現社, 倫, 政経, 倫・政経				
				数		数Ⅰ, 数Ⅰ・数A	から1			
						数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報	から1			
				理	地歴公民から2科目選択した場合	A 物基, 化基, 生基, 地基から2 B 物, 化, 生, 地から1	⇒A又はB			
					地歴公民から1科目選択した場合	C 物基, 化基, 生基, 地基から2 並びに 物, 化, 生, 地から1(注6) D 物, 化, 生, 地から2	⇒C又はD			
				〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕						
				※英語能力測定試験等の成績により大学入試センター試験の得点の合計点に得点加算します。(注10)						
			社会科教育コース	国		国	必須	前期	その他	小論文
				外		英(リ), 独, 仏, 中, 韓	から1			
				地歴		世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から2			
				公民		現社, 倫, 政経, 倫・政経				
				数		数Ⅰ, 数Ⅰ・数A	から1			
						数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報	から1			
				理		A 物基, 化基, 生基, 地基から2 B 物, 化, 生, 地から1	A又はB			
				〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕						
			数学教育コース	国		国	必須	前期	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(注8)
				外		英(リ), 独, 仏, 中, 韓	から1		理	物基・物, 化基・化, 生基・生, 地基・地 から1(注9) （試験開始後に選択）
				地歴		世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から1			
				公民		現社, 倫, 政経, 倫・政経				
				数		数Ⅰ, 数Ⅰ・数A	から1			
						数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報	から1			
				理		C 物基, 化基, 生基, 地基から2 並びに 物, 化, 生, 地から1(注6) D 物, 化, 生, 地から2	C又はD	後期	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(注8)
				〔5教科7～8科目〕						
			理科教育コース	国		国	必須	前期	理	物基・物, 化基・化, 生基・生, 地基・地 から1(注9) （試験開始後に選択）
				外		英(リ), 独, 仏, 中, 韓	から1			
				地歴		世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から1			
				公民		現社, 倫, 政経, 倫・政経				
				数		数Ⅰ, 数Ⅰ・数A	から1			
						数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報	から1			
				理		C 物基, 化基, 生基, 地基から2 並びに 物, 化, 生, 地から1(注6) D 物, 化, 生, 地から2	C又はD	後期	その他	小論文
				〔5教科7～8科目〕						
			技術教育コース	国		国	必須	前期	理	物基・物(注9)
				外		英(リ), 独, 仏, 中, 韓	から1			
				地歴		世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から1			
				公民		現社, 倫, 政経, 倫・政経				
				数		数Ⅰ, 数Ⅰ・数A	から1			
						数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報	から1			
				理		C 物基, 化基, 生基, 地基から2 並びに 物, 化, 生, 地から1(注6) D 物, 化, 生, 地から2	C又はD			
				〔5教科7～8科目〕						
			家政教育コース	国		国	必須	前期	その他	小論文
				外		英(リ), 独, 仏, 中, 韓	から1			
				地歴		世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から1又は2			
				公民		現社, 倫, 政経, 倫・政経				
				数		数Ⅰ, 数Ⅰ・数A	から1			
						数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報	から1			
				理	地歴公民から2科目選択した場合	A 物基, 化基, 生基, 地基から2 B 物, 化, 生, 地から1	⇒A又はB			
					地歴公民から1科目選択した場合	C 物基, 化基, 生基, 地基から2 並びに 物, 化, 生, 地から1(注6) D 物, 化, 生, 地から2	⇒C又はD			
				〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕						
			保健体育コース	国		国	必須	前期	その他	実技検査
				外		英(リ), 独, 仏, 中, 韓	から1			
				地歴		世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から1			
				公民		現社, 倫, 政経, 倫・政経				
				数		数Ⅰ, 数Ⅰ・数A	から1			
						数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報				
				理		A 物基, 化基, 生基, 地基から2 B 物, 化, 生, 地から1	A又はB			
				〔5教科5～6科目〕						
			音楽教育コース	国		国	必須	前期	その他	実技検査
				外		英(リ), 独, 仏, 中, 韓	から1			
				地歴		世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から1			
				公民		現社, 倫, 政経, 倫・政経				
				数		数Ⅰ, 数Ⅰ・数A	から1			
						数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報				
				理		A 物基, 化基, 生基, 地基から2 B 物, 化, 生, 地から1	A又はB			
				〔5教科5～6科目〕						

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】及び【個別学力検査等】については，２２頁も参照してください。

学部	課程・学科・専攻等名			大学入試センター試験の利用教科・科目名			日程	個別学力検査等	
				教科	科目名等			教科等	科目名等
教育学部	学校教育教員養成課程	中等教育専攻	美術・書道教育コース	国	国	必須	前期	その他	実技検査 面接
				外	英(リ), 独, 仏, 中, 韓	から1			
				地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から1			
				公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経				
				数	数Ⅰ, 数Ⅰ・数A	から1			
					数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報				
				理	A 物基, 化基, 生基, 地基から2 B 物, 化, 生, 地から1	A又はB			
				〔5教科5～6科目〕					
	養護教諭養成課程			国	国	必須	前期	その他	小論文
				外	英(リ), 独, 仏, 中, 韓	から1			
				地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から1又は2			
				公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経				
				数	数Ⅰ, 数Ⅰ・数A	から1			
					数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報	から1			
				理	地歴公民から2科目選択した場合 A 物基, 化基, 生基, 地基から2 B 物, 化, 生, 地から1	⇒A又はB	後期	その他	面接
					地歴公民から1科目選択した場合 C 物基, 化基, 生基, 地基から2 並びに 物, 化, 生, 地から1(注6) D 物, 化, 生, 地から2	⇒C又はD			
				〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕					
	教育協働学科	教育心理科学専攻		国	国	必須	前期	その他	小論文
				外	英(リ), 独, 仏, 中, 韓	から1			
				地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から1又は2			
				公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経				
				数	数Ⅰ, 数Ⅰ・数A	から1			
					数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報	から1			
				理	地歴公民から2科目選択した場合 A 物基, 化基, 生基, 地基から2 B 物, 化, 生, 地から1	⇒A又はB	後期	その他	小論文
					地歴公民から1科目選択した場合 C 物基, 化基, 生基, 地基から2 並びに 物, 化, 生, 地から1(注6) D 物, 化, 生, 地から2	⇒C又はD			
				〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕					
		健康安全科学専攻		国	国	必須	前期	その他	小論文
				外	英(リ), 独, 仏, 中, 韓	から1			
				地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から1又は2			
				公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経				
				数	数Ⅰ, 数Ⅰ・数A	から1			
					数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報	から1			
				理	地歴公民から2科目選択した場合 A 物基, 化基, 生基, 地基から2 B 物, 化, 生, 地から1	⇒A又はB	後期	その他	面接
					地歴公民から1科目選択した場合 C 物基, 化基, 生基, 地基から2 並びに 物, 化, 生, 地から1(注6) D 物, 化, 生, 地から2	⇒C又はD			
				〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕					
		理数情報専攻	数理情報コース	国	国	必須	前期	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(注8)
				外	英(リ), 独, 仏, 中, 韓	から1		理	物基・物, 化基・化, 生基・生, 地基・地 から1(注9) (試験開始後に選択)
				地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から1			
				公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経				
				数	数Ⅰ, 数Ⅰ・数A	から1			
					数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報	から1			
				理	C 物基, 化基, 生基, 地基から2 並びに 物, 化, 生, 地から1(注6) D 物, 化, 生, 地から2	C又はD 後期Dのみ	後期	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(注8)
				〔5教科7～8科目〕					
			自然科学コース	国	国	必須	前期	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(注8)
				外	英(リ), 独, 仏, 中, 韓	から1		理	物基・物, 化基・化, 生基・生, 地基・地 から1(注9) (試験開始後に選択)
				地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から1			
				公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経				
				数	数Ⅰ, 数Ⅰ・数A	から1			
					数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報	から1			
				理	C 物基, 化基, 生基, 地基から2 並びに 物, 化, 生, 地から1(注6) D 物, 化, 生, 地から2	C又はD 後期Dのみ	後期	その他	面接(実験・観察の内容を含む。)
				〔5教科7～8科目〕					
		グローバル教育専攻	英語コミュニケーションコース	国	国	必須	前期	外	コミュニケーション英語基礎・ コミュニケーション英語Ⅰ・ コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ・ 英語会話 (聴き取り試験を含まない。)
				外	英(リ), 独, 仏, 中, 韓	から1			
				地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から2			
				公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経				
				数	数Ⅰ, 数Ⅰ・数A	から1			
					数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報	から1			
				理	A 物基, 化基, 生基, 地基から2 B 物, 化, 生, 地から1	A又はB			
				〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕					
				※英語能力測定試験の成績により大学入試センター試験と個別学力検査の得点の合計点に得点加算します。(注10)					
			多文化リテラシーコース	国	国	必須	前期	その他	小論文
				外	英(リ), 独, 仏, 中, 韓	から1			
				地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から1			
				公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経				
				数	数Ⅰ, 数Ⅰ・数A				
					数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報				
				理	A 物基, 化基, 生基, 地基から2 B 物, 化, 生, 地から1	A又はB			
				〔3教科3～4科目〕					

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】及び【個別学力検査等】については，２２頁も参照してください。

学部	課程・学科・専攻等名			大学入試センター試験の利用教科・科目名			日程	個別学力検査等	
				教科	科目名等			教科等	科目名等
教育学部	教育協働学科	芸術表現専攻	音楽表現コース	国	国	必須	前期	その他	実技検査
				外	英(リ), 独, 仏, 中, 韓	から1			
				地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から1			
				公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経				
				数	数Ⅰ, 数Ⅰ・数A				
					数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報				
				理	A 物基, 化基, 生基, 地基から2 B 物, 化, 生, 地から1	A又はB			
				〔3教科3～4科目〕			後期	その他	実技検査
			美術表現コース	国	国	必須	前期	その他	実技検査
				外	英(リ), 独, 仏, 中, 韓	から1			
				地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から1			
				公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経				
				数	数Ⅰ, 数Ⅰ・数A				
					数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報				
				理	A 物基, 化基, 生基, 地基から2 B 物, 化, 生, 地から1	A又はB			
				〔3教科3～4科目〕			後期	その他	実技検査
		スポーツ科学専攻		国	国	必須	前期	その他	実技検査
				外	英(リ), 独, 仏, 中, 韓	から1			
				地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から1			
				公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経				
				数	数Ⅰ, 数Ⅰ・数A				
					数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報				
				理	A 物基, 化基, 生基, 地基から2 B 物, 化, 生, 地から1	A又はB			
				〔3教科3～4科目〕			後期	その他	実技検査

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

（注１）教科・科目名は次のように略しています。

国語→国，外国語→外，地理歴史→地歴，数学→数，理科→理

英語（リスニング含む）→英（リ），ドイツ語→独，フランス語→仏，中国語→中，韓国語→韓

世界史Ａ→世Ａ，世界史Ｂ→世Ｂ，日本史Ａ→日Ａ，日本史Ｂ→日Ｂ，現代社会→現社，倫理→倫，政治・経済→政経，倫理、政治・経済→倫・政経

数学Ⅰ→数Ⅰ，数学Ⅰ・数学Ａ→数Ⅰ・数Ａ，数学Ⅱ→数Ⅱ，数学Ⅱ・数学Ｂ→数Ⅱ・数Ｂ，簿記・会計→簿，情報関係基礎→情報

物理基礎→物基，化学基礎→化基，生物基礎→生基，地学基礎→地基，物理→物，化学→化，生物→生，地学→地

（※）地理歴史と公民は独立した教科なので，それぞれ１教科として数えます。センター試験出願の際には注意してください。

（注２）大学入試センター試験において，指定した教科・科目数を超えて受験した場合は，原則として最高得点となる組合せの教科・科目の成績を用います。

ただし，地歴，公民から１科目を課す募集区分において２科目を受験した場合，又は理科（「物理」，「化学」，「生物」，「地学」）から１科目を課す募集区分において２科目を受験した場合は，解答順に，前半６０分で受験した科目を第１解答科目，後半６０分で受験した科目を第２解答科目とし，第１解答科目の成績を用います。

（注３）大学入試センター試験の外国語の「英語」には**リスニングテストを含みます。**（リスニングテスト免除者は除く。）

（注４）「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答することができる者は，高等学校等においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込）者に限ります。

（注５）地理歴史及び公民については，同一名称を含む科目の組合せで２科目を選択することはできません。「同一名称を含む科目の組合せ」とは，「世界史Ａ」と「世界史Ｂ」，「日本史Ａ」と「日本史Ｂ」，「地理Ａ」と「地理Ｂ」，「倫理」と「倫理，政治・経済」及び「政治・経済」と「倫理，政治・経済」の組合せをいいます。

（注６）理科については，「物理基礎」，「化学基礎」，「生物基礎」及び「地学基礎」の４科目から２科目並びに「物理」，「化学」「生物」及び「地学」の４科目から１科目を選択する場合において，同一名称を含む科目の組合せを選択することができません。「同一名称を含む科目の組合せ」とは，「物理基礎」と「物理」，「化学基礎」と「化学」，「生物基礎」と「生物」，「地学基礎」と「地学」の組合せをいいます。

【個別学力検査等】欄

（注７）個別学力検査の英語は**聴き取り試験を行いません。**

（注８）数学の出題範囲は，次のとおりです。

・「数学Ⅰ」，「数学Ⅱ」，「数学Ⅲ」，「数学Ａ」は全範囲から出題します。
・「数学Ｂ」は「数列」，「ベクトル」から出題します。

（注９）理科の出題範囲は，次のとおりです。

・「物理基礎・物理」は物理基礎，物理の全範囲から出題します。
・「化学基礎・化学」は化学基礎，化学の全範囲から出題します。
・「生物基礎・生物」は生物基礎，生物の全範囲から出題します。
・「地学基礎・地学」は地学基礎，地学の全範囲から出題します。

（注 10）英語能力測定試験の詳細については，15 頁（４）を参照してください。

（３）　大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等

一般入試における平成30年度大学入試センター試験及び本学の実施する個別学力検査等の配点は次のとおりです。

学部	課程・学科等		日程等	試験の区分	国語	地歴公民	数学	理科	外国語	小論文	実技	面接	小計	合計
教育学部	初等教育教員養成課程	幼児教育専攻	前期	センター試験	200	※200 ※100	200	※100 ※200	250				950	1250
				個別学力検査								300	300	
			後期	後期日程は募集を行いません。										
		小学校教育専攻 昼間コース	前期	センター試験	200	※200 ※100	200	※100 ※200	250				950	1250
				個別学力検査						300			300	
			後期	センター試験	200	※200 ※100	200	※100 ※200	250				950	1400
				個別学力検査								450	450	
		小学校教育専攻 夜間５年コース	前期	センター試験	200	※200 ※100	200	※100 ※200	250				950	1250
				個別学力検査						300			300	
			後期	センター試験	200	※200 ※100	200	※100 ※200	250				950	1400
				個別学力検査								450	450	
	学校教育教員養成課程	特別支援教育専攻	前期	センター試験	200	200	200	100	250				950	1250
				個別学力検査						300			300	
			後期	センター試験	200	200	200	100	250				950	1300
				個別学力検査						350			350	
		小中教育専攻 学校教育コース	前期	センター試験	200	200	200	100	250				950	1250
				個別学力検査						300			300	
			後期	後期日程は募集を行いません。										
		国語教育コース	前期	センター試験	200	200	200	100	250				950	1350
				個別学力検査						200		200	400	
			後期	センター試験	200	200	200	100	250				950	1550
				個別学力検査								600	600	
		英語教育コース	前期	センター試験	200	※200 ※100	200	※100 ※200	250				950	1350
				個別学力検査					400				400	
			後期	後期日程は募集を行いません。										
		社会科教育コース	前期	センター試験	200	200	200	100	250				950	1250
				個別学力検査						300			300	
			後期	後期日程は募集を行いません。										
		数学教育コース	前期	センター試験	200	100	200	200	250				950	1550
				個別学力検査			400	200					600	
			後期	センター試験	200	100	200	200	250				950	1550
				個別学力検査			600						600	
		理科教育コース	前期	センター試験	200	100	★400	200	250				1150	1750
				個別学力検査				600					600	
			後期	センター試験	200	100	★400	★400	250				1350	1750
				個別学力検査						400			400	

配点に※印を付してある2教科は，一方が 100 の場合は，もう一方は 200 となります。
（選択できる科目数については18～22頁を参照してください。）
配点に＊印を付してある教科は，選択教科を表しています。（選択教科については18～22頁を参照してください。）
配点に★印を付してある教科は，傾斜配点をしている教科を表しています。（傾斜配点については26頁を参照してください。）

学部	課程・学科等			日程等	試験の区分	国語	地歴公民	数学	理科	外国語	小論文	実技	面接	小計	合計
教育学部	学校教育教員養成課程	小中教育専攻	家政教育コース	前期	センター試験	200	※200 ※100	200	※100 ※200	250				950	1250
					個別学力検査						300			300	
				後期	後期日程は募集を行いません。										
			保健体育コース	前期	センター試験	200	100	100	100	250				750	1300
					個別学力検査							550		550	
				後期	センター試験	200	100	100	100	250				750	1150
					個別学力検査							400		400	
			音楽教育コース	前期	センター試験	200	100	100	100	250				750	1300
					個別学力検査							550		550	
				後期	後期日程は募集を行いません。										
			美術・書道教育コース	前期	センター試験	200	100	100	100	250				750	1300
					個別学力検査							350	200	550	
				後期	センター試験	200	100	100	100	250				750	1300
					個別学力検査							550		550	
		中等教育専攻	国語教育コース	前期	センター試験	200	200	200	100	250				950	1350
					個別学力検査						200		200	400	
				後期	後期日程は募集を行いません。										
			英語教育コース	前期	センター試験	200	※200 ※100	200	※100 ※200	250				950	1350
					個別学力検査					400				400	
				後期	後期日程は募集を行いません。										
			社会科教育コース	前期	センター試験	200	200	200	100	250				950	1250
					個別学力検査						300			300	
				後期	後期日程は募集を行いません。										
			数学教育コース	前期	センター試験	200	100	200	200	250				950	1550
					個別学力検査			400	200					600	
				後期	センター試験	200	100	200	200	250				950	1550
					個別学力検査			600						600	
			理科教育コース	前期	センター試験	200	100	★400	200	250				1150	1750
					個別学力検査				600					600	
				後期	センター試験	200	100	★400	★400	250				1350	1750
					個別学力検査						400			400	
			技術教育コース	前期	センター試験	200	100	200	200	250				950	1400
					個別学力検査				450					450	
				後期	後期日程は募集を行いません。										
			家政教育コース	前期	センター試験	200	※200 ※100	200	※100 ※200	250				950	1250
					個別学力検査						300			300	
				後期	後期日程は募集を行いません。										
			保健体育コース	前期	センター試験	200	100	100	100	250				750	1300
					個別学力検査							550		550	
				後期	後期日程は募集を行いません。										

配点に※印を付してある2教科は，一方が 100 の場合は，もう一方は 200 となります。
（選択できる科目数については18～22頁を参照してください。）
配点に＊印を付してある教科は，選択教科を表しています。（選択教科については18～22頁を参照してください。）
配点に★印を付してある教科は，傾斜配点をしている教科を表しています。（傾斜配点については26頁を参照してください。）

学部	課程・学科等			日程等	試験の区分	国語	地歴公民	数学	理科	外国語	小論文	実技	面接	小計	合計
教育学部	学校教育教員養成課程	中等教育専攻	音楽教育コース	前期	センター試験	200	100	100	100	250				750	1300
					個別学力検査							550		550	
				後期	後期日程は募集を行いません。										
			美術・書道教育コース	前期	センター試験	200	100	100	100	250				750	1300
					個別学力検査							350	200	550	
				後期	後期日程は募集を行いません。										
	養護教諭養成課程			前期	センター試験	200	※200 ※100	200	※100 ※200	250				950	1250
					個別学力検査						300			300	
				後期	センター試験	200	※200 ※100	200	※100 ※200	250				950	1250
					個別学力検査								300	300	
	教育協働学科	教育心理科学専攻		前期	センター試験	200	※200 ※100	200	※100 ※200	250				950	1400
					個別学力検査						450			450	
				後期	センター試験	200	※200 ※100	200	※100 ※200	250				950	1600
					個別学力検査						650			650	
		健康安全科学専攻		前期	センター試験	200	※200 ※100	200	※100 ※200	250				950	1350
					個別学力検査						400			400	
				後期	センター試験	200	※200 ※100	200	※100 ※200	250				950	1350
					個別学力検査								400	400	
		理数情報専攻	数理情報コース	前期	センター試験	200	100	200	200	250				950	1550
					個別学力検査			400	200					600	
				後期	センター試験	200	100	200	200	250				950	1550
					個別学力検査			600						600	
			自然科学コース	前期	センター試験	200	100	200	200	250				950	1550
					個別学力検査			200	400					600	
				後期	センター試験	200	100	200	200	250				950	1450
					個別学力検査								500	500	
		グローバル教育専攻	英語コミュニケーションコース	前期	センター試験	200	200	200	100	★500				1200	1800
					個別学力検査					600				600	
				後期	後期日程は募集を行いません。										
			多文化リテラシーコース	前期	センター試験	200	＊100	＊100	＊100	250				550	850
					個別学力検査						300			300	
				後期	後期日程は募集を行いません。										
		芸術表現専攻	音楽表現コース	前期	センター試験	200	＊100	＊100	＊100	250				550	1100
					個別学力検査							550		550	
				後期	センター試験	200	＊100	＊100	＊100	250				550	1050
					個別学力検査							500		500	
			美術表現コース	前期	センター試験	200	＊100	＊100	＊100	250				550	1050
					個別学力検査							500		500	
				後期	センター試験	200	＊100	＊100	＊100	250				550	1100
					個別学力検査							550		550	
		スポーツ科学専攻		前期	センター試験	200	＊100	＊100	＊100	250				550	1100
					個別学力検査							550		550	
				後期	センター試験	200	＊100	＊100	＊100	250				550	1050
					個別学力検査							500		500	

配点に※印を付してある2教科は，一方が 100 の場合は，もう一方は 200 となります。
（選択できる科目数については18～22頁を参照してください。）
配点に＊印を付してある教科は，選択教科を表しています。（選択教科については18～22頁参照してください。）
配点に★印を付してある教科は，傾斜配点をしている教科を表しています。（傾斜配点については26頁を参照してください。）

センター試験の外国語で英語以外（ドイツ語，フランス語，中国語及び韓国語）を受験している場合及びリスニングテストを免除されている場合は，筆記試験２００点満点を２５０点満点に換算した成績を用います。（ただし，英語コミュニケーションコース（前期日程）は５００点満点に換算します。）

その他，２３～２５頁で，センター試験の１つ又は２つの教科に傾斜をかけている専攻・コースと，その教科・係数等は下表のとおりです。

課程・専攻・コース	日程等	教科・科目	素点 (A)	係数 (B)	配点 (A×B)	センター試験 配 点 合 計
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 中等教育専攻 理科教育コース	前期	数学	２００	2	４００	１１５０
	後期	数学 理科	２００ ２００	2 2	４００ ４００	１３５０
グローバル教育専攻 英語コミュニケーションコース	前期	外国語	２５０	2	５００	１２００

（4）小　論　文

教員養成課程

課程・専攻等		内　　容	採点・評価基準
前期日程	初等教育教員養成課程 小学校教育専攻 昼間コース	提示された資料に基づいて，理解力・思考力・発想力・論理的構成力をみるために，小論文形式で筆答させる。	提示された資料に対する理解力や思考力・発想力・論理的構成力を総合的に評価するが，文章表現力についても採点・評価の対象とする。
	初等教育教員養成課程 小学校教育専攻 夜間５年コース	提示された資料に基づいて，理解力・思考力・発想力・論理的構成力をみるために，小論文形式で筆答させる。	提示された資料に対する理解力や思考力・発想力・論理的構成力を総合的に評価するが，文章表現力についても採点・評価の対象とする。
	学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻	文章表現をとおして，思考力・表現力をみるために，小論文形式で筆答させる。	思考力・表現力を総合的に評価するが，課題の理解力や論理の構成力，漢字の表記能力についても採点・評価の対象とする。
	学校教育教員養成課程 小中教育専攻 学校教育コース	提示された課題に関する論述をとおして，思考力・洞察力・表現力をみるために，小論文形式で筆答させる。	思考力・洞察力・表現力を総合的に評価するが，課題の理解度や分析力，論理の構成力についても採点・評価の対象とする。
	学校教育教員養成課程 小中教育専攻 中等教育専攻 国語教育コース	国語（現代文・古文・漢文・国語表現）に関する理解力・表現力を測るために，小論文形式で筆答させる。	目的・状況に応じて活用できる言語能力を測るため，国語（現代文・古文・漢文・国語表現）に関して，理解力，分析的思考力，判断力，コミュニケーション力，文章構成力，表現力を，採点・評価の対象とする。
	学校教育教員養成課程 小中教育専攻 中等教育専攻 社会科教育コース	総合的な理解力・思考力・表現力をみるために，人文・社会に関わる広範な視野に立つ複数の課題を提示し，小論文形式で筆答させる。	理解力・思考力・表現力を総合的に評価することに加え，課題把握の的確さや分析力，論理の構成力，社会的事象に対する関心の在り方及び論述の独自性を採点・評価の対象とする。
	学校教育教員養成課程 小中教育専攻 中等教育専攻 家政教育コース	総合的な理解力・思考力・表現力をみるために，生活に関する広範な視野に立つ複数の課題を与え，小論文形式で筆答させる。	理解力・思考力・表現力を総合的に評価するが，課題把握の的確さや論理の構成力，分析力についても採点・評価の対象とする。
	養護教諭養成課程	複数の課題を与え，理解力・思考力・表現力をみるために，小論文形式で筆答させる。	出題した問題に対する読解力，考察力をみるとともに文章の表現力，的確性，論理構成力についても採点・評価の対象とする。
後期日程	学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻	文章表現をとおして，特別支援教育に関する理解力をみるために，小論文形式で筆答させる。	理解力を中心に評価するが，論理の構成力や表現力，漢字の表記能力についても採点・評価の対象とする。
	学校教育教員養成課程 小中教育専攻 中等教育専攻 理科教育コース	自然に関わる様々な事物や現象について，科学的な思考力・論理力・表現力及び読解力をみるために，小論文形式で筆答させる。	自然に関わる様々な事物や現象に関し，科学的理解力・思考力・判断力及び表現力を総合的に評価する。

教育協働学科

専攻・コース		内容	採点・評価基準
前期日程	教育心理科学専攻	人間生活に関連する資料や論文を読解し，要点を的確に把握し，設問に応じて思考を論理的に表現する力を総合的にみるために，小論文形式で筆答させる。	人間生活に関する資料や論文を読解し，簡潔にまとめた上で自分自身の考え方を論理的に述べるという読解力，思考力，及び，論理的な表現力を総合的に判断して採点・評価する。
	健康安全科学専攻	安全，健康，生活に関する資料を用いてその理解と認識をみるために，小論文形式で筆答させる。	思考力・表現力を総合的に評価するが，課題の理解度や分析力，論理の構成力や漢字の表記能力についても採点・評価の対象とする。
	グローバル教育専攻 多文化リテラシーコース	日本やアジア，ヨーロッパの言語文化，社会・芸術文化，教育文化に関する知識や理解力，表現力をみるために，小論文形式で筆答させる。	日本やアジア，ヨーロッパの言語文化，社会・芸術文化，教育文化に関する知識や理解力に加え，課題分析力，論理的思考力，文章力を採点・評価の基準とする。
後期日程	教育心理科学専攻	人間生活に関連する資料や論文を手がかりにして，設問で出される課題に即して論点を整理して，論述する力をみるために，小論文形式で筆答させる。	人間生活に関する資料や論文に即して，読解力，論理的な思考力，文章表現力を総合的に判断して採点・評価する。

（5）面　　接（口述試験を含む。）

教員養成課程

課程・専攻等		内　　容	採点・評価基準
前期日程	初等教育教員養成課程 幼児教育専攻	幼児教育に関する理解・関心度・意欲について発問する。実技的な内容や協調性をみる内容を含む場合がある。	幼児教育に関する理解・関心度・意欲を総合的に評価する。表現力や協調性について評価する場合がある。
	学校教育教員養成課程 小中教育専攻 中等教育専攻 国語教育コース	国語（現代文・古文・漢文・国語表現）に関する理解力，思考力ならびに音声コミュニケーション力をみるために面接形式で行う。	思考力，表現力，判断力，国語教育及び教職に対する適性を評価の対象とする。
	学校教育教員養成課程 小中教育専攻 中等教育専攻 美術・書道教育コース	〈美術実技の選択者〉 美術教育に関する理解と関心度をみるために面接形式で行う。 〈書道実技の選択者〉 書写・書道教育に関する理解と認識及び思考力・表現力・判断力をみる。	〈美術実技の選択者〉 美術・美術教育をとおして，これからの教育課題に向き合える力を持ち合わせているか，個人の活動はもとより，他者との協調性，美術・美術教育及び教職に対する意欲等を総合的に判断し採点・評価する。 〈書道実技の選択者〉 面接をとおして，思考力・表現力・判断力をみるとともに，書写・書道教育及び教職への熱意・適性について総合的に採点・評価する。
後期日程	初等教育教員養成課程 小学校教育専攻 昼間コース	学校教育に関する理解と認識及び思考力・表現力をみる。	面接をとおして，論理性・表現力・応用能力をみるとともに，学校教育・教職への熱意・適性について総合的に採点・評価する。
	初等教育教員養成課程 小学校教育専攻 夜間５年コース	学校教育に関する理解と認識及び思考力・表現力をみる。	面接をとおして，論理性・表現力・応用能力をみるとともに，学校教育・教職への熱意・適性について総合的に採点・評価する。
	学校教育教員養成課程 小中教育専攻 国語教育コース	国語（現代文・古文・漢文・国語表現）及び国語教育に関する理解と認識及び思考力，表現力，判断力をみる。	面接をとおして，質問に対する理解力，思考力，応答の適確さ，応用力をみるとともに，国語教育及び教職に対する適性について総合的に評価する。
	養護教諭養成課程	健康問題に関する理解と応用的能力をみる。	質問に対する理解力，思考力をみるとともに，応答における考えの的確さ，表現の簡潔さ，論理性，応用能力についても採点・評価の対象とする。

教育協働学科

専攻・コース		内　　容	採点・評価基準
後期日程	健康安全科学専攻	安全，健康，生活に関する理解と関心度をみる。	課題の理解度，意欲・表現力を総合的に評価する。
	理数情報専攻 自然科学コース	自然科学に関連する教科に関する理解と認識をみる。 実験・観察の内容を含む。	面接（簡単な実験・観察の内容を含む）をとおして自然科学に関する知識，理解力及び自然に対する探究心を総合的に評価する。

（6）実　技　検　査

（6）－1　実技検査の実施内容及び留意事項

教員養成課程

【前期日程】

課　程　・　専　攻　等	実　施　内　容　及　び　留　意　事　項
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 中等教育専攻 保健体育コース	次のⅠ，Ⅱの検査を実施する。 Ⅰ．専門実技検査：種目別運動技能に関するテスト 下記 1)～16)の中から１種目を出願時に選択すること。出願後の変更は認めない。 1）陸上競技 下記の種目の中から１種目を選択し，試合形式で記録測定を行う。 男子：100m，200m，400m，800m，1500m，110mH，400mH，3000mW，走高跳，棒高跳，走幅跳，三段跳，砲丸投，円盤投，ハンマー投，やり投 女子：100m，200m，400m，800m，1500m，100mH，400mH，3000mW，走高跳，棒高跳，走幅跳，三段跳，砲丸投，円盤投，ハンマー投，やり投 2）バスケットボール 1. 各種シュート（ランニングシュート，ジャンプシュート） 2. ２対１または３対２ 3. 速攻 4. ゲーム 3）サッカー フィールドプレーヤーまたはゴールキーパーを選択して検査を行う。 ＜フィールドプレーヤー＞ 1. 短距離走 2. 各種シュート 3. ゲーム（８対８） ＜ゴールキーパー＞ 1. ゴールキーピング（フィールドプレーヤーの2. 3. のテストでゴールマウスに入って行う。） 2. キャッチング，ポジショニング，セービング，キックの各技能 4）ラグビーフットボール 1. グリッド（ムーブ・ザ・ボール） 2. ヒット（コンタクト） 3. タックル 4. タッチフット 5）バレーボール 1. 最高到達点 2. 対人パス（オーバーハンドパス，アンダーハンドパス） 3. 対人レシーブ 4. スパイクまたはトスまたはサーブレシーブ（選択） 5. ゲーム 6）ハンドボール コートプレーヤーまたはゴールキーパーを選択して検査を行う。 ＜コートプレーヤー＞ 1. シュート 2. １対１の攻撃 3. ゲーム（３対３） 4. 遠投

（教員養成課程・前期日程　次頁へ続く）

（教員養成課程・前期日程　前頁から続く）

学校教育教員養成課程 小中教育専攻 中等教育専攻 保健体育コース	＜ゴールキーパー＞ 1. シュートセーブ 2. ゲーム（３対３） 3. 遠投 7）卓球 ゲーム（シングルス） 8）硬式テニス ゲーム（シングルス） 9）ソフトテニス ゲーム（ダブルス） 10）硬式野球 1. バッティング 2. 2-1.野手 または 2-2.投手 を選択して検査を行う。 2-1. 野手（各自のポジションでの守備） 2-2. 投手（ピッチング） 11）バドミントン ゲーム（シングルス） 12）体操競技 男子：ゆか，あん馬，鉄棒の各種目で，指定された基本的な技の実施。 女子：ゆか，平均台，段違い平行棒の各種目で，指定された基本的な技の実施。 13）ダンス 1. 基礎的身体運動：示範の動き（伴奏付き）を練習後に実施。 2. 短いフレーズの創作（現代的なリズム）：現代的なリズムにふさわしい動きを組み込んだ短いフレーズの創作。 3. 課題による創作：課題（伴奏付き）を与え，課題からイメージしたものをダンス作品として創作。 14）柔　道 1. 受身 2. 立技 3. 寝技 4. 乱取 15）剣　道 1. 切り返し 2. 応じ技 3. 地稽古 16）水泳競技（競泳） 下記の種目の中から１種目を選択し，試合形式で記録測定を行う。 50m自由形，100m自由形，200m自由形，400m自由形，100m背泳ぎ，200m背泳ぎ，100m平泳ぎ，200m平泳ぎ，100mバタフライ，200mバタフライ，200m個人メドレー，400m個人メドレー Ⅱ．選択実技検査：種目別運動技能に関するテスト 専門実技検査で選んだ種目以外を下記1)～16)の中から出願時に１種目選択すること。出願後の変更は認めない。ただし，専門実技検査で2)～11)を選択した者は，選択実技検査1)及び12)～16)の中から１種目を選択すること。また，専門実技検査で12)体操競技を選択した者は，選択実技検査 12)器械運動は選択できない。 1）陸上競技 以下の1.2.3.すべての種目について試技を行い，記録を測定する。

（教員養成課程・前期日程　次頁へ続く）

（教員養成課程・前期日程　前頁から続く）

学校教育教員養成課程 小中教育専攻 中等教育専攻 保健体育コース	1. 50mハードル走 2. 走り幅跳び 3. やり投（ジャベリック） （注）1.2.についてはオールウェザートラックで試技を行うため，スパイク着用の場合はオールウェザー専用ピンを用意すること。 2）バスケットボール 1. 各種シュート（ランニングシュート，ジャンプシュート） 2. ドリブル 3. ゲーム 3）サッカー 1. ボールコントロール（キックを含む） 2. 各種シュート 3. ゲーム（５対５以下の人数で行う） 4）ラグビーフットボール 1. グリッド（ムーブ・ザ・ボール） 2. ヒット（コンタクト） 3. タッチフット 5）バレーボール 1. パス（オーバーハンドパス，アンダーハンドパス） 2. 対人レシーブ 3. スパイク 4. サーブ 6）ハンドボール コートプレーヤーまたはゴールキーパーを選択して検査を行う。 ＜コートプレーヤー＞ 1. シュート 2. １対１の攻撃 3. ハーフコートでゲーム（３対３） 4. 遠投 ＜ゴールキーパー＞ 1. シュートセーブ 2. ハーフコートでゲーム（３対３） 3. 遠投 7）卓球 1. サーブ 2. クロスコートラリー 8）硬式テニス 1. サーブ 2. クロスコートラリー 3. ボレー・スマッシュ（球出し） 9）ソフトテニス 1. サーブ 2. クロスコートラリー 3. ボレー・スマッシュ（球出し） 10）ソフトボール 1. キャッチボール 2. 遠投 3. バッティングまたはピッチング（選択）

（教員養成課程・前期日程　次頁へ続く）

（教員養成課程・前期日程　前頁から続く）

学校教育教員養成課程 小中教育専攻 中等教育専攻 保健体育コース	11）バドミントン 1. サーブ 2. 基礎打ち 12）器械運動 マット運動について，当日指定された技を実施する。 13）ダンス 1. 基礎的身体運動：示範の動き（伴奏付き）を練習後に実施。 2. 短いフレーズの創作（現代的なリズム）：現代的なリズムにふさわしい動きを組み込んだ短いフレーズの創作。 14）柔　道 1. 受身 2. 立技 3. 寝技 15）剣　道 1. 素振り 2. 切り返し 3. 打ち込み （注）小手胴垂のみ着装：剣道具は持参もしくは貸出し可能 16）水泳競技（競泳） 100m個人メドレーの記録測定を試合形式で行う。
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 音楽教育コース	次のⅠ～Ⅲの検査を実施する。 Ⅰ．歌　曲 下記の２曲から任意の１曲を歌う。 1）浜辺の歌　成田為三　(As,F-Dur) 2）Caro mio ben　G.Giordani　(F,Es,D,C-Dur) （注）1. 歌詞は，原語により暗譜で歌うこと。 2. 上記以外の調で歌う場合は，移調した伴奏用楽譜（正確，明瞭に記譜し，歌唱旋律及び歌詞を記入したもの）に志願者氏名を明記し，願書とともに提出すること。（ただし，浜辺の歌については２番までとする。） 3. 伴奏者は本学で配置する。 Ⅱ．ピアノ 次の1),2)からそれぞれ１曲ずつ，計２曲を演奏する。 1)古典派のソナタから任意の一つの楽章 2)ロマン派又は近現代の曲（ただし出版されている作品であること。邦人作品を含む。） （注）1. 演奏は暗譜で行い，原則として繰り返しは省略すること。なお演奏の途中で中止させる場合がある。 2. **選んだ２曲の作曲者名と曲名及び志願者氏名を別紙様式に明記し，願書とともに提出すること。** Ⅲ．楽　典　（解答時間　６０分） 高等学校の教科書 音楽Ⅰ 程度の内容

（教員養成課程・前期日程　次頁へ続く）

<table>
<tr>
<td>学校教育教員養成課程
中等教育専攻
音楽教育コース</td>
<td>
次のⅠ～Ⅳの検査を実施する。
なお，「Ⅱ．ピアノ」と「Ⅲ．管楽器」については，いずれかを選択すること。

Ⅰ．歌　曲
下記の２曲から任意の１曲を歌う。
1）Caro laccio　　F.Gasparini　　(Des,Es-Dur)
2）Sogno　　F.P.Tosti　　(As,B-Dur)
（注）1．歌詞は，原語により暗譜で歌うこと。
2．上記以外の調で歌う場合は，移調した伴奏用楽譜（正確，明瞭に記譜し，歌唱旋律及び歌詞を記入したもの）に志願者氏名を明記し，願書とともに提出すること。
3．伴奏者は本学で配置する。

Ⅱ．ピアノ（選択）
次の1)と2)の計２曲を演奏する。
1）L.v.Beethoven ： ソナタ 第11番 B-Dur Op.22 第１楽章
2）F.Chopin ： ワルツ集より任意の１曲
（注）演奏は暗譜で行い，原則として繰り返しは省略すること。なお演奏の途中で中止させる場合がある。

Ⅲ．管楽器（選択）
次の楽器から１つ選択し，任意の楽曲又は練習曲を１曲演奏する。ただし，演奏は暗譜で行い無伴奏とする。なお，演奏の途中で中止させる場合がある。
フルート，オーボエ，クラリネット，ファゴット，トランペット，ホルン，トロンボーン，テューバ
（注）<u>選んだ楽器名，選んだ曲の作曲者名と曲名及び志願者氏名を別紙様式に明記し，願書とともに提出すること。</u>

Ⅳ．楽　典　　（解答時間　６０分）
高等学校の教科書 音楽Ⅰ 程度の内容
</td>
</tr>
<tr>
<td>学校教育教員養成課程
小中教育専攻
中等教育専攻
美術・書道教育
コース</td>
<td>
〈美術実技の選択者〉

鉛筆による静物デッサン
（注）鉛筆，消しゴムは各自持参すること。
（カルトン，画用紙は本学で準備する。）

〈書道実技の選択者〉
次の検査を実施する。
１）臨書（半紙）
①楷書「九成宮醴泉銘」　②行書「集字聖教序」　③草書「書譜」
④仮名「高野切第三種」
２）筆記テスト（書道Ⅰ，書道Ⅱで扱う専門的知識を問う。）
（注）１　硯，墨，筆（大・小），水差し，無地の下敷き，文鎮，筆記用具及び新聞紙は各自持参すること。
２　半紙は本学で準備する。

［注］【小中教育専攻】
実技検査の種別ごとに，前期日程では，美術実技を選択した者から８人程度，書道実技を選択した者から２人程度を合格者数の目安とする。

【中等教育専攻】
実技検査の種別ごとに，前期日程では，美術実技を選択した者から４人程度，書道実技を選択した者から３人程度を合格者数の目安とする。
</td>
</tr>
</table>

【後期日程】

課程・専攻等	実施内容及び留意事項
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 保健体育コース	次の検査を実施する。 専門実技検査：種目別運動技能に関するテスト 下記 1)～16)の中から１種目を出願時に選択すること。出願後の変更は認めない。 1）陸上競技 下記の種目の中から１種目を選択し，試合形式で記録測定を行う。 男子：100m，200m，400m，800m，1500m，110mH，400mH，3000mW，走高跳，棒高跳，走幅跳，三段跳，砲丸投，円盤投，ハンマー投，やり投 女子：100m，200m，400m，800m，1500m，100mH，400mH，3000mW，走高跳，棒高跳，走幅跳，三段跳，砲丸投，円盤投，ハンマー投，やり投 2）バスケットボール 1. 各種シュート（ランニングシュート，ジャンプシュート） 2. ２対１または３対２ 3. 速攻 4. ゲーム 3）サッカー フィールドプレーヤーまたはゴールキーパーを選択して検査を行う。 ＜フィールドプレーヤー＞ 1. 短距離走 2. 各種シュート 3. ゲーム（８対８） ＜ゴールキーパー＞ 1. ゴールキーピング（フィールドプレーヤーの2.3.のテストでゴールマウスに入って行う。） 2. キャッチング，ポジショニング，セービング，キックの各技能 4）ラグビーフットボール 1. グリッド（ムーブ・ザ・ボール） 2. ヒット（コンタクト） 3. タックル 4. タッチフット 5）バレーボール 1. 最高到達点 2. 対人パス（オーバーハンドパス，アンダーハンドパス） 3. 対人レシーブ 4. スパイクまたはトスまたはサーブレシーブ（選択） 5. ゲーム 6）ハンドボール コートプレーヤーまたはゴールキーパーを選択して検査を行う。 ＜コートプレーヤー＞ 1. シュート 2. １対１の攻撃 3. ゲーム（３対３） 4. 遠投 ＜ゴールキーパー＞ 1. シュートセーブ 2. ゲーム（３対３） 3. 遠投 7）卓球 ゲーム（シングルス）

（教員養成課程・後期日程　次頁へ続く）

（教員養成課程・後期日程　前頁から続く）

学校教育教員養成課程 小中教育専攻 保健体育コース	8）硬式テニス ゲーム（シングルス） 9）ソフトテニス ゲーム（ダブルス） 10）硬式野球 1. バッティング 2. 2-1.野手 または 2-2.投手 を選択して検査を行う。 2-1. 野手（各自のポジションでの守備） 2-2. 投手（ピッチング） 11）バドミントン ゲーム（シングルス） 12）体操競技 男子：ゆか，あん馬，鉄棒の各種目で，指定された基本的な技の実施。 女子：ゆか，平均台，段違い平行棒の各種目で，指定された基本的な技の実施。 13）ダンス 1. 基礎的身体運動：示範の動き（伴奏付き）を練習後に実施。 2. 短いフレーズの創作（現代的なリズム）：現代的なリズムにふさわしい動きを組み込んだ短いフレーズの創作。 3. 課題による創作：課題（伴奏付き）を与え，課題からイメージしたものをダンス作品として創作。 14）柔　道 1. 受身 2. 立技 3. 寝技 4. 乱取 15）剣　道 1. 切り返し 2. 応じ技 3. 地稽古 16）水泳競技（競泳） 下記の種目の中から１種目を選択し，試合形式で記録測定を行う。 50m自由形，100m自由形，200m自由形，400m自由形，100m背泳ぎ，200m背泳ぎ，100m平泳ぎ，200m平泳ぎ，100mバタフライ，200mバタフライ，200m個人メドレー，400m個人メドレー

（教員養成課程・後期日程　次頁へ続く）

学校教育教員養成課程 小中教育専攻 美術・書道教育 コース	**〈美術実技の選択者〉** 次の検査を実施する。 実物又は図版などで，美術作品や児童生徒作品などを鑑賞し，そこから感じたこと・読み取ったことなどを記述する。 （注）筆記用具は持参すること。作品又は作品図版，その他解答に必要なものは本学で用意する。 **〈書道実技の選択者〉** 次の検査を実施する。 １）臨書（半紙） ①楷書「九成宮醴泉銘」　②行書「集字聖教序」　③草書「書譜」 ④仮名「高野切第三種」 ２）筆記テスト（書道Ⅰ，書道Ⅱで扱う専門的知識を問う。） （注）１　硯，墨，筆（大・小），水差し，無地の下敷き，文鎮，筆記用具及び新聞紙は各自持参すること。 ２　半紙は本学で準備する。 ［注］実技検査の種別ごとに，後期日程では，美術実技を選択した者から３人程度，書道実技を選択した者から２人程度を合格者数の目安とする。

【前期日程】

専攻・コース	実施内容及び留意事項

芸術表現専攻
音楽表現コース

志望専門別検査科目表

検査科目＼志望専門	作曲	声楽	器楽		
			ピアノ	弦楽器	管・打楽器
作曲	A				
声楽		B			
ピアノ			C		
弦楽器				D	
管・打楽器					E
聴音	F	F	F	F	F
ピアノ	G	G	(G)	G	G
楽典	H	H	H	H	H

【専　門】 志望専門別に受験すること。

A　作　曲

ア　与えられたバス及びソプラノに和声を付け四声体にする。（制作時間２時間）

イ　与えられたテーマ又はモティーフに基づいて，ピアノ曲を作る。（制作時間２時間）

（注）ア，イともに試験中の楽器の使用は認めない。

B　声　楽

ア　課題曲

次の10曲から任意の２曲を選び，その中から当日指定された１曲を暗譜で歌う。

1) Star vicino	S.Rosa
2) Sento nel core	A.Scarlatti
3) Son tutta duolo	A.Scarlatti
4) Caro laccio	F.Gasparini
5) Lasciar d'amarti	F.Gasparini
6) Sebben, crudele	A.Caldara
7) Se tu m'ami	G.B.Pergolesi
8) An die Musik	F.P.Schubert
9) Die Lotosblume	R.A.Schumann
10) Wiegenlied	J.Brahms

イ　自由曲

課題曲1)～10）以外で，４分以内に演奏できる任意の１曲を暗譜で歌う。

（注）１　歌詞は原語で歌うこと。

２　オペラ及びオラトリオ等のアリアは原調で歌うこと。

３　曲の途中で演奏を中止させる場合がある。

４　**課題曲・自由曲ともに伴奏用楽譜（歌唱旋律及び歌詞が記入されたもの）を提出すること。**ただし，１ページの大きさはＢ５判（縦257㎜×横182㎜）とし，志願者氏名を明記の上，願書と共に提出すること。提出後の作品及び調性等の変更は認めない。

５　伴奏者は本学で配置する。

（教育協働学科・前期日程　次頁へ続く）

芸術表現専攻
音楽表現コース

C　ピアノ

ア，イの順に暗譜で演奏し，繰り返しは省略すること。使用する楽譜の版は指定をしない。

ア　次の３曲より任意の１曲

J.S.Bach : Das Wohltemperierte Klavier
Teil Ⅰ Nr.6 d-moll PraeludiumとFuga
Teil Ⅰ Nr.13 Fis-dur PraeludiumとFuga
Teil Ⅱ Nr.15 G-dur PraeludiumとFuga

イ　次の３曲より任意の１曲

L.v.Beethoven : Sonate 第11番 B-dur Op.22 第１楽章
第26番 Es-dur Op.81a 第１楽章
第27番 e-moll Op.90 第１楽章

D　弦楽器

楽器別により，それぞれ指定（ア，イ，ウ）されたものを暗譜で演奏する。ただし，無伴奏とする。また，楽譜について指定のあるものは，その版を用いること。

a　ヴァイオリン

ア　Carl Flesch : Scale System より C-dur
No.5の冒頭の12小節（テンポは ♩=100～120）
No.6,7,8の冒頭の４小節
（テンポは ♩=40～50）

イ　Rode : 24 CAPRICEN の中から任意の１曲

ウ　自由曲　１曲(Rode : 24 CAPRICEN を除く)

b　ヴィオラ

ア　Carl Flesch : Scale System より C-dur
No.5の冒頭の12小節（テンポは ♩=100～120）
（注）ヴィオラ用に編曲された楽譜を使用すること。

イ　自由曲　１曲

c　チェロ

ア　J.Loeb : Gammes et arpégés pour violoncelle（Billaudot版）により，
３オクターブの音階と分散和音（C,D,Es,E-dur の中から当日指定）
音階は，テンポ ♩=60以上
スラーは の形で演奏する。
分散和音は，テンポ，フィンガリングともに自由
スラーは の形で演奏する。

イ　自由曲　１曲

d　コントラバス

ア　シャープ又はフラットが３個までの調号をもつ長調又は短調のうちから，２オクターブの音階（調は当日指定。短調は和声的短音階と旋律的短音階の両方を演奏する。テンポ，フィンガリング，スラーは自由）

イ　F.Simandl : 30 Etudes より No.17

ウ　下記の中から任意の１曲

Capuzzi : Concerto D-dur 第１楽章（カデンツァは省略）
Dittersdorf : Concerto E-dur 第１楽章（カデンツァは省略）

（注）楽器貸出し可能

（教育協働学科・前期日程　次頁へ続く）

芸術表現専攻
音楽表現コース

E　管・打楽器

楽器別により，それぞれ指定（ア，イ，ウ）されたものを演奏する。ただし，無伴奏とし，楽譜は見てもよい。また，楽譜について指定のあるものは，その版を用いること。

a　フルート

ア　長調の音階，半音階及び主和音の分散和音（調及びアーティキュレーションは当日指定）

イ　A.B.Furstenau ： BOUQET DES TONS Op.125（Leduc版）より No.5
K.J.Andersen ： 24 studies Op.21（Schirmer版）より No.4,10
以上の３曲の中から当日指定

ウ　W.A.Mozart ： Flute Concerto No.1 G-dur K.313, No.2 D-dur K.314の中から任意の１曲の第１楽章（カデンツァは省略）

b　オーボエ

ア　フルートのアに同じ。

イ　J.H.Luft ： 24 Etüden より No.4,15 の中から当日指定

ウ　J.Haydn ： Oboe Konzert C-dur（Breitkopf版）第１楽章

c　クラリネット

ア　フルートのアに同じ。

イ　C.Rose ： 32 Etudes（Leduc版）より 任意の１曲

ウ　C.M.Weber ： Concertino Es-dur Op.26

d　ファゴット

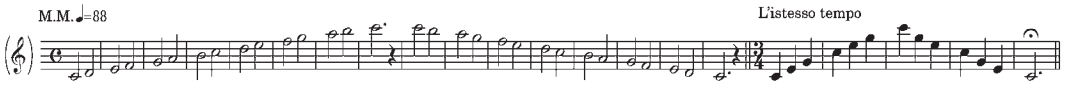
ア　フルートのアに同じ。

イ　J.Weissenborn ： Fagott Studien Op.8 Heft Ⅱ より No.2,3,10 の中から当日指定

ウ　G.P.Telemann ： SONATA in f for Bassoon & Continuo より 第１楽章，第２楽章

e　トランペット

ア　次の譜例により，長調の音階２オクターブ及び分散和音(調は当日指定)



イ　C.Kopprasch ： Sixty Selected Studies for Trumpet
No.1～34の中から当日指定

ウ　下記１），２），３）のいずれか１曲を選択。

１）G.ALARY ： MORCEAU DE CONCOURS（ALPHONSE LEDUC版）

２）P.GAUBERT ： CANTABILE ET SCHERZETTO（ALPHONSE LEDUC版）

３）G.HÜE ： 1er SOLO DE CORNET A PISTONS（ALPHONSE LEDUC版）

f　ホルン

ア　トランペットのアに同じ。

イ　C.Kopprasch ： Sixty Selected Studies for French Horn
No.8,12,13,15,16,19,20,21,22,23 の中から当日指定

ウ　W.A.Mozart ： Horn Concerto No.3 Es-dur K.447 第１楽章（カデンツァは省略）

g　トロンボーン

ア　トランペットのアに同じ。

イ　C.Kopprasch ： Sixty Selected Studies for Trombone
No.7,11,12,13,14,15,19,21,25,27 の中から当日指定

ウ　J.E.Galliard ： Six Sonatas No.1（International版）

（教育協働学科・前期日程　次頁へ続く）

芸術表現専攻 音楽表現コース	h　バス・トロンボーン ア　トランペットのアに同じ。 イ　C.Kopprasch ： Sixty Selected Studies for Trombone No.3,5,7,8,11,12,18,19,20,21 の中から当日指定 （ただし，No.7,8,12は１オクターブ下で演奏すること） ウ　E.Sachse ： Konzert F-dur für Posaune und Klavier（Zimmermann版） i　テューバ ア　トランペットのアに同じ。 イ　C.Kopprasch ： Sixty Selected Studies for BB flat TUBA （ROBERT KING MUSIC版）よりNo.7,11,12,13,14,15,19,21,25,27 の中から当日指定 ウ　J.S.Bach-W.Bell 編曲 ： Air and Bourrée（Carl Fischer版） j　打楽器 ア　小太鼓の基本奏法 １つ打ち，２つ打ち，５つ打ち （緩→急→緩　等，当日指定），ロール（＜，＞，＜　＞等，当日指定） イ　Anthony J.Cirone ： Portraits in Rhythm 50 Studies for Snare Drum より No.3,13の中から当日指定 ウ　Morris Goldenberg ： Modern School for Xylophone Marimba Vibraphone （Alfred版）より Bach's Violin Concerto in A minor Adapted for Xylophone by M.Goldenberg Allegro moderato（94～96頁） （注）ウについては，マリンバで演奏すること。 マリンバ（５オクターブ半），小太鼓，スタンド，バチ置きは貸出し可能 **【音楽に関する基礎能力の検査】**　下記については全員受験すること。 F　聴　　音 a　旋律聴音　　8小節程度の単旋律を書き取る。 b　和声聴音　　8小節程度の密集四声体による和声を書き取る。 （調の範囲は，ａ・ｂいずれもシャープ又はフラットが二つまで） G　ピ ア ノ 作曲，声楽，弦楽器及び管・打楽器を専門とする者は，下記の曲を演奏する。 J.Haydn，W.A.Mozart，L.v.Beethoven：Sonatenより任意の一つの速い楽章。 ただし，ピアノを専門とする者は，Ｃのアをもってこれに代える。 （注）暗譜で演奏し，繰り返しは省略すること。 H　楽　　典　　（解答時間５０分）
	※　試験当日は自動車（単車等を含む。）での入構及び保護者等の入構を基本的に禁止します（56頁参照）が，教育協働学科芸術表現専攻音楽表現コースの志望者で，コントラバスを持参する者については，自動車での入構を認めることがあります。 自動車での入構を希望する者は平成３０年２月１日（木）までに入試課へ申し出てください。ただし，自動車での入構は駐車場までとし，その先への保護者等の付き添いは認めません。また，この期間内に申し出のなかった者には，自動車での入構を認めません。（連絡先　Fax：072-978-3327　電子メール：nyushika@bur.osaka-kyoiku.ac.jp）
芸術表現専攻 美術表現コース	次の検査を実施する。 鉛筆による卓上モチーフの描写 （注）鉛筆，消しゴム（ねり消しゴムを含む。），羽根ボウキを各自持参すること。 それ以外の道具は使用不可とする。 ※　カルトン，カルトン用クリップ，画用紙，鉛筆削り用具は本学で準備する。 ※　鉛筆の硬度は問わない。

（教育協働学科・前期日程　次頁へ続く）

（教育協働学科・前期日程　前頁から続く）

スポーツ科学専攻	次の検査を実施する。 専門実技検査：種目別運動技能に関するテスト 下記 1)～16)の中から１種目を出願時に選択すること。出願後の変更は認めない。 1）陸上競技 下記の種目の中から１種目を選択し，試合形式で記録測定を行う。 男子：100m，200m，400m，800m，1500m，110mH，400mH，3000mW，走高跳，棒高跳，走幅跳，三段跳，砲丸投，円盤投，ハンマー投，やり投 女子：100m，200m，400m，800m，1500m，100mH，400mH，3000mW，走高跳，棒高跳，走幅跳，三段跳，砲丸投，円盤投，ハンマー投，やり投 2）バスケットボール 1. 各種シュート（ランニングシュート，ジャンプシュート） 2. ２対１または３対２ 3. 速攻 4. ゲーム 3）サッカー フィールドプレーヤーまたはゴールキーパーを選択して検査を行う。 ＜フィールドプレーヤー＞ 1. 短距離走 2. 各種シュート 3. ゲーム（８対８） ＜ゴールキーパー＞ 1. ゴールキーピング（フィールドプレーヤーの2. 3. のテストでゴールマウスに入って行う。） 2. キャッチング，ポジショニング，セービング，キックの各技能 4）ラグビーフットボール 1. グリッド（ムーブ・ザ・ボール） 2. ヒット（コンタクト） 3. タックル 4. タッチフット 5）バレーボール 1. 最高到達点 2. 対人パス（オーバーハンドパス，アンダーハンドパス） 3. 対人レシーブ 4. スパイクまたはトスまたはサーブレシーブ（選択） 5. ゲーム 6）ハンドボール コートプレーヤーまたはゴールキーパーを選択して検査を行う。 ＜コートプレーヤー＞ 1. シュート 2. １対１の攻撃 3. ゲーム（３対３） 4. 遠投 ＜ゴールキーパー＞ 1. シュートセーブ 2. ゲーム（３対３） 3. 遠投 7）卓球 ゲーム（シングルス）

（教育協働学科・前期日程　次頁へ続く）

スポーツ科学専攻	8）硬式テニス ゲーム（シングルス） 9）ソフトテニス ゲーム（ダブルス） 10）硬式野球 1. バッティング 2. 2-1.野手 または 2-2.投手 を選択して検査を行う。 2-1. 野手（各自のポジションでの守備） 2-2. 投手（ピッチング） 11）バドミントン ゲーム（シングルス） 12）体操競技 男子：ゆか，あん馬，鉄棒の各種目で，指定された基本的な技の実施。 女子：ゆか，平均台，段違い平行棒の各種目で，指定された基本的な技の実施。 13）ダンス 1. 基礎的身体運動：示範の動き（伴奏付き）を練習後に実施。 2. 短いフレーズの創作（現代的なリズム）：現代的なリズムにふさわしい動きを組み込んだ短いフレーズの創作。 3. 課題による創作：課題（伴奏付き）を与え，課題からイメージしたものをダンス作品として創作。 14）柔　道 1. 受身 2. 立技 3. 寝技 4. 乱取 15）剣　道 1. 切り返し 2. 応じ技 3. 地稽古 16）水泳競技（競泳） 下記の種目の中から１種目を選択し，試合形式で記録測定を行う。 50m自由形，100m自由形，200m自由形，400m自由形，100m背泳ぎ，200m背泳ぎ，100m平泳ぎ，200m平泳ぎ，100mバタフライ，200mバタフライ，200m個人メドレー，400m個人メドレー

【後期日程】

専攻・コース	実施内容及び留意事項

芸術表現専攻
音楽表現コース

志望専門別検査科目表

検査科目＼志望専門	作曲	声楽	器楽		
			ピアノ	弦楽器	管・打楽器
作曲	A				
声楽		B			
ピアノ			C		
弦楽器				D	
管・打楽器					E

【専　門】 志望専門別に受験すること。

A　作　曲

ア　与えられたバス及びソプラノに和声を付け四声体にする。(制作時間２時間)

イ　与えられたテーマ又はモティーフに基づいて，ピアノ曲を作る。（制作時間２時間)

（注）ア，イともに試験中の楽器の使用は認めない。

B　声　楽

自由曲　２曲

（注）１　歌詞は原語とし,暗譜で歌うこと。

２　オペラ及びオラトリオ等のアリアは原調で歌うこと。

３　曲の途中で演奏を中止させる場合がある。

４　伴奏用楽譜（歌唱旋律及び歌詞が記入されたもの）を提出すること。ただし，１ページの大きさはＢ５判（縦 257 ㎜×横 182 ㎜）とし，志願者氏名を明記の上，願書と共に提出すること。提出後の作品及び調性等の変更は認めない。

５　伴奏者は本学で配置する。

C　ピアノ

自由曲　１曲　［・バッハ平均律ピアノ曲集及びショパン練習曲集を除く。・ソナタの場合は１つの速い楽章。］

（注）１　暗譜で演奏し，繰り返しは省略すること。

２　自由曲の作曲者名と曲名及び志願者氏名を別紙様式に明記し，願書とともに提出すること。

D　弦楽器

楽器別により，それぞれ指定（ア，イ）されたものを暗譜で演奏する。ただし，無伴奏とする。また，楽譜について指定のあるものは，その版を用いること。

自由曲については，作曲者名と曲名及び志願者氏名を別紙様式に明記し，願書とともに提出すること。

a　ヴァイオリン

ア　Carl Flesch : Scale System　より C-dur
No.5の冒頭の12小節（テンポは ♩=100～120）
No.6,7,8の冒頭の４小節
（テンポは ♩=40～50）

イ　自由曲　１曲

b　ヴィオラ

ア　Carl Flesch : Scale System　より C-dur
No.5の冒頭の12小節（テンポは ♩=100～120）

（注）ヴィオラ用に編曲された楽譜を使用すること。

イ　自由曲　１曲

（教育協働学科・後期日程　次頁へ続く）

（教育協働学科・後期日程　前頁から続く）

c　チェロ

ア　J.Loeb ： Gammes et arpégés pour violoncelle（Billaudot版）により，
３オクターブの音階と分散和音（C,D,Es,E-dur の中から当日指定）
音階は，テンポ ♩ =60以上
スラーは の形で演奏する。
分散和音は，テンポ，フィンガリングともに自由
スラーは の形で演奏する。

イ　自由曲　１曲

d　コントラバス

ア　シャープ又はフラットが３個までの調号をもつ長調又は短調のうちから，２オクターブの音階（調は当日指定。短調は和声的短音階と旋律的短音階の両方を演奏する。テンポ，フィンガリング，スラーは自由）

イ　自由曲　１曲

（注）楽器貸出し可能

E　管・打楽器

楽器別により，それぞれ指定（ア，イ）されたものを演奏する。ただし，無伴奏とし，楽譜は見てもよい。

自由曲については，作曲者名と曲名及び志願者氏名を別紙様式に明記し，願書とともに提出すること。

芸術表現専攻
音楽表現コース

a　フルート

ア　長調の音階，半音階及び主和音の分散和音（調及びアーティキュレーションは当日指定）

イ　自由曲　１曲

b　オーボエ

ア　フルートのアに同じ。

イ　自由曲　１曲

c　クラリネット

ア　フルートのアに同じ。

イ　自由曲　１曲

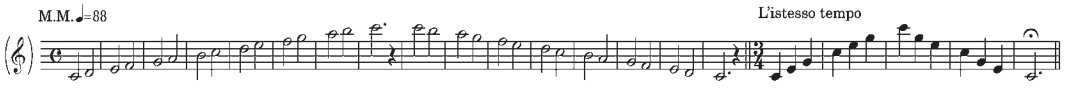
d　ファゴット

ア　フルートのアに同じ。

イ　自由曲　１曲

e　トランペット

ア　次の譜例により，長調の音階２オクターブ及び分散和音（調は当日指定）



イ　自由曲　１曲

f　ホルン

ア　トランペットのアに同じ。

イ　自由曲　１曲

g　トロンボーン

ア　トランペットのアに同じ。

イ　自由曲　１曲

（教育協働学科・後期日程　次頁へ続く）

（教育協働学科・後期日程　前頁から続く）

芸術表現専攻 音楽表現コース	h　バス・トロンボーン ア　トランペットのアに同じ。 イ　自由曲　１曲 i　テューバ ア　トランペットのアに同じ。 イ　自由曲　１曲 j　打楽器 ア　小太鼓の基本奏法 １つ打ち，２つ打ち，５つ打ち （緩→急→緩　等，当日指定），ロール（＜，＞，＜　＞等，当日指定） イ　小太鼓，マリンバのいずれかを用いた自由曲　１曲 （注）マリンバ（５オクターブ半），小太鼓，スタンド，バチ置きは貸出し可能
	※　試験当日は自動車（単車等を含む。）での入構及び保護者等の入構を基本的に禁止します（56頁参照）が，教育協働学科芸術表現専攻音楽表現コースの志望者で，コントラバスを持参する者については，自動車での入構を認めることがあります。 自動車での入構を希望する者は平成３０年２月１日（木）までに入試課へ申し出てください。ただし，自動車での入構は駐車場までとし，その先への保護者等の付き添いは認めません。また，この期間内に申し出のなかった者には，自動車での入構を認めません。（連絡先　Fax：072-978-3327　電子メール：nyushika@bur.osaka-kyoiku.ac.jp）
芸術表現専攻 美術表現コース	次の検査を実施する。 鉛筆による卓上モチーフの描写 （注）鉛筆，消しゴム（ねり消しゴムを含む），羽根ボウキを各自持参すること。 それ以外の道具は使用不可とする。 ※　カルトン，カルトン用クリップ，画用紙，鉛筆削り用具は本学で準備する。 ※　鉛筆の硬度は問わない。

（教育協働学科・後期日程　次頁へ続く）

スポーツ科学専攻	次の検査を実施する。 専門実技検査：種目別運動技能に関するテスト 下記 1)～16)の中から１種目を出願時に選択すること。出願後の変更は認めない。 1）陸上競技 下記の種目の中から１種目を選択し，試合形式で記録測定を行う。 男子：100m，200m，400m，800m，1500m，110mH，400mH，3000mW，走高跳，棒高跳，走幅跳，三段跳，砲丸投，円盤投，ハンマー投，やり投 女子：100m，200m，400m，800m，1500m，100mH，400mH，3000mW，走高跳，棒高跳，走幅跳，三段跳，砲丸投，円盤投，ハンマー投，やり投 2）バスケットボール 1. 各種シュート（ランニングシュート，ジャンプシュート） 2. ２対１または３対２ 3. 速攻 4. ゲーム 3）サッカー フィールドプレーヤーまたはゴールキーパーを選択して検査を行う。 ＜フィールドプレーヤー＞ 1. 短距離走 2. 各種シュート 3. ゲーム（８対８） ＜ゴールキーパー＞ 1. ゴールキーピング（フィールドプレーヤーの2. 3. のテストでゴールマウスに入って行う。） 2. キャッチング，ポジショニング，セービング，キックの各技能 4）ラグビーフットボール 1. グリッド（ムーブ・ザ・ボール） 2. ヒット（コンタクト） 3. タックル 4. タッチフット 5）バレーボール 1. 最高到達点 2. 対人パス（オーバーハンドパス，アンダーハンドパス） 3. 対人レシーブ 4. スパイクまたはトスまたはサーブレシーブ（選択） 5. ゲーム 6）ハンドボール コートプレーヤーまたはゴールキーパーを選択して検査を行う。 ＜コートプレーヤー＞ 1. シュート 2. １対１の攻撃 3. ゲーム（３対３） 4. 遠投 ＜ゴールキーパー＞ 1. シュートセーブ 2. ゲーム（３対３） 3. 遠投 7）卓球 ゲーム（シングルス）

（教育協働学科・後期日程　次頁へ続く）

スポーツ科学専攻	8）硬式テニス ゲーム（シングルス） 9）ソフトテニス ゲーム（ダブルス） 10）硬式野球 1. バッティング 2. 2-1. 野手 または 2-2. 投手 を選択して検査を行う。 2-1. 野手（各自のポジションでの守備） 2-2. 投手（ピッチング） 11）バドミントン ゲーム（シングルス） 12）体操競技 男子：ゆか，あん馬，鉄棒の各種目で，指定された基本的な技の実施。 女子：ゆか，平均台，段違い平行棒の各種目で，指定された基本的な技の実施。 13）ダンス 1. 基礎的身体運動：示範の動き（伴奏付き）を練習後に実施。 2. 短いフレーズの創作（現代的なリズム）：現代的なリズムにふさわしい動きを組み込んだ短いフレーズの創作。 3. 課題による創作：課題（伴奏付き）を与え，課題からイメージしたものをダンス作品として創作。 14）柔　道 1. 受身 2. 立技 3. 寝技 4. 乱取 15）剣　道 1. 切り返し 2. 応じ技 3. 地稽古 16）水泳競技（競泳） 下記の種目の中から１種目を選択し，試合形式で記録測定を行う。 50m自由形，100m自由形，200m自由形，400m自由形，100m背泳ぎ，200m背泳ぎ，100m平泳ぎ，200m平泳ぎ，100mバタフライ，200mバタフライ，200m個人メドレー，400m個人メドレー

（6）－2　実技検査の採点・評価基準

教員養成課程

課程・専攻等		実施内容	採点・評価基準
前期日程	学校教育教員養成課程 小中教育専攻 中等教育専攻 保健体育コース	Ⅰ．専門実技検査 種目別運動技能に関するテスト Ⅱ．選択実技検査 種目別運動技能に関するテスト	体力・技術・戦術等を総合的に捉え，種目特有の運動技能の習熟度についても採点･評価の対象とする。 体力・技術・戦術等を総合的に捉え，種目特有の運動技能の習熟度についても採点･評価の対象とする。
	学校教育教員養成課程 小中教育専攻 音楽教育コース	Ⅰ．歌曲 Ⅱ．ピアノ Ⅲ．楽典	教員養成（音楽）に必要な基礎的技術，表現力等について検査する。 併せて，実技に必要な基礎的知識についても審査し，総合的に評価する。
	学校教育教員養成課程 中等教育専攻 音楽教育コース	楽器（ピアノ，もしくは管楽器（金管楽器・木管楽器）と声楽。ピアノの代わりに管楽器（金管楽器，木管楽器）での受験可。	教員養成（音楽）に必要な基礎的技術，表現力等について検査する。 併せて，実技に必要な基礎的知識についても審査し，総合的に評価する。
	学校教育教員養成課程 小中教育専攻 中等教育専攻 美術・書道教育コース	次のⅠ，Ⅱのいずれかを選択すること Ⅰ．美術実技 鉛筆による静物デッサン Ⅱ．書道実技 1）臨書 2）筆記テスト	基礎的な造形感覚（構成・対象把握）や表現能力を評価の対象とする。 用筆・構成などにかかわる表現力・鑑賞力・思考力・専門的知識を総合的に評価の対象とする。
後期日程	学校教育教員養成課程 小中教育専攻 保健体育コース	専門実技検査 種目別運動技能に関するテスト	体力・技術・戦術等を総合的に捉え，種目特有の運動技能の習熟度についても採点･評価の対象とする。
	学校教育教員養成課程 小中教育専攻 美術・書道教育コース	次のⅠ，Ⅱのいずれかを選択すること Ⅰ．美術実技 鑑賞問題 Ⅱ．書道実技 1）臨書 2）筆記テスト	図工・美術教育に必要な鑑賞能力，すなわち，対象をよく見て自分なりに価値を見いだす力と，それを，美術的・言語的に豊かに表現する力を，総合的に評価の対象とする。 用筆・構成などにかかわる表現力・鑑賞力・思考力・専門的知識を総合的に評価の対象とする。

教育協働学科

専攻・コース		実施内容	採点・評価基準
前期日程	芸術表現専攻 音楽表現コース	【専　門】 A　作曲 B　声楽 C　ピアノ D　弦楽器 E　管・打楽器 【音楽に関する基礎能力の検査】 F　聴音 G　ピアノ H　楽典	志望専門毎に設定された検査項目により，音楽性・演奏技術・創作能力等を審査するが，併せて，音楽を志す者にとって必要な，音楽的基礎能力及び知識についても審査し，総合的に評価する。
	芸術表現専攻 美術表現コース	鉛筆による卓上モチーフの描写	課題に基づいてモチーフを構成し，観察し，描写する力を評価する。
	スポーツ科学専攻	専門実技検査 種目別運動技能に関するテスト	体力・技術・戦術等を総合的に捉え，種目特有の運動技能の習熟度についても採点・評価の対象とする。
後期日程	芸術表現専攻 音楽表現コース	【専　門】 A　作曲 B　声楽 C　ピアノ D　弦楽器 E　管・打楽器	志望専門毎に設定された検査項目により，音楽性・演奏技術・創作能力等について審査し，評価する。
	芸術表現専攻 美術表現コース	鉛筆による卓上モチーフの描写	課題に基づいてモチーフを構成し，観察し，描写する力を評価する。
	スポーツ科学専攻	専門実技検査 種目別運動技能に関するテスト	体力・技術・戦術等を総合的に捉え，種目特有の運動技能の習熟度についても採点・評価の対象とする。

（7）検　査　日　程

教員養成課程

【前期日程】

月　日	課程・専攻等			教科等	時　間
2月25日(日)	初等教育教員養成課程	幼児教育専攻		面　接	１０：００ ～
		小学校教育専攻	昼間コース	小論文	１０：００ ～ １１：３０
			夜間５年コース	小論文	１０：００ ～ １１：３０
	学校教育教員養成課程	特別支援教育専攻		小論文	１０：００ ～ １１：３０
		小中教育専攻	学校教育コース	小論文	１０：００ ～ １１：３０
			国語教育コース	小論文 面　接	１０：００ ～ １１：３０ １３：００ ～
			英語教育コース	英　語	１０：００ ～ １２：００
			社会科教育コース	小論文	１０：００ ～ １２：００
			数学教育コース	理　科 数　学	１０：００ ～ １２：００ １３：３０ ～ １５：３０
			理科教育コース	理　科	１０：００ ～ １２：００
			家政教育コース	小論文	１０：００ ～ １２：００
			保健体育コース	実　技	１０：００ ～
			音楽教育コース	実　技	１０：００ ～
			美術・書道教育コース **（美術実技の選択者）**	面　接	１０：００ ～
			美術・書道教育コース **（書道実技の選択者）**	実　技 面　接	１０：００ ～ １２：００ １３：３０ ～
		中等教育専攻	国語教育コース	小論文 面　接	１０：００ ～ １１：３０ １３：００ ～
			英語教育コース	英　語	１０：００ ～ １２：００
			社会科教育コース	小論文	１０：００ ～ １２：００
			数学教育コース	理　科 数　学	１０：００ ～ １２：００ １３：３０ ～ １５：３０
			理科教育コース	理　科	１０：００ ～ １２：００
			技術教育コース	理科（物理）	１０：００ ～ １２：００
			家政教育コース	小論文	１０：００ ～ １２：００
			保健体育コース	実　技	１０：００ ～
			音楽教育コース	実　技	１０：００ ～
			美術・書道教育コース **（美術実技の選択者）**	面　接	１０：００ ～
			美術・書道教育コース **（書道実技の選択者）**	実　技 面　接	１０：００ ～ １２：００ １３：３０ ～
	養護教諭養成課程			小論文	１０：００ ～ １２：００
2月26日(月)	学校教育教員養成課程	小中教育専攻	保健体育コース	実　技	１０：００ ～
			美術・書道教育コース **（美術実技の選択者）**	実　技	１０：００ ～ １３：００
		中等教育専攻	保健体育コース	実　技	１０：００ ～
			美術・書道教育コース **（美術実技の選択者）**	実　技	１０：００ ～ １３：００

【後期日程】

月　日	課程・専攻等			教科等	時間
3月12日(月)	初等教育教員養成課程	小学校教育専攻	昼間コース	面　接	１３：３０ ～
			夜間５年コース	面　接	１０：００ ～
	学校教育教員養成課程	特別支援教育専攻		小論文	１０：００ ～ １１：３０
		小中教育専攻	国語教育コース	面　接	１０：００ ～
			数学教育コース	数　学	１０：００ ～ １２：３０
			理科教育コース	小論文	１０：００ ～ １２：００
			保健体育コース	実　技	１０：００ ～
			美術・書道教育コース **（美術実技の選択者）**	実　技	１０：００ ～ １３：００
			美術・書道教育コース **（書道実技の選択者）**	実　技	１０：００ ～ １２：００
		中等教育専攻	数学教育コース	数　学	１０：００ ～ １２：３０
			理科教育コース	小論文	１０：００ ～ １２：００
	養護教諭養成課程			面　接	１０：００ ～

(注) 1　検査時間に変更のある場合は，受験票返送時に「受験者注意事項」により通知します。
　　2　実技検査時間の詳細については，受験票返送時に通知します。
　　なお，実技検査の中には，２日間にわたって実施される課程・専攻等があるので注意してください。

教育協働学科

【前期日程】

月　日	専攻・コース		教科等	時間
2月25日（日）	教育心理科学専攻		小論文	10：00 ～ 12：00
	健康安全科学専攻		小論文	10：00 ～ 12：00
	理数情報専攻	数理情報コース	理科 数学	10：00 ～ 12：00 13：30 ～ 15：30
		自然科学コース	理科 数学	10：00 ～ 12：00 13：30 ～ 15：30
	グローバル教育専攻	英語コミュニケーションコース	英語	10：00 ～ 12：00
		多文化リテラシーコース	小論文	10：00 ～ 12：00
	芸術表現専攻	音楽表現コース	実技	10：00 ～
		美術表現コース	実技	10：00 ～ 13：00
	スポーツ科学専攻		実技	10：00 ～
2月26日（月）	芸術表現専攻	音楽表現コース	実技	10：00 ～

【後期日程】

月　日	専攻・コース		教科等	時間
3月12日（月）	教育心理科学専攻		小論文	10：00 ～ 11：30
	健康安全科学専攻		面接	10：00 ～
	理数情報専攻	数理情報コース	数学	10：00 ～ 12：30
		自然科学コース	面接	10：00 ～
	芸術表現専攻	音楽表現コース	実技	10：00 ～
		美術表現コース	実技	10：00 ～ 13：00
	スポーツ科学専攻		実技	10：00 ～

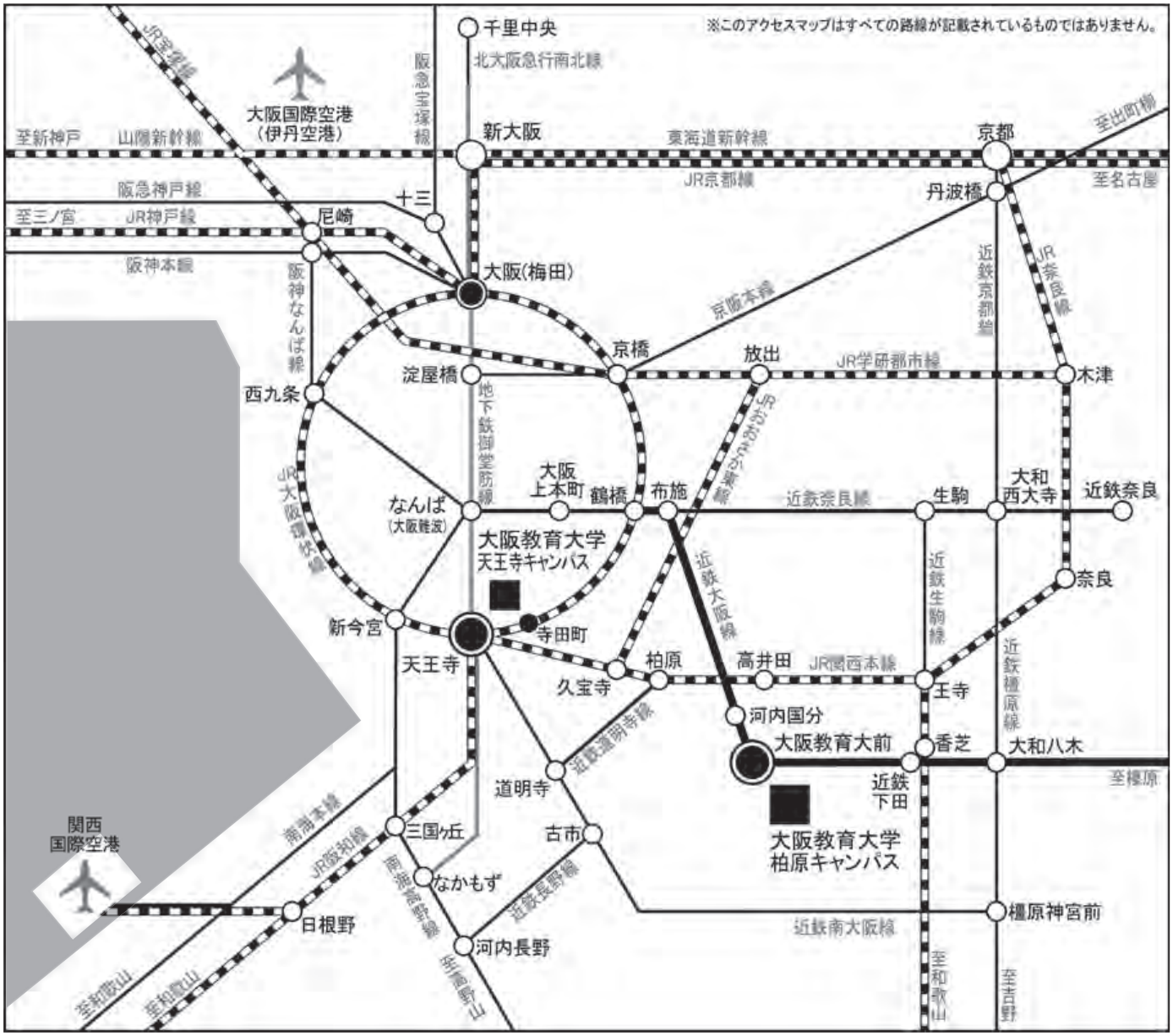
（注）1　検査時間に変更のある場合は，受験票返送時に「受験者注意事項」により通知します。
　　2　実技検査時間の詳細については，受験票返送時に通知します。
　　なお，実技検査の中には，２日間にわたって実施される専攻・コースがあるので注意してください。

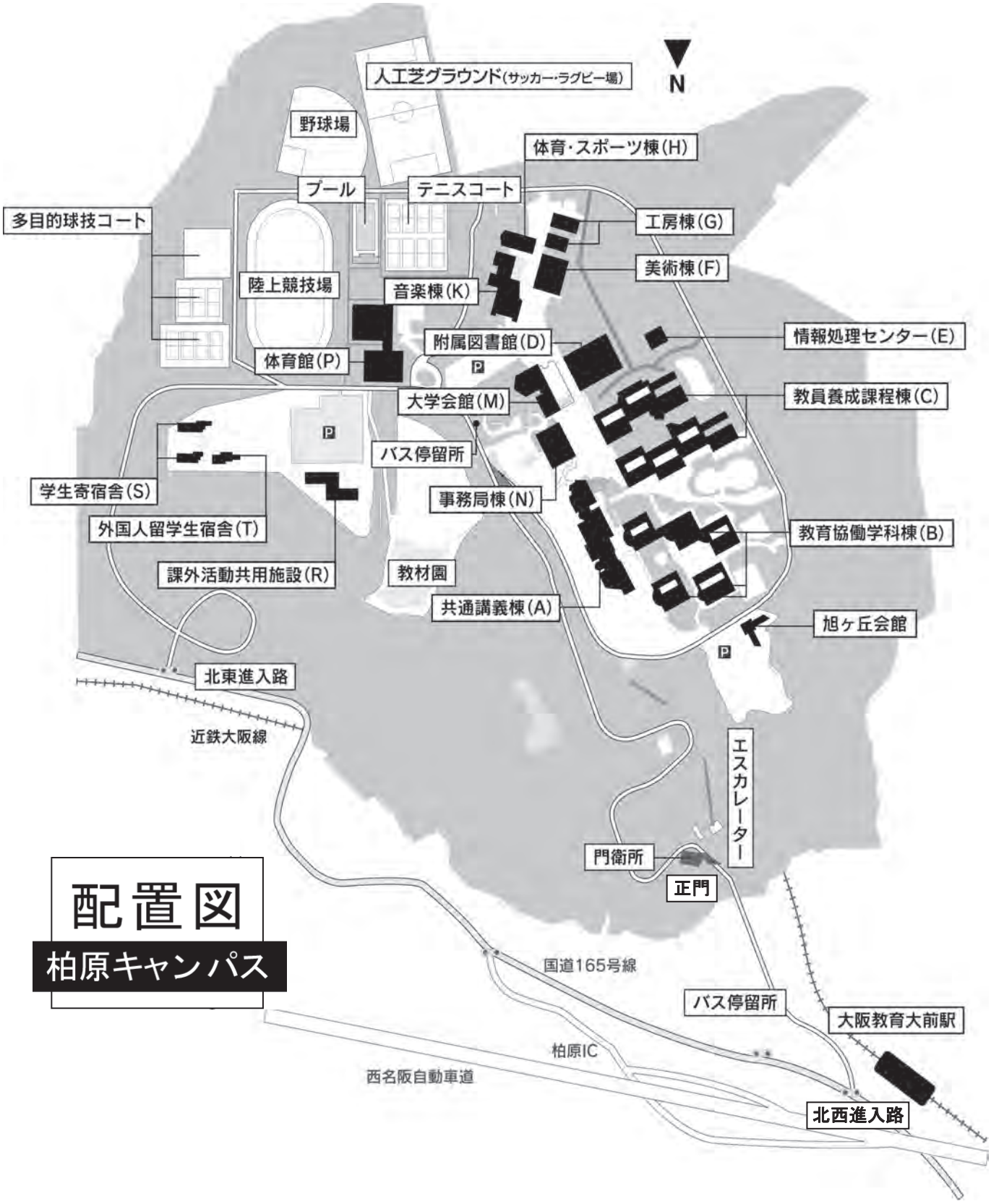
（８）入　学　試　験　場

試　　験　　場	所　　在　　地
柏原キャンパス試験場	大阪府柏原市旭ヶ丘４－６９８－１ 近鉄大阪線「大阪教育大前駅」（「鶴橋駅」から約３０分） 下車 南東へ約１ｋｍ　※エスカレーター（上り専用），階段あり

（注）１　受験者数により，上記以外に試験場を設けることがあります。
　　（試験場は受験票に記載します。）
　　２　**受験票は２月１３日（火）発送予定**です。
　　３　受験者は，**受験票に記載された試験場以外では受験できない**ので，注意してください。

入　学　試　験　場　所　在　地　略　図




人工芝グラウンド(サッカー・ラグビー場)
N
野球場
体育・スポーツ棟(H)
プール
テニスコート
多目的球技コート
工房棟(G)
美術棟(F)
陸上競技場
音楽棟(K)
附属図書館(D)
情報処理センター(E)
体育館(P)
P
大学会館(M)
教員養成課程棟(C)
P
バス停留所
学生寄宿舎(S)
事務局棟(N)
外国人留学生宿舎(T)
教育協働学科棟(B)
課外活動共用施設(R)
教材園
共通講義棟(A)
旭ヶ丘会館
P
北東進入路
近鉄大阪線
エスカレーター
門衛所
正門
国道165号線
バス停留所
大阪教育大前駅
柏原IC
西名阪自動車道
北西進入路

配置図

柏原キャンパス

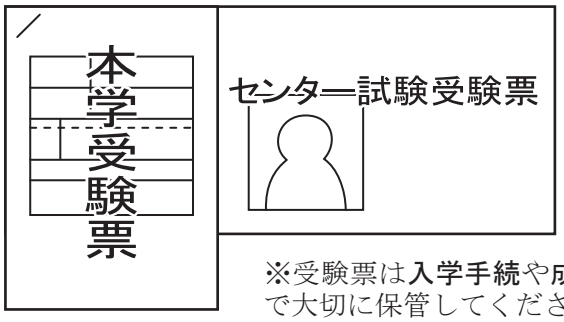
（9）受 験 上 の 注 意

1　試験室等は本学の受験票返送（２月１３日（火）発送の予定）時に通知します。
　なお，本学の受験票が届きましたら，専攻・コース名等記載事項を確認し，**裏面の「受験上の注意事項」及び同封の「受験者注意事項」等をよく読んでください。送付後に災害等により不測の事態が発生した場合や連絡事項があれば，大学ウェブページ**（https://osaka-kyoiku.ac.jp/）**に掲載します。**

2　交通手段を確認し，可能であれば事前に試験場の下見をしておいてください。ただし，試験室内の下見はできません。

3　試験当日は，**自動車**（単車等を含む。）**での入構を禁止**します。なお，試験場正門付近は大変混雑するため，大学が特別な事情で入構を許可した付添者以外，**保護者等の付き添いは，近鉄大阪線「大阪教育大前駅」まで**とします。

4　試験当日は，**本学の受験票**を**大学入試センター試験の受験票**の左上部に重ねてホッチキスで止め，**必ず持参**してください。（下図参照）
　万一，受験票を忘失した場合は，試験場入構の際に届け出て，仮受験票の交付を受けてください。



※受験票は**入学手続**や**成績開示**の際にも必要となりますので大切に保管してください。

5　試験当日は試験開始時刻の３０分前までに試験場に到着してください。ただし，開門時間（**８時３０分**の予定）までは試験場に入構できません。
　万一試験開始時刻に遅れたときは，開始時刻後３０分以内の遅刻に限り受験を認めますので，監督者の指示に従ってください。
　なお，**試験時間や集合時間（面接及び実技検査のみ）は課程・専攻・コース等によって異なります**ので，５１～５３頁で確認してください。

6　試験室で使用できるものは，原則として筆記用具（黒鉛筆・シャープペンシル（黒い芯に限る。）），定規（無地のものに限る。），コンパス，消しゴム，鉛筆削り（電動式は除く。），時計（計時機能だけのもので，秒針音のしないものに限る。），眼鏡，ハンカチ，ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの。），目薬のみとします。これら以外のものを特に使用したい者は事前に大学の許可を得てください。ただし，実技試験においては，実技検査の実施内容及び留意事項（３０頁から４８頁参照）で指定されている場合もあるので注意してください。
　なお，音の出る機器や携帯電話は試験室に入る前にアラームの設定を解除して電源を切り，かばん等に入れておいてください。携帯電話を時計代わりに使用することも認めません。

7　監督者の指示が聞き取れないことがあるので，耳せんの使用は認めません。

8　英文字や地図等がプリントされた上着等は着用しないでください。着用している場合は，脱いでもらうことがあります。

9　受験生控室を大学会館の食堂に用意していますので，試験時間以外は試験室付近には立ち寄らないでください。

10　昼食が必要な者は各自で用意してください。特に面接試験を受ける者は，控室に集合してから試験が終わるまでの間，退室ができないので注意してください。

11　学校教育教員養成課程 小中教育専攻・中等教育専攻 保健体育コース 又は 教育協働学科 スポーツ科学専攻 の実技検査を受験する際は怪我等のないよう，各自十分に注意してください。

12　試験中不正行為等があった者に対しては受験を停止し，かつ，すべての試験を無効とします。
なお，試験中にカンニングをする，あるいは他の受験者に解答を教えたり，カンニングの手助けをすることはもちろん，上記６のとおり，使用を認めない用具や携帯電話等をしまわず，身に付けていたり手に持つことは，不正行為とみなすことがあります。

13　不測の事態が発生した場合は監督者の指示に従って冷静に行動してください。

14　交通機関がなんらかの事情で停止した場合でも試験は原則として実施します。

15　柏原キャンパス試験場では，試験当日「大阪教育大前駅」から「柏原キャンパス」への路線バスは運行しません。ただし，エスカレーター（上り専用）は運行します。

(10) 合 格 者 の 発 表

合格者の発表は，下記の日時に，柏原キャンパスにおいて，受験番号を掲示して行います。
なお，合格者には，合格通知書及び入学手続関係書類を別途郵送します。

試験日程	合　格　発　表　日	時　　間
前期日程	平成３０年　３月　６日（火）	９：００
後期日程	平成３０年　３月２２日（木）	

また，大学ウェブページ(https://osaka-kyoiku.ac.jp/admission/nyushi/goukaku_happyou.html)においても同日時に掲載しますが，必ず合格通知書で確認してください。合格者の発表について，電話等による照会には，一切応じません。
なお，大学周辺での合格電報等の勧誘・受付等は本学とは一切関係がありません。

９ 入 学 手 続 等

合格者は，次により入学手続を行ってください。**合格発表から入学手続までの期間が短いので注意してください。**
（合格者には入学手続関係書類を別途郵送しますので，詳細についてはそちらを参照してください。）
なお，**本学に入学手続を行った者は，これを取り消して他の国公立大学・学部**（※独自日程で入学者選抜を行う公立大学・学部を除く。）**に入学手続を行うことはできません。**
※公立大学協会ホームページ（http://www.kodaikyo.org/）参照

（１）入学手続期限及び方法

入学手続書類を本学所定の封筒に入れ，郵便事情を考慮のうえ，期日に間に合うよう「速達・簡易書留郵便」により郵送してください。やむを得ない事情があって，郵送で入学手続ができない場合には，事前相談のうえ，所定の日時に持参（来学）による入学手続を認めます。なお，入学手続期限までに入学手続を完了しない者は，入学辞退者として取り扱います。

試験日程	手　　続　　期　　限	
	郵送手続期限（必着）	やむを得ない事情による持参手続
前期日程	平成３０年３月１３日（火）必着	平成３０年３月１５日（木）１２：００～１５：００
後期日程	平成３０年３月２６日（月）必着	平成３０年３月２７日（火）１２：００～１５：００

（２）入学手続書類送付先

大阪教育大学（柏原キャンパス）学生支援課
※やむを得ない事情による持参手続場所は，大阪教育大学柏原キャンパスとなります。

（３）入学手続に必要なもの

ア　大学入試センター試験受験票（再発行を受けた者は，新しい受験票）
イ　本学受験票
ウ　入　学　料　　２８２，０００円（ただし，夜間５年コースは１４１，０００円）
入学手続後，既に納付した入学料はいかなる理由があっても返還しません。（入学辞退の場合も同様です。）
下記の入学料振込期限日までに銀行窓口にて振込み手続を行ってください。
前期日程　平成３０年３月１２日（月）
後期日程　平成３０年３月２３日（金）**（期間が特に短いので注意してください。）**

（注）１　上記記載の金額は，平成２９年度の入学者の金額であり，平成３０年度入学者については，変更される場合があります。なお，詳細については合格者に別途通知します。
２　入学料の免除・徴収猶予制度があります。詳細は，６１頁を参照してください。

エ　入学時諸費用
大阪教育大学校友会
学　部　７０，０００円（ただし，夜間５年コースは５５，０００円）

（注）１　「大阪教育大学校友会」は，教育研究活動，大学行事，課外活動，福利厚生，奨学金給付及び就職への支援など様々な学生支援事業を行うとともに，在学生を含む卒業生，修了生の同窓会活動への支援を行う組織です。
２　入学時のみの費用です。
３　上記記載の金額は，変更される場合があります。詳細については，入学手続関係書類を参照してください。

（４）その他入学に必要な費用

授　業　料

本学では授業料の「口座振替制度（口座引落し）」を実施しており，入学後，学生名義の預金口座から，前期分は４月に，後期分は１０月に授業料を引き落とします。

授　業　料　（前期分）　２６７，９００円（ただし，夜間５年コースは１３３，９５０円）

［（年　額）　５３５，８００円（ただし，夜間５年コースは２６７，９００円）］

（注）１　上記記載の金額は，平成２９年度の入学者の金額であり，平成３０年度入学者については，変更される場合があります。なお，詳細については合格者に別途通知します。

２　在学中に授業料の改定が行われた場合には，改定時から新授業料が適用されます。

３　授業料の免除・徴収猶予制度があります。詳細は，６１頁を参照してください。

４　このほか，テキスト代や英語の資格・検定試験，実習等の経費，課外活動等の経費は別途必要となる場合があります。

10　ノートパソコンの必携について

ア 必携とする理由

大阪教育大学では，ICT 基礎科目を中心とした授業でのパソコンの活用をはじめ，講義でのレポート作成や論文作成，教育実習など，大学生活の中で数多くの機会にパソコンとインターネットを活用します。

また，授業の履修登録や成績閲覧の手続き，授業課題の提出なども大学の Web ページを通じて行います。みなさんの大学卒業時には，獲得した知識とスキルを教育現場や社会で十分に発揮できるように，自分専用のノートパソコンを用いてさまざまな活動を行ってもらうことを目的とし，平成２９年度の学部新入生からノートパソコン必携としております。

やむを得ない事情がない限り，入学までに自分専用のノートパソコンをご準備ください。

イ 入学までにご準備いただくノートパソコンの必要条件について

準備していただくノートパソコンは，大学が指定する必要条件を満たしていれば，すでにお持ちのノートパソコンを使用していただいて結構です。大学として，新たに特定のパソコンの購入をお願いするものではありません。

詳しくは合格者に送付する入学手続関係書類に同封の「ノートパソコンの必携についてのご案内」でお知らせします。

なお，平成２９年度学部新入生のノートパソコンの必要条件（最低限必要な機能・性能等）は，大阪教育大学の Web ページ「ノートパソコンの必携について」に掲載していますのでご参照ください。平成３０年度の学部新入生の必要条件もほぼ同様となる予定です。

やむを得ない事情で，ノートパソコンの貸与を必要とされる方は，原則入学後 6 ヶ月間に限り大学から貸与します。貸与基準等は「ノートパソコンの必携について」のページをご参照ください。

「ノートパソコンの必携について」は以下の URL からご参照ください。

大阪教育大学 ＞ 入学試験情報 ＞ 入試・学生生活に関する各種情報 ＞ ノートパソコン必携

http://www.osaka-kyoiku.ac.jp/~ipc/byod/

＜ノートパソコン必携に関する問い合わせ窓口＞

大阪教育大学 情報企画室　TEL ： 072-978-3772 （受付時間　平日 9：00 ～ 17：００）

11　欠 員 補 充 の 方 法

平成３０年３月２７日（火）までに入学手続を完了した者が入学定員に満たない場合は，追加合格により欠員を補充します。この場合，合格通知は，３月２８日（水）又は３月２９日（木）に，電話等により，**入学志願票に記載の住所**（受信場所）に行いますので，本人が不在の場合でも連絡が直ちにとれるように所在を明らかにしておいてください。

特に，転居等により合格通知の送付先を変更する場合は，必ず入試課へ連絡してください。

12　入学試験成績の開示について

受験者本人から願い出のあった場合に限り，次のとおり**一般入試の**個人成績を開示します。

ア　開示する成績は，大学入試センター試験と個別学力検査の総合得点とします。

イ　成績開示を希望する受験者（本人に限る。）は，以下の手続きを行ってください。

①　請求方法及び期間

平成３０年４月２０日（金）から平成３０年６月２０日（水）まで（土日祝を除く。）に，※「入学試験成績閲覧願」に**本学受験票**を添えて学務部入試課（柏原キャンパス）へ提出してください。

②　開示期間及び場所

成績開示は，平成３０年５月１日（火）から平成３０年６月２９日（金）まで（土日祝を除く。）の期間で，学務部入試課の窓口において，閲覧をもって行います。ただし，「入学試験成績閲覧願」受理の５日後（土日祝を除く。）以降とします。

なお，閲覧にあたっては，受験者本人であることを確認しますので，本学受験票及び本人確認ができる書類（センター試験受験票・学生証・運転免許証等）を持参してください。

③　郵送による成績開示請求

遠隔地に居住している等の理由で，受験者本人が来学しての入試課窓口における閲覧が困難な場合は，受験者本人からの申し出に基づき，郵送によって成績を開示することができます。

郵送で成績開示を希望する場合は，平成３０年４月２０日（金）から平成３０年６月２０日（水）までに，郵送希望欄に理由を明記した※「入学試験成績閲覧願」及び「本学受験票（コピー）」と併せて，返送用封筒（長型３号（約24cm×12cm）に**受験者本人が受取人となる宛先を記載**して，３９２円切手を貼付してください。成績はこの封筒により簡易書留で発送します。）を郵送してください。なお，前期・後期両方の成績開示を希望する場合，返送用封筒は１枚で結構です。

④　本学に入学した受験者の成績開示請求

本学に入学した受験者の成績開示の請求，閲覧については本学Webシステムを利用して行います。詳細は４月中旬頃Webシステムを通じて対象者に案内します。

※「入学試験成績閲覧願」は，４月１１日（水）から学務部入試課の窓口（平日９：００～１７：００）又は本学ウェブページで配布します。

13　障がい等のある者の事前相談

障がい又は病気その他の理由で，受験上の配慮を希望する者は**入試課**へ相談し，平成３０年１月１０日（水）までに「受験上の配慮申請書」（６０頁をコピーして使用）に必要事項を記入して，必要書類とともに提出してください。

入試課【ＴＥＬ：０７２－９７８－３３２４　　ＦＡＸ　：０７２－９７８－３３２７
電子メール：nyushika@bur.osaka-kyoiku.ac.jp　　受付時間：平日９：００～１７：００】

本学は障がい学生修学支援ルームを設置しています。なお，本ルームは入学後に修学上の配慮を希望する者の事前相談にも応じています。

＜問い合わせ先＞障がい学生修学支援ルーム
ＴＥＬ・ＦＡＸ：０７２－９７８－３４７９　電子メール：sienroom@cc.osaka-kyoiku.ac.jp
受付時間：平日９：００～１７：００

（学部一般）

平成　　年　　月　　日

大阪教育大学長　殿

学校長
又は保護者　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

受験上の配慮申請書

下記のとおり受験上の配慮について申請します。

記

ふりがな 氏名		
生年月日（性別）		昭和・平成　　年　　月　　日生（男・女）
住所		〒（　　－　　）
電話番号（連絡先）		－　　－
Eメールアドレス		
出願資格	出身学校等	立　　学校
	卒業等年月	昭・平　　年　　月　卒業・卒業見込・その他（　　）
障がい等の程度		
志望予定の試験日程		前期日程・後期日程
志望する課程（専攻）又は専攻（コース）		
高等学校等における修学上の配慮又は状況		※
大学受験に際して配慮を希望する事項		※
付添いその他受験に際して用意又は準備している事項		※
備考		※

（注）1　この申請書は，病気・負傷・障がい等のために，受験上の配慮を希望する志願者が受験上の配慮を申請するために使用するものです。
2　※印欄は具体的に記入してください。また，欄内に記入できない場合は，別紙(様式随意)として添付してください。
3　医師の診断書(様式随意。コピーでも可)等を添付してください。
4　高等学校を卒業している者は，申請書提出にあたり，出来るだけ出身高等学校長等と相談してください。
5　大学入試センター試験で，受験上の配慮を受けている者は，決定通知書のコピーを添付してください。
6　上記，個人情報は，入学試験を実施するために使用します。なお，合格者，入学者については，修学指導等の業務に利用します。

14　学生生活案内

（１）入学料免除・授業料免除等

ア　入学料免除

下記の対象者のいずれかに該当する者について，本人の申請に基づき選考の上，免除が許可された場合，入学料の全額又は半額が免除されます。

対象者	（ア）本学入学前１年以内（平成２９年４月から平成３０年３月まで）において，入学する者の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡し，又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより，入学料の納付が著しく困難であると認められる者 （イ）（ア）に準ずるやむを得ない事情があると認められる者 【単に収入が少ない（母子・父子世帯，失業等）だけでは免除の対象となりません。】

イ　入学料徴収猶予

下記の対象者のいずれかに該当する者については，本人の申請に基づき選考の上，徴収猶予が許可された場合，最長で当該年度の８月末日まで猶予されます。（徴収猶予許可の可否に関わらず，指定された期限内に所定の入学料を納付しなければなりません。期限内に納付されない場合は除籍となります。）

対象者	（ア）経済的理由によって入学料の納付が困難であり，かつ，学業優秀と認められる者 （イ）本学入学前１年以内（平成２９年４月から平成３０年３月まで）において，入学する者の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡し，又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより，入学料の納付が著しく困難であると認められる者 （ウ）（イ）に準ずるやむを得ない事情があると認められる者

ウ　授業料免除・徴収猶予

下記の対象者のいずれかに該当する者については，前期・後期ごとに，本人の申請に基づき選考の上，免除が許可された場合，当該期分の授業料の全額又は半額が免除されます。なお，納付期限までに授業料の納付が困難な場合は，授業料の徴収猶予制度もあるので，授業料免除と同様に申請を行ってください。

対象者	（ア）経済的理由によって授業料の納付が困難であり，かつ，学業優秀と認められる者 （イ）本学入学前１年以内（平成２９年４月から平成３０年３月まで）において本人の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡し，又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより，授業料の納付が著しく困難であると認められる者 （ウ）（イ）に準ずるやむを得ない事情があると認められる者

（注）　いずれも申請についての詳細は，合格者に送付する入学手続関係書類を参照してください。
大学ウェブページでも案内しています。
（ア，イ　https://osaka-kyoiku.ac.jp/campus/gakusei/nyumen.html
ウ　https://osaka-kyoiku.ac.jp/campus/gakusei/jyumen.html）

＜問い合わせ先＞　学生支援課奨学厚生係　（電話　072-978-3303）

（２）奨学金

学業成績が優秀で，経済的理由により学資の支弁が困難な者には，《日本学生支援機構奨学金》又は《一般奨学金》の制度があります。一般奨学金には，大きく分けて地方公共団体の奨学金と民間育英団体の奨学金とがあります。

（参考）平成２９年度入学者　日本学生支援機構奨学金の貸与月額例

奨学金の種類	自宅通学	自宅外通学
第一種奨学金（無利子）	45,000 円	51,000 円
	30,000 円　（通学形態別に関係なく３万円を選択することも可）	
第二種奨学金（有利子）	30,000 円・50,000 円・80,000 円・100,000 円・120,000 円のいずれかより選択	

（注）　申請についての詳細は，合格者に送付する入学手続関係書類を参照してください。
大学ウェブページ（https://osaka-kyoiku.ac.jp/campus/gakusei/syougaku.html）でも案内しています。

＜問い合わせ先＞　学生支援課奨学厚生係　（電話　072-978-3491）

（３）学生教育研究災害傷害保険・学研災付帯賠償責任保険

本学では，大学の安全管理責任の観点から，学生の教育研究活動中の災害に対する補償制度として，「学生教育研究災害傷害保険（学研災）」・「通学中等傷害危険担保特約（通学特約）」及び「学研災付帯賠償責任保険（付帯賠責）」の「2,000 万円・Ａコース」に加入登録をしており，本学学生は全員加入とします。

【保険料】（円）

区　　分	保険期間	学研災	通学特約	付帯賠責	**合計金額**
学部（夜間５年コース以外）	４年間	２，３００	１，０００	１，３６０	**４，６６０**
学部（夜間５年コース）	５年間	５００	１，２５０	１，７００	**３，４５０**

（注）保険加入手続は本学が行います。なお，保険料は入学時諸費用（校友会会費）により納入しますので，個別にお支払いいただく必要はありません。保険についての詳細は，合格者に送付する入学手続関係書類を参照してください。
大学ウェブページ（https://osaka-kyoiku.ac.jp/campus/gakusei/hoken.html）でも案内しています。

＜問い合わせ先＞　　学生支援課学生支援係　　（電話　072-978-3312）

（４）学生宿舎

【学生宿舎の概要】

所　　在　　地	大阪教育大学柏原キャンパス内　（大阪府柏原市旭ヶ丘 4-698-1）
収　容　定　員	男子棟（６０人）・女子棟（８０人）
寄宿料等（月額）	５，０００円 （その他共益費として７００円，光熱水料費として月額約６，０００円程度） ※寄宿料，共益費は平成２９年度の金額であり，改訂が行われた場合には，改訂時から適用されます。
食　　事	食事提供はありませんが，各階「補食室」での自炊は可能です。
居　　室	個室　　【トイレ・浴室は共同】
居　室　面　積	約８㎡（約 4.5 畳）
入　居　期　間	原則として２年間。引続き入居を希望する者については，入居選考基準により再審査で許可された場合に，最短修業年限満了の 3 月 27 日まで入居可能です。

【募集予定人数・入居資格・選考方法】

募集予定人数	男子　前期日程　　７～　８名程度，後期日程３～４名程度　の予定 女子　前期日程　１４～１５名程度，後期日程４～５名程度　の予定
入　居　資　格	下記のすべてに該当する者 １．学部・大学院・特別支援教育特別専攻科に在籍する学生 （外国人留学生は除く） ２．自宅から本学までの**通学時間が片道２時間以上**で通学が困難な者 ３．寮生相互の親睦や交流を積極的に図り，協力・協調して団体生活を送れる者
選　考　方　法	通学時間，家計状況（家族の所得等）を基に選考します。

【入居申請関係書類請求について】

請　求　方　法	封筒の表に「宿舎入居申請資料請求」と**朱書き**し，**返信用封筒**（角形２号 33.2 ㎝×24.0 ㎝）に**郵便番号・住所・氏名を明記**し，１４０円分の切手を貼付の上，請求してください。
請　　求　　先	〒582-8582　大阪府柏原市旭ヶ丘４－６９８－１ 大阪教育大学学生支援課 学生支援係　宛
請　求　期　限	**平成３０年 ２ 月 ９ 日（金）必着**（１月初旬頃から順次発送予定）

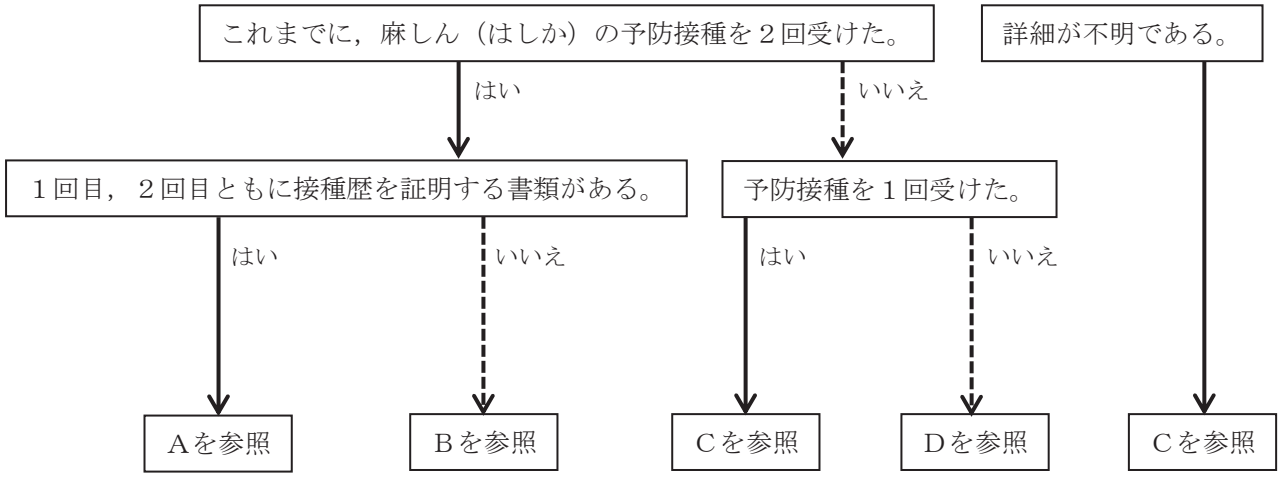
（注）入居申請受付期間は，前期日程と後期日程で異なるので，提出方法等を関係書類で確認のうえ，所定の期日までに申請してください。前期日程は受付が合格発表の直後なので，予め準備しておいてください。後期日程は受付が合格発表より前なので，特に注意してください。なお，前期日程の募集予定人数は，学部推薦，第二部第３年次編入学，大学院，特別支援教育特別専攻科の合格者の入居申請受付を含めたものです。申請に必要な証明書類等に不備がある場合は，受付できませんので，提出書類等詳細も必ず確認のうえ予め準備してください。
大学ウェブページ（https://osaka-kyoiku.ac.jp/campus/gakusei/syukusya.html）でも案内しています。
平成３０年１月以降には，入居申請関係書類等はこのウェブページからもダウンロードできます。

＜問い合わせ先＞　　学生支援課学生支援係　　（電話　072-978-3312）

麻しん（はしか）の予防について《お知らせ》

厚生労働省は，２００７年に高校・大学を中心とした学校等での麻しん（はしか）流行を経験したことから，麻しんを学校保健上の重要な課題として位置づけ，文部科学省との協力の上，麻しんの流行をなくすため，予防に有効なワクチンの２回接種を強く勧奨しています。これに基づき，本学入学試験合格者は，入学手続書類として【麻しん（はしか）に関する確認書】の提出が必要です。合格者の年齢に関係なく，全員が対象となります。

本学所定の【麻しん（はしか）に関する確認書】は，入学手続関係書類等と一緒に送付されます。お手元に届いてから入学手続までの期間が短い場合があります。下記のフローチャートを参考に，早めにご準備ください。



Ａ：麻しんの予防接種を２回受けたことを証明する書類（母子健康手帳や接種済証明書等のコピー）をご準備ください。但し，下記の証明内容が記載されたものに限ります。

・接種年月日
・使用ワクチン名 Lot.No.（使用ワクチンのラベル添付でも可）
・医療機関名または医師名

Ｂ：管轄の市役所（区役所）で接種歴を確認できます。接種が確認できた場合は接種記録を発行してもらってください。確認できなかった場合は，Ｃをご参照ください。

Ｃ：入学までに麻しんの抗体検査を受けてください。その結果，本学の基準値を満たしていない場合は，ワクチンを接種してください。下記に記載している検査法で必ず実施し，これ以外の検査方法は認められません。
また，本学では麻しん発症予防のため，検査機関の基準値より高く設定しています。

検 査 法	本学の基準値
ＥＩＡ法－ＩｇＧ検査（推奨）	抗体価 ： ８．０以上
ＮＴ法検査	抗体価 ： ４倍以上
ＰＡ法検査	抗体価 ： １２８倍以上

Ｄ：入学までに１回ワクチン接種をしてください。その２ヶ月後に抗体検査が必要です。
本学ではＭＲ（麻しん風しん混合）ワクチンを推奨しています。

【麻しん（はしか）に関する確認書】については，入学手続に関する事前のお知らせです。
入学試験の出願や受験には関係ありません。

＜問い合わせ先＞　大阪教育大学保健センター　電話 072-978-3811(受付時間 平日9:00～16:00)

平成３０年度大学入試センター試験受験教科・科目の確認表

出願にあたっては，本学が各募集区分で指定した平成３０年度大学入試センター試験の教科・科目を受験していることを，以下の方法により志願者本人の責任で確認してください。１科目でも受験していない者は出願無資格者となり，本学の個別学力検査等を受験することはできず，選抜の対象にはなりません。

下記の確認表で志望する課程専攻（コース）に該当するものを選んで，受験科目欄において受験したすべての科目に○を記入してください。確認表は，科目名の下に本学の教科・科目の指定に合わせて△や○などの印を付しており，教科名の上に指定する科目数を①（１科目），②（２科目）と表記しています。従って，受験科目欄にそれに一致する数以上の○が記入されていれば，本学が各募集区分で指定した教科・科目を受験していることになります。なお，指定した教科・科目数を超えて受験した場合（△１科目のところに２つの○が入るなど），どの科目の成績が利用されるかは，１８～２２頁にも記載しています。

なお，数学②の線を付している科目については，定められた条件（２２頁参照）を満たす者以外は利用できませんので，利用する志願者は出願前に入試課に確認してください。また，地理歴史及び公民においては，２科目受験の場合，２科目とも一方の教科を受験すれば５教科，１科目ずつ両教科から受験すれば６教科と数えます。

専攻名の後ろに＊を付した専攻は，後期日程は募集を行いません。専攻名の後ろに※を付した専攻は，前期日程と後期日程で理科の科目選択方法が異なるので，注意してください。なお，それ以外は前期・後期日程共通です。

学校教育教員養成課程　特別支援教育専攻／小中教育専攻（学校教育コース＊，国語教育コース，社会科教育コース＊）
中等教育専攻（国語教育コース＊・社会科教育コース＊）
教育協働学科　グローバル教育専攻　（英語コミュニケーションコース＊）

↳５教科７～８科目又は６教科７～８科目（うち地理歴史，公民が２科目）

		①	②								② 又は ①				①				①				①				
		国語	地理歴史					公民				理科①				理科②				数学①		数学②				外国語				
		国語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理、政治・経済	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	数学Ⅰ	数学Ⅰ・A	数学Ⅱ	数学Ⅱ・B	簿記・会計	情報関係基礎	英語（リスニングを含む）	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語
		◎	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	☆	☆	☆	☆	▽	▽	▽	▽	◇	◇	□	□	□	□	○	○	○	○	○
受験科目																															

受験科目欄に　◎に１，△に２，☆に２または▽に１，◇に１，□に１，○に１　以上の数の○が入れば指定した教科・科目を受験したことになります。

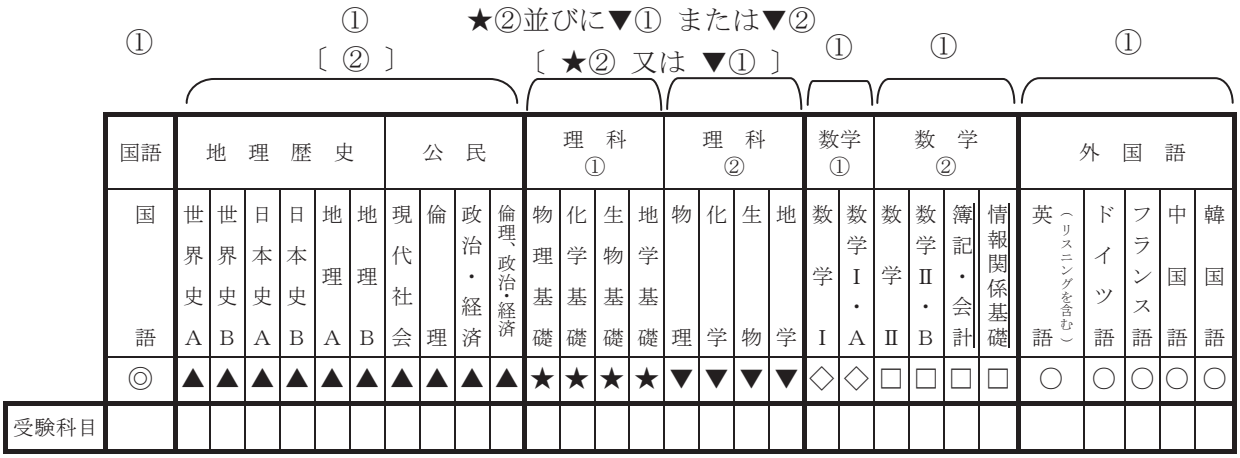
科目数の指定を超えて，理科☆に２並びに▽に１　の者は，理科の高得点となる方の成績を用います。

理科▽に２　の者は，理科の第１解答科目の成績を用います。

（次頁へ続く）

初等教育教員養成課程	幼児教育専攻＊／小学校教育専攻（昼間コース，夜間５年コース）
学校教育教員養成課程	小中教育専攻（英語教育コース＊，家政教育コース＊）
	中等教育専攻（英語教育コース＊，家政教育コース＊）
養護教諭養成課程	
教育協働学科	教育心理科学専攻，健康安全科学専攻

↳ ５教科７～８科目又は６教科７～８科目（うち地理歴史及び公民が１科目　又は　２科目）



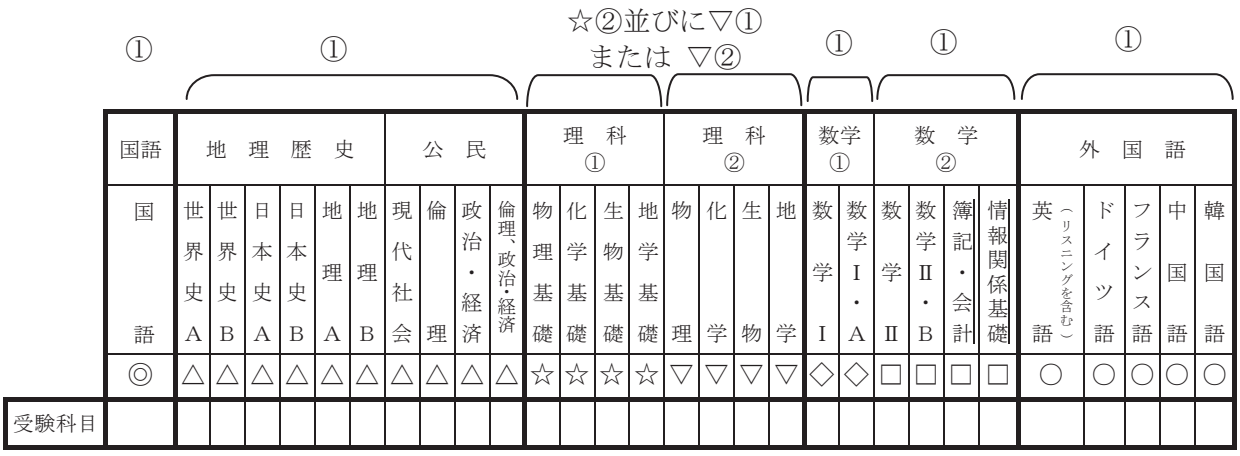
受験科目欄に　◎に１，▲に１または２（※▲に１のときは★に２並びに▼に１または▼に２，▲に２のときは★に２または▼に１），◇に１，□に１，○に１　以上の数の○が入れば指定した教科・科目を受験したことになります。

科目数の指定を超えて，地理歴史及び公民▲２と理科▼２で合計４　の者は，地理歴史及び公民の第１解答科目，理科の第１解答科目，並びに地理歴史及び公民と理科の第２解答科目のうち高得点の科目の成績を用います。

地理歴史及び公民▲２と理科★２並びに▼１で合計５　の者は，地理歴史及び公民の第１解答科目，理科の高得点となる方の成績，並びに地理歴史及び公民の第２解答科目と理科のもう一方の成績のうち高得点となる方の成績を用います。

学校教育教員養成課程	小中教育専攻（数学教育コース，理科教育コース）
	中等教育専攻（数学教育コース，理科教育コース，技術教育コース＊）
教育協働学科	理数情報専攻（数理情報コース※，自然科学コース※）
	※後期日程は理科▽２のみ認めます。

↳ ５教科７～８科目（うち地理歴史，公民が１科目）



受験科目欄に　◎に１，△に１，☆に２並びに▽に１または▽に２，◇に１，□に１，○に１　以上の数の○が入れば指定した教科・科目を受験したことになります。

科目数の指定を超えて，地理歴史及び公民△に２　の者は，地理歴史及び公民の第１解答科目の成績を用います。

（次頁へ続く）

学校教育教員養成課程　　小中教育専攻（保健体育コース，音楽教育コース＊，美術・書道教育コース）
中等教育専攻（保健体育コース＊，音楽教育コース＊，美術・書道教育コース＊）

↳ ５教科５～６科目

	国語	地理歴史						公民				理科①				理科②				数学①		数学②				外国語				
	国語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理、政治・経済	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	数学Ⅰ	数学Ⅰ・A	数学Ⅱ	数学Ⅱ・B	簿記・会計	情報関係基礎	英語（リスニングを含む）	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語
	◎	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	☆	☆	☆	☆	▽	▽	▽	▽	◆	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	○
受験科目																														

①　①　☆② 又は ▽①　①　①

受験科目欄に　◎に１，△に１，☆に２又は▽に１，◆に１，○に１　以上の数の○が入れば指定した教科・科目を受験していることになります。
科目数の指定を超えて，地理歴史及び公民△２　の者，又は理科▽２　の者は，それぞれの第１解答科目の成績を用います。
理科☆２並びに理科▽１　の者，又は数学◆２　の者は，それぞれの高得点となる方の成績を用います。

教育協働学科　　グローバル教育専攻（多文化リテラシーコース＊）／芸術表現専攻（音楽表現コース，美術表現コース）／スポーツ科学専攻

↳ ３教科３～４科目

	国語	地理歴史						公民				理科①				理科②				数学①		数学②				外国語				
	国語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理、政治・経済	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	数学Ⅰ	数学Ⅰ・A	数学Ⅱ	数学Ⅱ・B	簿記・会計	情報関係基礎	英語（リスニングを含む）	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語
	◎	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	★	★	★	★	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○	○	○	○	○
受験科目																														

①　■①又は★②　①

受験科目欄に　◎に１，■に１または★に２，○に１　以上の数の○が入れば指定した教科・科目を受験していることになります。
科目数の指定を超えて，■に２以上の者は，数学の各科目，地理歴史及び公民の第１解答科目，及び理科の第１解答科目のうち，最高得点の科目の成績を用います。（ただし，★に２並びに■に１以上の者は，数学の各科目，地理歴史及び公民の第１解答科目，及び理科の高得点となる方の成績のうち，最高得点となる方の成績を用います。）

入学志願票等記入要領

大阪教育大学入学志願票・入学志願者電算処理票・写真票，入学検定料振込金証明書貼付用紙の記入等については，次の要領によるものとします。

共通事項

1　**黒のボールペン**（水性可）で記入してください。
2　漢字は楷書，数字は算用数字で記入してください。
3　訂正する場合は，**訂正箇所を二重線で消して**ください。

入学志願票・入学志願者電算処理票・写真票について

1　氏名・現住所等

氏名・フリガナ・性別・住所・電話番号を記入してください。電算処理票の性別は，該当番号を○で囲んでください。

住所は，合格通知書等の送付先として使用しますので，正確に記入し，転居等で変更する場合は直ちに入試課へ連絡してください（郵便番号・住所・電話番号・転居予定日を連絡してください。郵便局への転居届だけで済まさないでください。）。なお，番地等は**算用数字**で記入してください（漢数字は地名等のみに使用してください。）。また，氏名の漢字については，大学入試センター試験の受験票に合わせてください。

2　出願資格

①高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ。）を卒業又は卒業見込み，②高等学校卒業程度認定試験合格（大学入学資格検定合格を含む。），③その他の３つに区分しています。

出願資格が①の場合は出身高等学校の所在する都道府県名，国・公・私立の区分及び学科の区分を表示し，出身学校名と卒業又は卒業見込みの年月を記入してください。②の場合は，高等学校卒業程度認定試験合格（大学入学資格検定合格含む。）に合格した年月を記入してください。③の場合は，出願資格を具体的に記入してください。

なお，平成３０年度大学入試センター試験で，本学が課す教科・科目をすべて受験していることを，６４～６６頁に記載の方法により必ず確認してください。

また，大学入試センター試験試験場コード・受験番号・成績請求票発行回数を記入してください。

3　課程・専攻及び専攻・コース

志望する課程・専攻又は専攻・コース等を決定し，記入してください。

4　写真票

写真票は切り離さず，縦４㎝×横３㎝の寸法の同一の写真（２枚。正面，上半身，脱帽。カラーコピー及びスナップ写真は不可。裏面には氏名及び志望課程・専攻・コースを記入してください。）を貼付し，６９頁（1）志望専攻等一覧表の「課程又は専攻」を「課程又は専攻」欄に，「コース」を「コース」欄に記入してください。写真票に貼付した写真の上から，本学所定の写真用シールを貼付してください。

※　志望専攻等，実技選択については，入学志願票と入学志願者電算処理票の記入内容を必ず一致させてください。
※　その他の項目の記入方法については，６８頁以降の記入要領（前期日程・後期日程別）を参照してください。

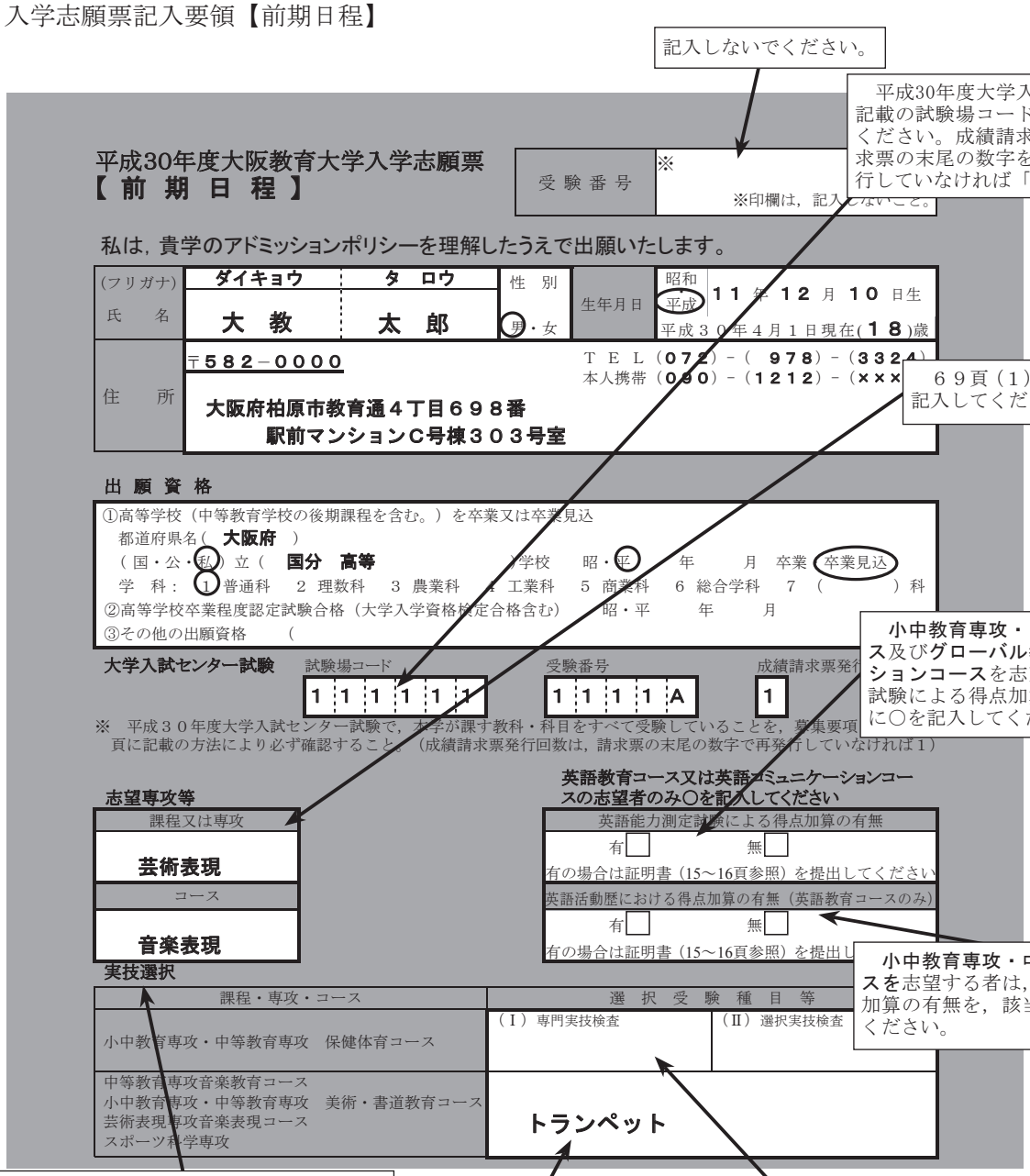
入学検定料振込金証明書貼付用紙について

入学検定料振込依頼書の「志願者氏名」欄２か所（入学検定料振込金証明書(大学提出用)・入学検定料振込金(兼手数料)受領書）及び「志願者」欄（入学検定料振込依頼書）を記入して検定料を納付し，金融機関の受付印が押印された入学検定料振込金証明書（大学提出用）を入学検定料振込金証明書（大学提出用）貼付用紙に貼付し，太枠内の「志望課程・専攻・コース」欄，「氏名」欄及び「フリガナ」欄を記入してください。

また，検定料の納入締切日は出願期間の最終日となっています。納入締切日までに検定料を納付しても，出願期間中に出願書類が到着しなければ受理しないので，出願方法をよく確認のうえ，余裕を持って出願してください。

なお，学部（夜間５年コースを除く教員養成課程又は教育協働学科）の志望者は**ラインのない用紙**（１７，０００円用のもの）を，夜間５年コースの志望者は**ライン入りの用紙**（１０，０００円用のもの）を使用してください。（誤って振り込んだ検定料は返還請求できますので，１７頁の**７（６）を参照**してください。）

入学志願票記入要領【前期日程】



平成30年度大阪教育大学入学志願票
【 前 期 日 程 】

受験番号 ※ ※印欄は，記入しないこと。

私は，貴学のアドミッションポリシーを理解したうえで出願いたします。

(フリガナ) 氏名	ダイキョウ タ ロウ / 大 教 太 郎	性別	男・女	生年月日 昭和・平成 11 年 12 月 10 日生 平成３０年４月１日現在(18)歳
住所	〒582－0000 大阪府柏原市教育通４丁目６９８番 駅前マンションC号棟３０３号室	TEL（072）－（978）－（3324） 本人携帯（090）－（1212）－（×××）		

出願資格

①高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）を卒業又は卒業見込
都道府県名（ 大阪府 ）
（国・公・私）立（ 国分 高等 学校 昭・平 年 月 卒業 卒業見込
学科： 1 普通科 2 理数科 3 農業科 4 工業科 5 商業科 6 総合学科 7 （ ）科
②高等学校卒業程度認定試験合格（大学入学資格検定合格含む） 昭・平 年 月
③その他の出願資格 （

大学入試センター試験

試験場コード	受験番号	成績請求票発行
1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 A	1

※ 平成３０年度大学入試センター試験で，本学が課す教科・科目をすべて受験していることを，募集要項 頁に記載の方法により必ず確認すること。（成績請求票発行回数は，請求票の末尾の数字で再発行していなければ１）

志望専攻等

課程又は専攻
芸術表現
コース
音楽表現

英語教育コース又は英語コミュニケーションコースの志望者のみ○を記入してください

英語能力測定試験による得点加算の有無
有□ 無□
有の場合は証明書（15～16頁参照）を提出してください
英語活動歴における得点加算の有無（英語教育コースのみ）
有□ 無□
有の場合は証明書（15～16頁参照）を提出し

実技選択

課程・専攻・コース	選択受験種目等	
小中教育専攻・中等教育専攻 保健体育コース	（Ⅰ）専門実技検査	（Ⅱ）選択実技検査
中等教育専攻音楽教育コース 小中教育専攻・中等教育専攻 美術・書道教育コース 芸術表現専攻音楽表現コース スポーツ科学専攻	トランペット	

記入しないでください。

平成30年度大学入試センター試験受験票に記載の試験場コード及び受験番号を記入してください。成績請求票発行回数欄は，成績請求票の末尾の数字を記入してください（再発行していなければ「１」となります）。

６９頁（１）の**志望専攻等一覧表**から記入してください。

小中教育専攻・中等教育専攻英語教育コース及び**グローバル教育専攻英語コミュニケーションコース**を志望する者は，英語能力測定試験による得点加算の有無を，該当する□欄に○を記入してください。

小中教育専攻・中等教育専攻英語教育コースを志望する者は，英語活動歴における得点加算の有無を，該当する□欄に○を記入してください。

実技選択欄は，**該当の課程・専攻・コースの志望者のみ記入**してください。

小中教育専攻・中等教育専攻保健体育コースを志望する者は６９～７０頁（２）の（Ⅰ）（Ⅱ）の表の中から，（Ⅰ）から専門実技検査の種目を，（Ⅱ）から選択実技検査の種目を選んで記入してください。

・中等教育専攻音楽教育コースを志望する者は，７０頁（３）の実技検査楽器選択の中から選んで記入してください。

・小中教育専攻・中等教育専攻美術・書道教育コースを志望する者は，７０頁（４）の実技検査一覧表から希望する実技検査を記入してください。

・芸術表現専攻音楽表現コースを志望する者は，７０頁（５）の志望専門一覧表の中から選んで記入してください。

・スポーツ科学専攻を志望する者は，７０頁（６）の実技検査受験種目一覧表から選んで記入してください。

※訂正する場合は，訂正箇所を二重線で消した後，正しいものを記載してください。

（1）志望専攻等一覧表（「課程又は専攻」を「課程又は専攻」欄に，「専攻又はコース」を「専攻又はコース」欄に記載。

課程・学科・専攻・コース				課程又は専攻	コース
初等教育教員養成課程	幼児教育専攻			幼児教育	
	小学校教育専攻	昼間コース		小学校教育	昼間
		夜間5年コース		小学校教育	夜間5年
学校教育教員養成課程	特別支援教育専攻			特別支援教育	
	小中教育専攻	学校教育コース		小中教育	学校教育
		国語教育コース		小中教育	国語教育
		英語教育コース		小中教育	英語教育
		社会科教育コース		小中教育	社会科教育
		数学教育コース		小中教育	数学教育
		理科教育コース		小中教育	理科教育
		家政教育コース		小中教育	家政教育
		保健体育コース		小中教育	保健体育
		音楽教育コース		小中教育	音楽教育
		美術・書道教育コース		小中教育	美術・書道教育
	中等教育専攻	国語教育コース		中等教育	国語教育
		英語教育コース		中等教育	英語教育
		社会科教育コース		中等教育	社会科教育
		数学教育コース		中等教育	数学教育
		理科教育コース		中等教育	理科教育
		技術教育コース		中等教育	技術教育
		家政教育コース		中等教育	家政教育
		保健体育コース		中等教育	保健体育
		音楽教育コース		中等教育	音楽教育
		美術・書道教育コース		中等教育	美術・書道教育
養護教諭養成課程				養護教諭	

課程・学科・専攻・コース				課程又は専攻	コース
教育協働学科	教育心理科学専攻			教育心理科学	
	健康安全科学専攻			健康安全科学	
	理数情報専攻	数理情報コース		理数情報	数理情報
		自然科学コース		理数情報	自然科学
	グローバル教育専攻	英語コミュニケーションコース		グローバル教育	英語コミュニケーション
		多文化リテラシーコース		グローバル教育	多文化リテラシー
	芸術表現専攻	音楽表現コース		芸術表現	音楽表現
		美術表現コース		芸術表現	美術表現
	スポーツ科学専攻			スポーツ科学	

（2）　小中教育専攻・中等教育専攻保健体育コースの実技検査受験種目等一覧

小中教育専攻・中等教育専攻保健体育コースを受験する者は，（Ⅰ）欄に（Ⅰ）表から専門実技検査を（Ⅱ）欄に（Ⅱ）表から選択実技検査をそれぞれ１種類選んで記入してください。

（Ⅰ）専門実技検査受験種目一覧表

専門受験種目
バスケットボール
サッカー
ラグビーフットボール
バレーボール
ハンドボール
卓球
硬式テニス
ソフトテニス
硬式野球
バドミントン
体操競技

専門受験種目
ダンス
柔道
剣道
水泳競技（競泳）
陸上競技※
100m
200m
400m
800m
1500m
110mH(男)/100mH(女)

専門受験種目
400mH
3000mW
走高跳
棒高跳
走幅跳
三段跳
砲丸投
円盤投
ハンマー投
やり投

※陸上競技を選択した者は，１種目を選択して記入してください。

（Ⅱ）選択実技検査受験種目一覧表

選択受験種目
バスケットボール
サッカー
ラグビーフットボール
バレーボール
ハンドボール
卓球
硬式テニス
ソフトテニス
ソフトボール
バドミントン
器械運動

選択受験種目
ダンス
柔道
剣道
水泳競技（競泳）
陸上競技

（3）中等教育専攻音楽教育コースの実技検査楽器選択

中等教育専攻音楽教育コースを受験する者は，選択する楽器については，以下の中から選択して記入してください。なお，管楽器を選択した場合は，併せて別紙様式も提出してください。

志望選択楽器			
ピアノ	ピアノ	管楽器	トランペット
管楽器	フルート		ホルン
	オーボエ		トロンボーン
	クラリネット		テューバ
	ファゴット		

（4）小中教育専攻・中等教育専攻美術・書道教育コース実技検査一覧表

実技検査 / 志望分野
美術
書道

（5）芸術表現専攻音楽表現コースの志望専門一覧表

※弦楽器と管・打楽器については，楽器名を記入してください。

志望専門	
作曲	作曲
声楽	声楽
ピアノ	ピアノ
弦楽器	ヴァイオリン
	ヴィオラ
	チェロ
	コントラバス

志望専門	
管・打楽器	フルート
	オーボエ
	クラリネット
	ファゴット
	トランペット
	ホルン
	トロンボーン
	バス・トロンボーン
	テューバ
	打楽器

（6）スポーツ科学専攻の実技検査受験種目一覧表

スポーツ科学専攻を受験する者は，専門実技検査を下記から１種類選んで記載してください。

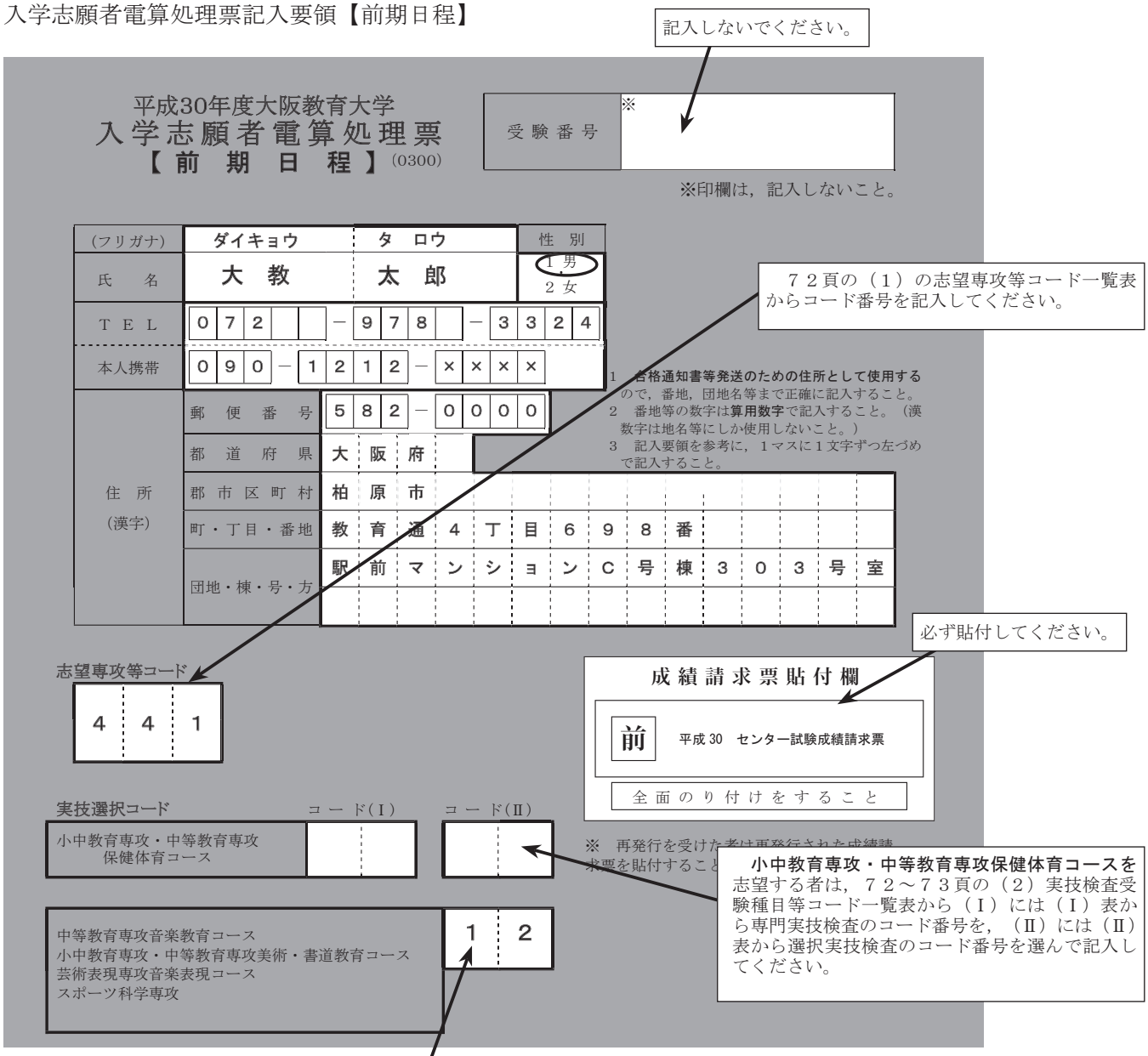
専門受験種目
バスケットボール
サッカー
ラグビーフットボール
バレーボール
ハンドボール
卓球
硬式テニス
ソフトテニス
硬式野球
バドミントン
体操競技

専門受験種目
ダンス
柔道
剣道
水泳競技（競泳）
陸上競技 ※
100m
200m
400m
800m
1500m
110mH(男)/100mH(女)

専門受験種目
400mH
3000mW
走高跳
棒高跳
走幅跳
三段跳
砲丸投
円盤投
ハンマー投
やり投

※陸上競技を選択した者は，１種目を選択して記入してください。

入学志願者電算処理票記入要領【前期日程】



※訂正する場合は，訂正箇所を二重線で消した後，正しいものを記載してください。

（1）志望専攻等コード一覧表

課 程･学 科･専 攻･コ ー ス			コード
初等教育教員養成課程	幼児教育専攻		101
	小学校教育専攻	昼間コース	111
		夜間5年コース	112
学校教育教員養成課程	特別支援教育専攻		201
	小中教育専攻	学校教育コース	202
		国語教育コース	203
		英語教育コース	204
		社会科教育コース	205
		数学教育コース	206
		理科教育コース	207
		家政教育コース	208
		保健体育コース	209
		音楽教育コース	210
		美術･書道教育コース	211
	中等教育専攻	国語教育コース	301
		英語教育コース	302
		社会科教育コース	303
		数学教育コース	304
		理科教育コース	305
		技術教育コース	306
		家政教育コース	307
		保健体育コース	308
		音楽教育コース	309
		美術･書道教育コース	310
養護教諭養成課程			331

課 程･学 科･専 攻･コ ー ス			コード
教育協働学科	教育心理科学専攻		401
	健康安全科学専攻		411
	理数情報専攻	数理情報コース	421
		自然科学コース	422
	グローバル教育専攻	英語コミュニケーションコース	431
		多文化リテラシーコース	432
	芸術表現専攻	音楽表現コース	441
		美術表現コース	442
	スポーツ科学専攻		451

（2）　小中教育専攻・中等教育専攻保健体育コースの実技検査受験種目等コード一覧表

小中教育専攻・中等教育専攻保健体育コースを受験する者は，コード（Ⅰ）欄に（Ⅰ）表から専門実技検査を，コード（Ⅱ）欄に（Ⅱ）表から選択実技検査をそれぞれ１種類選んで記入してください。

（Ⅰ）専門実技検査種目コード一覧表

※　**陸上競技を選択した者**は陸上競技のうちの専門種目まで選択して記入してください。

専 門 受 験 種 目	ｺｰﾄﾞ
バスケットボール	０２
サ ッ カ ー	０３
ラグビーフットボール	０４
バ レ ー ボ ー ル	０５
ハ ン ド ボ ー ル	０６
卓 球	０７
硬 式 テ ニ ス	０８
ソ フ ト テ ニ ス	０９
硬 式 野 球	１０
バ ド ミ ン ト ン	１１
体 操 競 技	１２

専 門 受 験 種 目	ｺｰﾄﾞ
ダ ン ス	１３
柔 道	１４
剣 道	１５
水 泳 競 技 （ 競 泳 ）	１６
陸 上 競 技	
100m	２１
200m	２２
400m	２３
800m	２４
1500m	２５
110mH(男)/100mH(女)	２７

専 門 受 験 種 目	ｺｰﾄﾞ
400mH	２８
3000mW	２９
走高跳	３０
棒高跳	３１
走幅跳	３２
三段跳	３３
砲丸投	３４
円盤投	３５
ハンマー投	３６
やり投	３７

（Ⅱ）選択実技検査種目コード一覧表

選択受験種目	ｺｰﾄﾞ
バスケットボール	４２
サッカー	４３
ラグビーフットボール	４４
バレーボール	４５
ハンドボール	４６
卓球	４７
硬式テニス	４８
ソフトテニス	４９
ソフトボール	５０
バドミントン	５１
器械運動	５２

選択受験種目	ｺｰﾄﾞ
ダンス	５３
柔道	５４
剣道	５５
水泳競技（競泳）	５６
陸上競技	４１

（3）中等教育専攻音楽教育コースの実技検査楽器コード一覧表

中等教育専攻音楽教育コースを受験する者は，選択する楽器については，以下の中から選択して記入してください。なお，管楽器を選択した場合は，併せて別紙様式も提出してください。

志望選択楽器		コード	志望選択楽器		コード
ピアノ	ピアノ	０３	管楽器	トランペット	１２
管楽器	フルート	０８		ホルン	１３
	オーボエ	０９		トロンボーン	１４
	クラリネット	１０		テューバ	１６
	ファゴット	１１			

（4）小中教育専攻・中等教育専攻美術・書道教育コース　実技検査コード表

実技検査 / 志望分野	コード
美術	４１
書道	４２

（5）　芸術表現専攻音楽表現コース　志望専門コード表

志望専門		コード
作曲	作曲	０１
声楽	声楽	０２
ピアノ	ピアノ	０３
弦楽器	ヴァイオリン	０４
	ヴィオラ	０５
	チェロ	０６
	コントラバス	０７

志望専門		コード
管・打楽器	フルート	０８
	オーボエ	０９
	クラリネット	１０
	ファゴット	１１
	トランペット	１２
	ホルン	１３
	トロンボーン	１４
	バス・トロンボーン	１５
	テューバ	１６
	打楽器	１７

（6）スポーツ科学専攻の実技検査受験種目等コード一覧表

スポーツ科学専攻を受験する者は，専門実技検査を下記から１種類選んで記載してください。

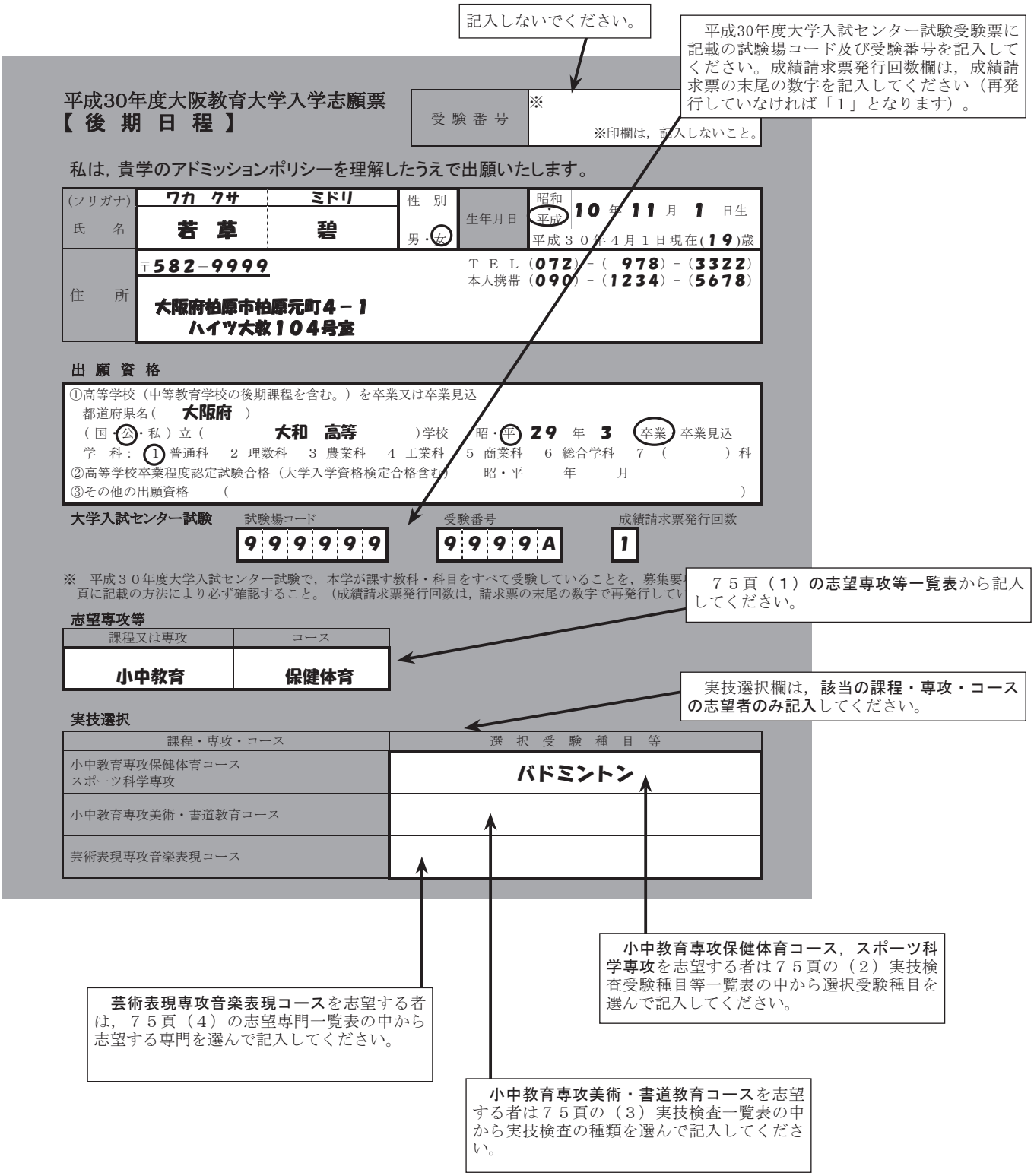
※　**陸上競技を選択した者**は陸上競技のうちの専門種目まで選択して記入してください。

専門受験種目	ｺｰﾄﾞ
バスケットボール	０２
サッカー	０３
ラグビーフットボール	０４
バレーボール	０５
ハンドボール	０６
卓球	０７
硬式テニス	０８
ソフトテニス	０９
硬式野球	１０
バドミントン	１１
体操競技	１２

専門受験種目	ｺｰﾄﾞ
ダンス	１３
柔道	１４
剣道	１５
水泳競技（競泳）	１６
陸上競技	／ ※
100m	２１
200m	２２
400m	２３
800m	２４
1500m	２５
110mH(男)/100mH(女)	２７

専門受験種目	ｺｰﾄﾞ
400mH	２８
3000mW	２９
走高跳	３０
棒高跳	３１
走幅跳	３２
三段跳	３３
砲丸投	３４
円盤投	３５
ハンマー投	３６
やり投	３７

入学志願票記入要領【後期日程】



※訂正する場合は，訂正箇所を二重線で消した後，正しいものを記載してください。

（1）志望専攻等一覧表（「課程又は専攻」を「課程又は専攻」欄に，「専攻又はコース」を「専攻又はコース」欄に記載。

課程・学科・専攻・コース				課程又は専攻	コース
初等教育教員養成課程	小学校教育専攻	昼間コース		小学校教育	昼間
		夜間5年コース		小学校教育	夜間5年
学校教育教員養成課程	特別支援教育専攻			特別支援教育	
	小中教育専攻	国語教育コース		小中教育	国語教育
		数学教育コース		小中教育	数学教育
		理科教育コース		小中教育	理科教育
		保健体育コース		小中教育	保健体育
		美術・書道教育コース		小中教育	美術・書道教育
	中等教育専攻	数学教育コース		中等教育	数学教育
		理科教育コース		中等教育	理科教育
養護教諭養成課程				養護教諭	

課程・学科・専攻・コース				課程又は専攻	コース
教育協働学科	教育心理科学専攻			教育心理科学	
	健康安全科学専攻			健康安全科学	
	理数情報専攻	数理情報コース		理数情報	数理情報
		自然科学コース		理数情報	自然科学
	芸術表現専攻	音楽表現コース		芸術表現	音楽表現
		美術表現コース		芸術表現	美術表現
	スポーツ科学専攻			スポーツ科学	

（2）小中教育専攻保健体育コース及びスポーツ科学専攻実技検査受験種目等一覧表
下記から１種目選択し記入してください。

専門受験種目
バスケットボール
サッカー
ラグビーフットボール
バレーボール
ハンドボール
卓球
硬式テニス
ソフトテニス
硬式野球
バドミントン
体操競技

専門受験種目
ダンス
柔道
剣道
水泳競技（競泳）
陸上競技※
100m
200m
400m
800m
1500m
110mH(男)/100mH(女)

専門受験種目
400mH
3000mW
走高跳
棒高跳
走幅跳
三段跳
砲丸投
円盤投
ハンマー投
やり投

※陸上競技を選択した者は，１種目を選択して記入してください。

（3） 小中教育専攻美術・書道教育コース実技検査一覧表

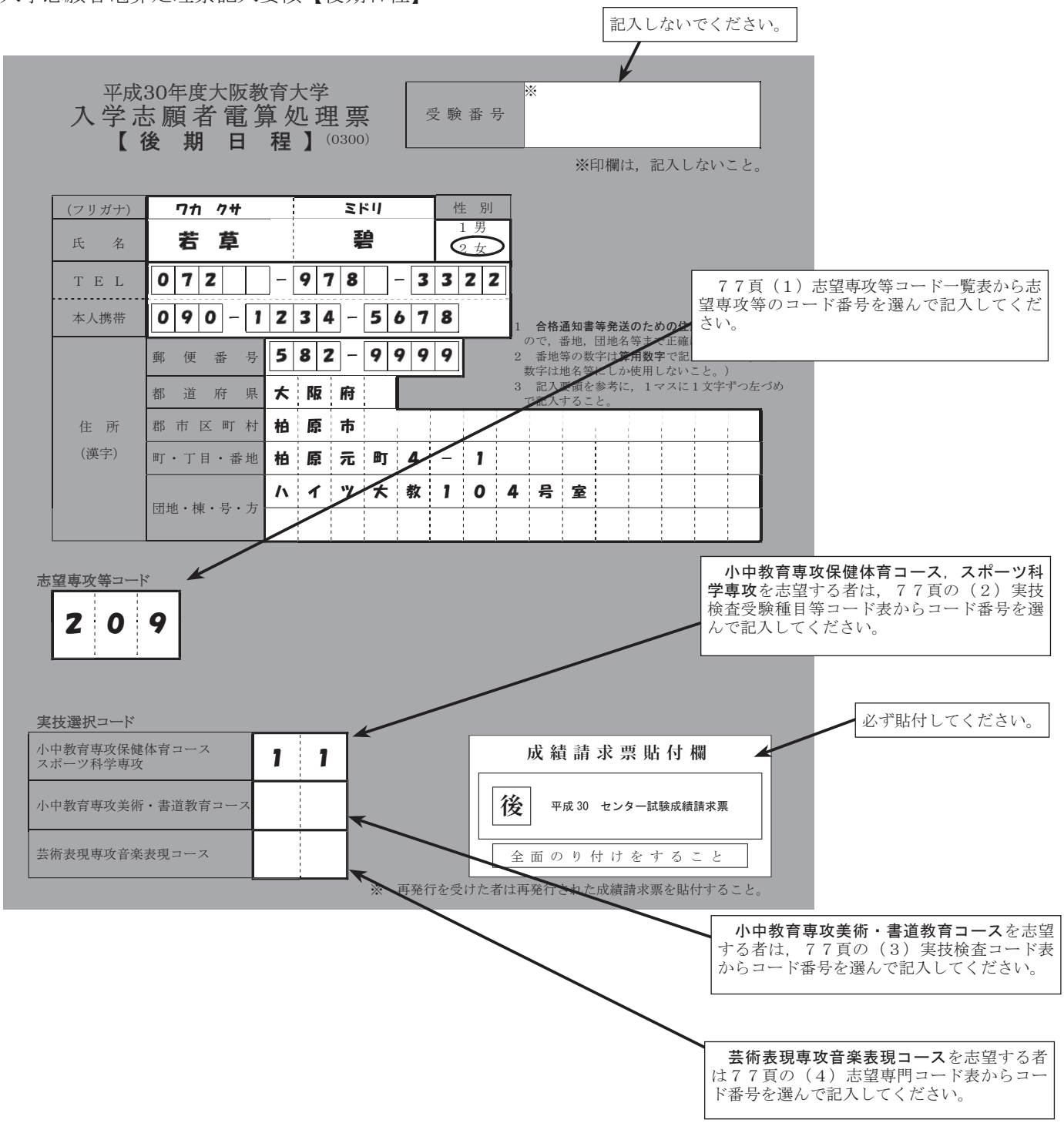
実技検査 / 志望分野
美術
書道

（4） 芸術表現専攻音楽表現コース志望専門一覧表 ※弦楽器と管・打楽器については，楽器名を記入してください。

志望専門	
作曲	作曲
声楽	声楽
ピアノ	ピアノ
弦楽器	ヴァイオリン
	ヴィオラ
	チェロ
	コントラバス

志望専門	
管・打楽器	フルート
	オーボエ
	クラリネット
	ファゴット
	トランペット
	ホルン
	トロンボーン
	バス・トロンボーン
	テューバ
	打楽器

入学志願者電算処理票記入要領【後期日程】



※訂正する場合は，訂正箇所を二重線で消した後，正しいものを記載してください。

（1）志望専攻等コード一覧表

課程・学科・専攻・コース			コード
初等教育教員養成課程	小学校教育専攻	昼間コース	１１１
		夜間５年コース	１１２
学校教育教員養成課程	特別支援教育専攻		２０１
	小中教育専攻	国語教育コース	２０３
		数学教育コース	２０６
		理科教育コース	２０７
		保健体育コース	２０９
		美術･書道教育コース	２１１
	中等教育専攻	数学教育コース	３０４
		理科教育コース	３０５
養護教諭養成課程			３３１

課程・学科・専攻・コース			コード
教育協働学科	教育心理科学専攻		４０１
	健康安全科学専攻		４１１
	理数情報専攻	数理情報コース	４２１
		自然科学コース	４２２
	芸術表現専攻	音楽表現コース	４４１
		美術表現コース	４４２
	スポーツ科学専攻		４５１

（2）小中教育専攻保健体育コース及びスポーツ科学専攻　実技検査受験種目等コード表

※　陸上競技を選択した者は陸上競技のうちの専門種目まで選択して記入してください。

専門受験種目	ｺｰﾄﾞ
バスケットボール	０２
サッカー	０３
ラグビーフットボール	０４
バレーボール	０５
ハンドボール	０６
卓球	０７
硬式テニス	０８
ソフトテニス	０９
硬式野球	１０
バドミントン	１１
体操競技	１２

専門受験種目	ｺｰﾄﾞ
ダンス	１３
柔道	１４
剣道	１５
水泳競技（競泳）	１６
陸上競技	※
100m	２１
200m	２２
400m	２３
800m	２４
1500m	２５
110mH(男)/100mH(女)	２７

専門受験種目	ｺｰﾄﾞ
400mH	２８
3000mW	２９
走高跳	３０
棒高跳	３１
走幅跳	３２
三段跳	３３
砲丸投	３４
円盤投	３５
ハンマー投	３６
やり投	３７

（3）小中教育専攻美術・書道教育コース　実技検査コード表

実技検査 / 志望分野	コード
美術	４１
書道	４２

（4）芸術表現専攻音楽表現コース　志望専門コード表

志望専門		コード
作曲	作曲	０１
声楽	声楽	０２
ピアノ	ピアノ	０３
弦楽器	ヴァイオリン	０４
	ヴィオラ	０５
	チェロ	０６
	コントラバス	０７

志望専門		コード
管・打楽器	フルート	０８
	オーボエ	０９
	クラリネット	１０
	ファゴット	１１
	トランペット	１２
	ホルン	１３
	トロンボーン	１４
	バス・トロンボーン	１５
	テューバ	１６
	打楽器	１７

大阪教育大学では，下記の入試情報及び学生生活案内についてウェブページでお知らせしています。また，災害等により不測の事態が発生した場合もウェブページを利用して情報提供を行います。
（大学案内・募集要項はウェブページから請求できます。また，スマホ・携帯電話で右のQRコードからアクセスしても請求できます。）

スマホ・携帯電話での募集要項請求はこちらのＱＲコードから。

・教育学部（一般入試，推薦入試，私費外国人留学生）
・教育学部第二部（夜間）小学校教員養成5年課程第3年次編入学
・大学院教育学研究科（修士課程）
・大学院連合教職実践研究科（専門職学位課程）
・特別支援教育特別専攻科

ウェブページ　https://osaka-kyoiku.ac.jp/

携帯サイト

問い合わせ先
大阪教育大学入試課
〒582－8582　大阪府柏原市旭ヶ丘4－698－1
TEL　072－978－3324(入試課直通)
（受付時間：平日９：００～１７：００）
FAX　072－978－3327
電子メール nyushika@bur.osaka-kyoiku.ac.jp